

令和 5 年度

第 1 回 市政モニターアンケート報告書

テーマ

1. 消費生活について
2. 文化芸術について
3. 歯や口（口腔）の健康について
4. 本市のこころの健康に関する活動について
（自殺対策、依存症対策）
5. 広報活動について

堺市 市長公室 広報戦略部 市政情報課

目 次

| | |
|---------------------------------------|----|
| ■ 調査概要 | 1 |
| ■ 回答者属性 | 2 |
| 1. 消費生活について | |
| 調査結果の概要 | 3 |
| (1) 消費生活センターなどについて | 4 |
| (2) 消費生活に関する意識などについて | 12 |
| (3) 訪問販売お断りシールについて | 21 |
| (4) 計量について | 28 |
| 2. 文化芸術について | |
| 調査結果の概要 | 31 |
| (1) 本市の文化的環境について | 32 |
| (2) 文化芸術活動について | 33 |
| (3) 本市の歴史文化資源と文化芸術事業について | 37 |
| (4) 文化芸術に関する施設の利用について | 41 |
| 3. 歯や口（口腔）の健康について | |
| 調査結果の概要 | 45 |
| (1) 歯や口腔の健康への関心について | 46 |
| (2) 歯や口（口腔）の健康を保つための生活習慣について | 50 |
| (3) 市の取組について | 56 |
| (4) 歯や口（口腔）の健康を保つための取組について | 58 |
| 4. 本市のこころの健康に関する活動について（自殺対策、依存症対策） | |
| 調査結果の概要 | 61 |
| 自殺対策について | |
| (1) 自殺問題に関する理解度について | 62 |
| (2) 自殺対策に関する相談窓口の認知度について | 64 |
| (3) 「相談機関一覧」について | 68 |
| (4) ゲートキーパーについて | 70 |
| 依存症対策について | |
| (1) 依存症に関する理解について | 73 |
| (2) 依存症対策に関する相談窓口及び支援機関の認知度について | 77 |
| 5. 広報活動について | |
| 調査結果の概要 | 83 |
| (1) 市政情報の入手について | 84 |
| (2) 広報さかいについて | 85 |
| (3) 堺市くらしのガイドブックについて | 91 |
| (4) 市ホームページについて | 93 |
| (5) 市の公式 SNS について | 95 |

■ 調査概要

1. アンケートテーマ・担当課

(1) 消費生活について

(担当課：市民人権局 市民生活部 消費生活センター)

(2) 文化芸術について

(担当課：文化観光局 文化国際部 文化課)

(3) 歯や口（口腔）の健康について

(担当課：健康福祉局 健康部 健康推進課)

(4) 本市のこころの健康に関する活動について（自殺対策、依存症対策）

(担当課：健康福祉局 健康部 精神保健課)

(5) 広報活動について

(担当課：市長公室 広報戦略部 広報課)

2. 調査期間

令和5年8月1日（火）～令和5年8月14日（月）

3. 調査方法

(1) 対象

市内在住・在勤・在学の18歳以上の方で、公募による市政モニター

(2) 人数

482人

(3) 調査方法

インターネットを通じたアンケート回答

(4) 回収率

調査対象者499人に対して、有効回収数482人 回収率96.6%となった。

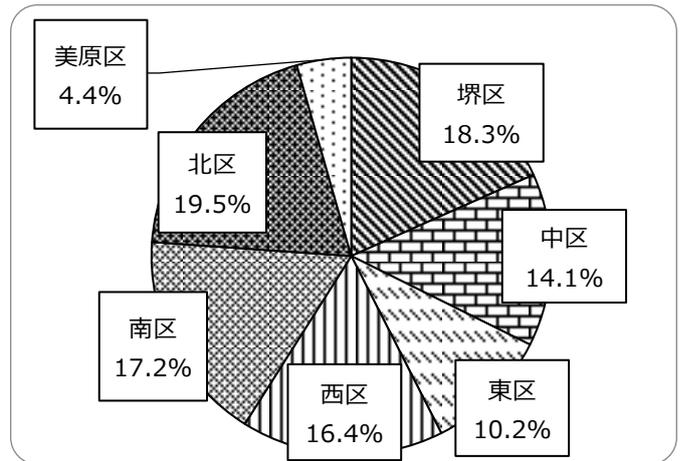
4. 報告書の見方

- (1) 本調査の集計分析対象とした調査票総数は482である。数表中のNは比例算出の基礎となる回答者総数を表している。
- (2) 個々の選択肢比率を合算する場合は、個々の回答数の合計をNで除して百分率を求め、小数点第2位を四捨五入した。このため、個々の比率の合計が100%にならない場合がある。
- (3) アンケートへの回答は、単数回答と複数回答を求めた設問があり、複数回答を求めた設問では、比率の合計が100%を超える。
- (4) 「その他記述」及び「自由回答」に関しては、紙面の都合上、主な内容を集約、抜粋して掲載した。

■ 回答者属性

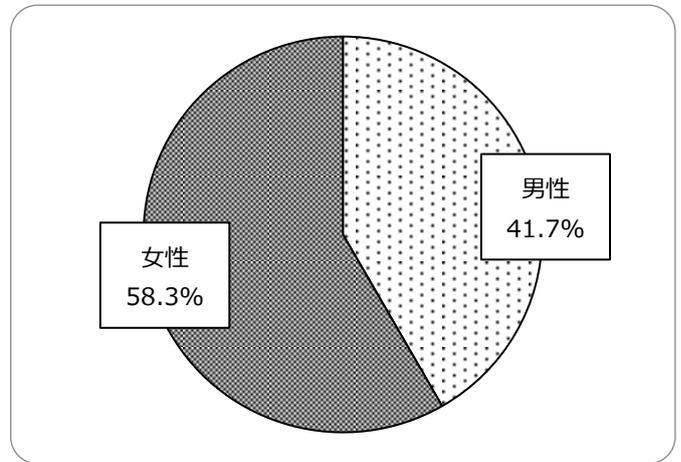
| 居住区別 | | 回答数 | 構成比 |
|------|-----|-----|--------|
| 1 | 堺区 | 88 | 18.3% |
| 2 | 中区 | 68 | 14.1% |
| 3 | 東区 | 49 | 10.2% |
| 4 | 西区 | 79 | 16.4% |
| 5 | 南区 | 83 | 17.2% |
| 6 | 北区 | 94 | 19.5% |
| 7 | 美原区 | 21 | 4.4% |
| 計 | | 482 | 100.0% |

居住区別



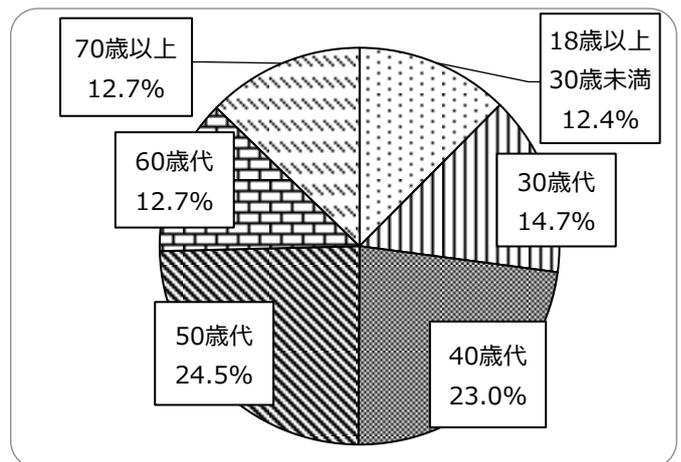
| 性別 | | 回答数 | 構成比 |
|----|----|-----|--------|
| 1 | 男性 | 201 | 41.7% |
| 2 | 女性 | 281 | 58.3% |
| 計 | | 482 | 100.0% |

性別



| 年齢層別 | | 回答数 | 構成比 |
|------|------------|-----|--------|
| 1 | 18歳以上30歳未満 | 60 | 12.4% |
| 2 | 30歳代 | 71 | 14.7% |
| 3 | 40歳代 | 111 | 23.0% |
| 4 | 50歳代 | 118 | 24.5% |
| 5 | 60歳代 | 61 | 12.7% |
| 6 | 70歳以上 | 61 | 12.7% |
| 計 | | 482 | 100.0% |

年齢層別



1. 消費生活について

調査結果の概要

| | |
|---------------------------|--|
| テーマ | 消費生活について |
| 担当課 | 市民人権局 市民生活部 消費生活センター |
| 設問数 | 15 問 |
| 趣旨・目的 | <p>本市では、安全・安心な消費生活の実現をめざし、消費生活相談による被害の回復や、消費者トラブルを防止するための情報提供や周知活動、消費者教育の支援などに取り組んでいます。</p> <p>今回のアンケートは、皆様の消費生活に関する意識などをお尋ねすることで、今後の消費者施策を検討する際に活用するために実施するものです。</p> |
| 調査結果 | 各設問のページをご覧ください。 |
| 調査結果に係る 担当課の所見 | <ul style="list-style-type: none">・問 1 では、消費生活センターの名称を認識していても、役割までは知らない方が約 3 割にのぼったため、各種広報媒体の活用や出前講座、イベント実施などの機会を捉え、積極的に周知します。・問 8 では、60 歳代までの全ての年代で、SNS を含むインターネットを通じて情報を入手している方が多かったため、市ホームページや SNS などのデジタルツールを活用し、今後も積極的に情報発信を行います。・問 10 では、訪問販売お断りシールの利用率が約 15%に留まっているため、シールの内容や利用による効果を分かりやすく周知します。 <p>また、消費者被害に遭いやすいとされる高齢者などに対して、福祉関係機関などの見守り関係者へのアプローチを含め、シールの利用を積極的に勧奨し、被害の未然防止や相談需要の掘り起こしに繋がります。</p> |

(1) 消費生活センターなどについて

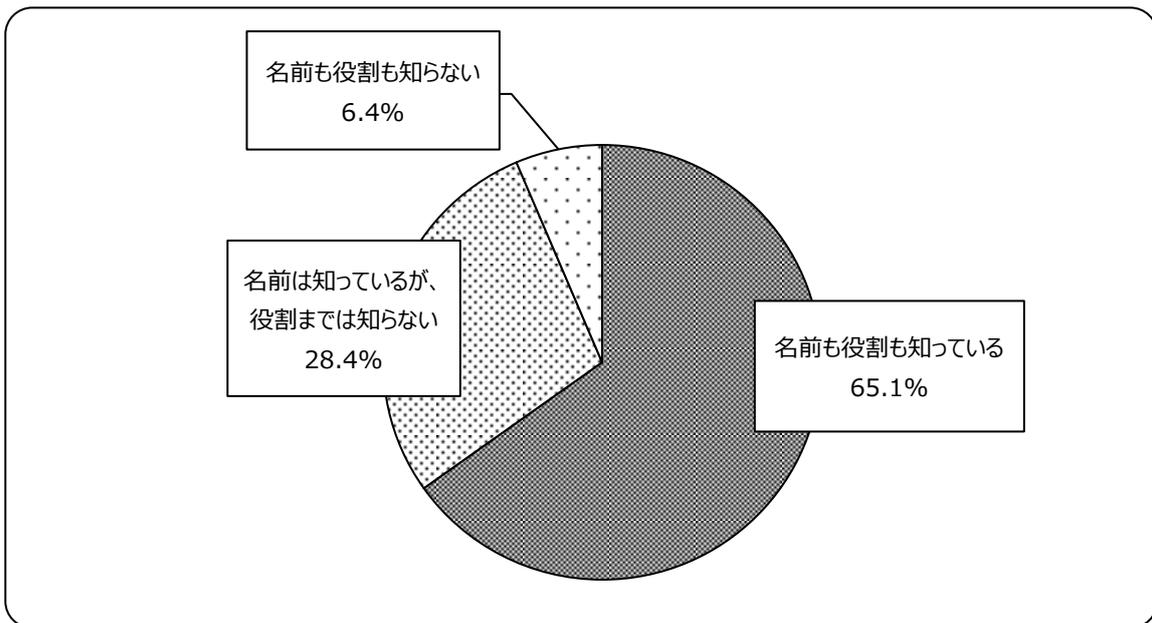
問 1. 消費生活センターでは、商品・サービスの契約トラブルなどに関する消費生活相談や、消費者トラブルを未然に防止するための情報提供などを行っています。

消費生活センターの名前やこのような役割について知っていますか。

【1つ選択】

「名前知っているが、役割までは知らない」「名前も役割も知らない」と回答した方の合計は 34.8%であり、令和 4 年度の 39.8%から減少した。

| | 選択項目 (N=482) | 回答数 | 構成比 |
|---|---------------------|-----|--------|
| 1 | 名前も役割も知っている | 314 | 65.1% |
| 2 | 名前は知っているが、役割までは知らない | 137 | 28.4% |
| 3 | 名前も役割も知らない | 31 | 6.4% |
| | 計 (回答総数) | 482 | 100.0% |



問 2. 問 1 で「1 名前も役割も知っている」「2 名前は知っているが、役割までは知らない」と回答された方に伺います。
消費生活センターをどのようにして知りましたか。 【複数選択可：いくつでも】

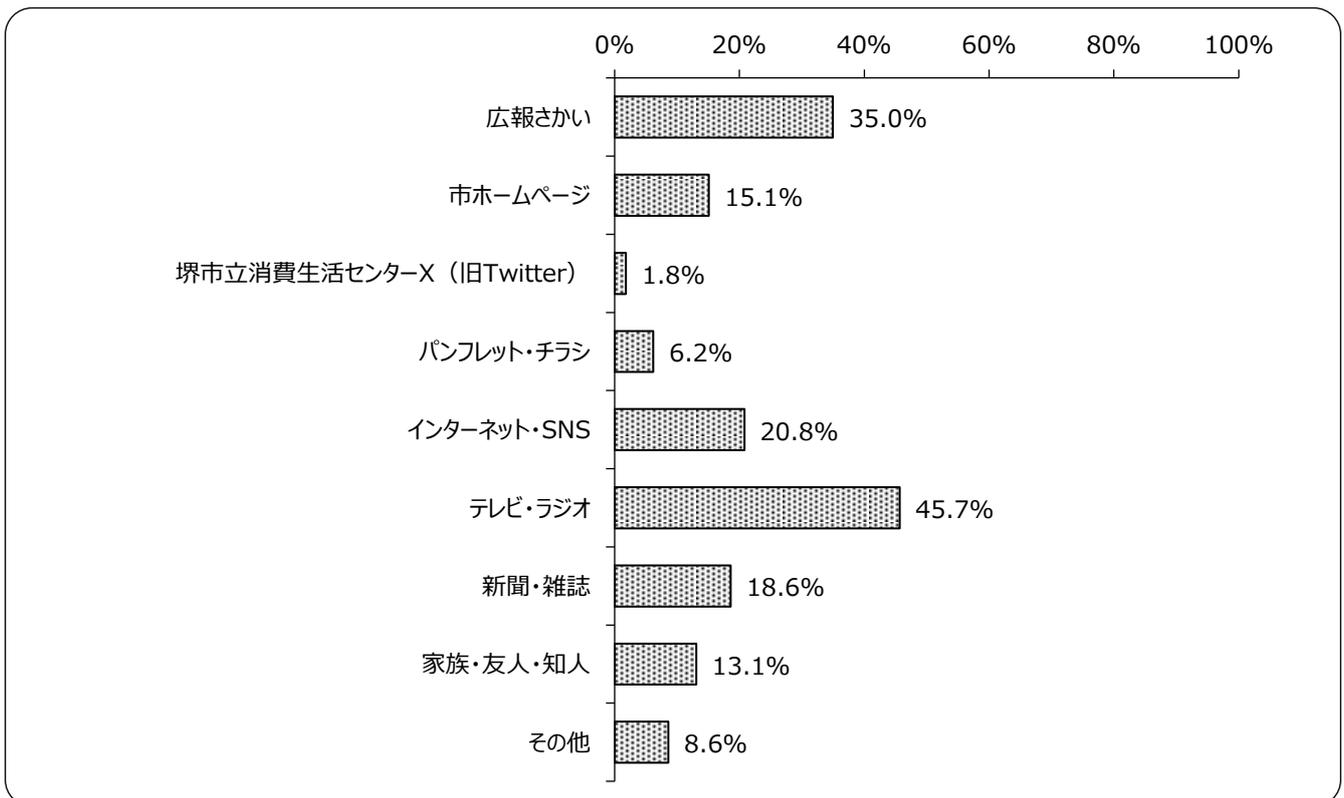
18 歳以上 30 歳未満では「インターネット・SNS」（令和 4 年度 27.5%）、30 歳代、40 歳代及び 50 歳代では「テレビ・ラジオ」（令和 4 年度 30 歳代 30.6%、40 歳代 37.1%、50 歳代 35.6%）、60 歳代以上では「広報さかい」と回答した方（令和 4 年度 60 歳代 60.3%、70 歳以上 67.3%）がそれぞれ最も多かった。

| | 選択項目 (N=451) | 回答数 | 回答数/N |
|---|-------------------------|-----|-------|
| 1 | 広報さかい | 158 | 35.0% |
| 2 | 市ホームページ | 68 | 15.1% |
| 3 | 堺市立消費生活センターX (旧Twitter) | 8 | 1.8% |
| 4 | パンフレット・チラシ | 28 | 6.2% |
| 5 | インターネット・SNS | 94 | 20.8% |
| 6 | テレビ・ラジオ | 206 | 45.7% |
| 7 | 新聞・雑誌 | 84 | 18.6% |
| 8 | 家族・友人・知人 | 59 | 13.1% |
| 9 | その他 | 39 | 8.6% |

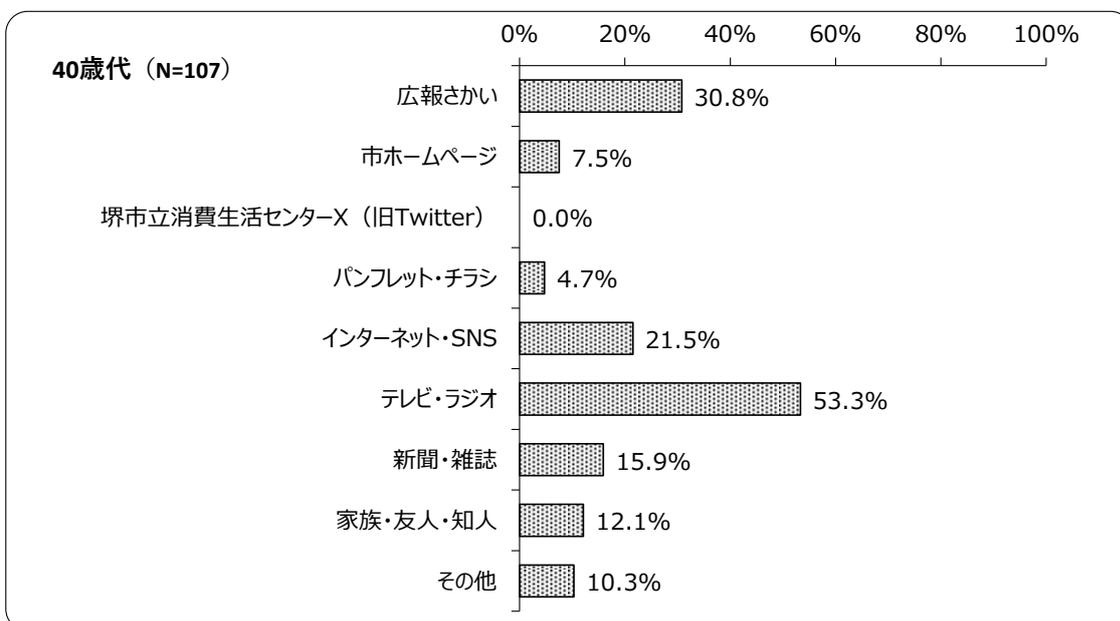
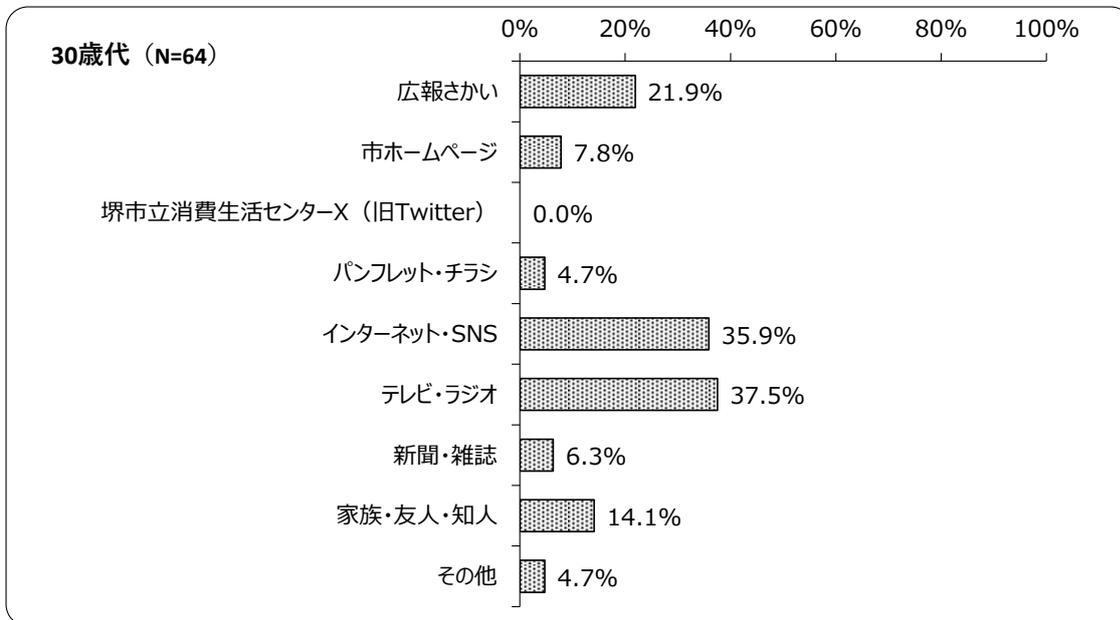
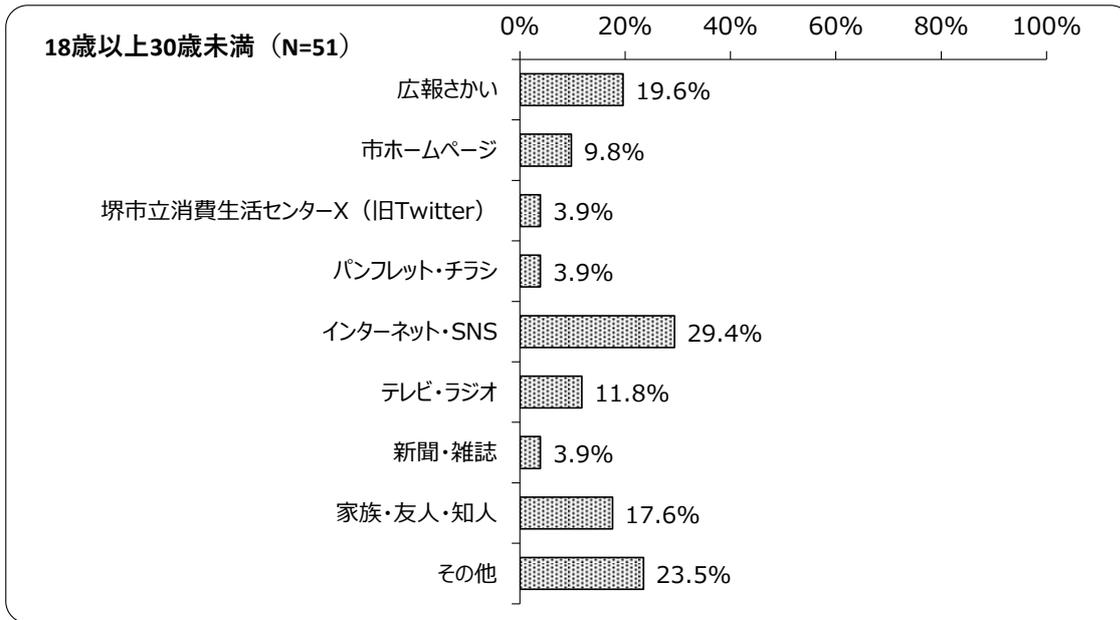
[9 その他]

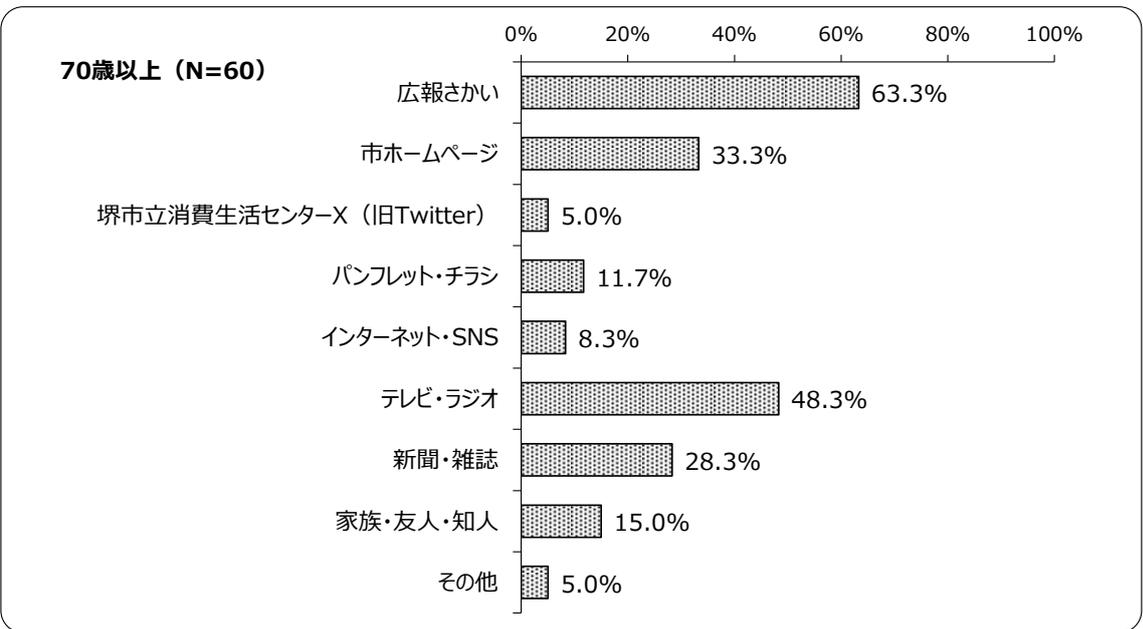
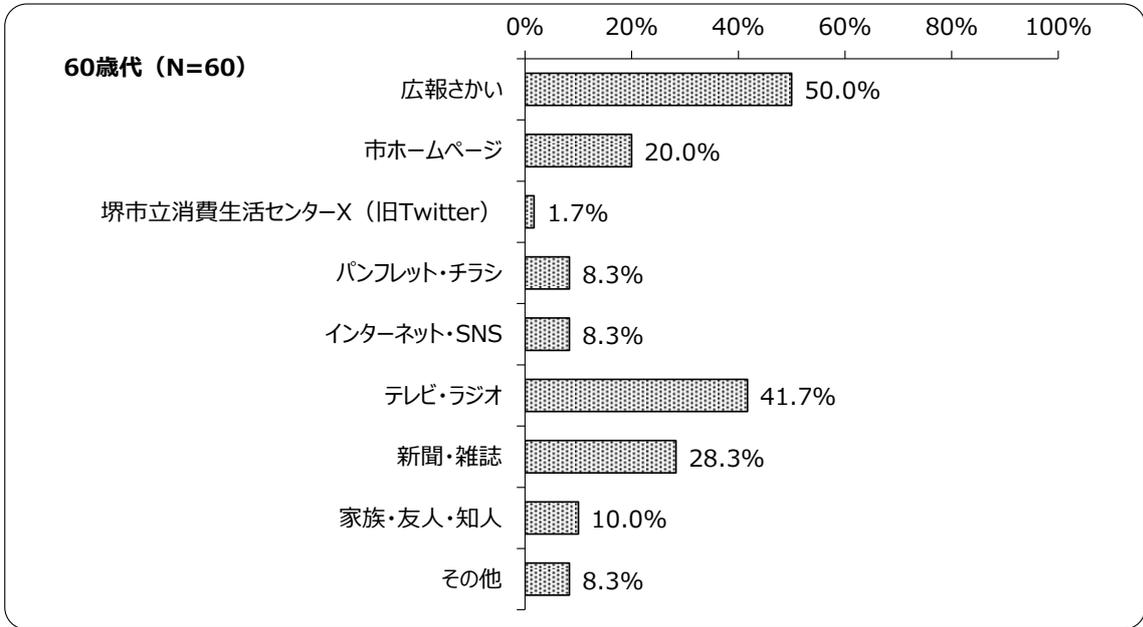
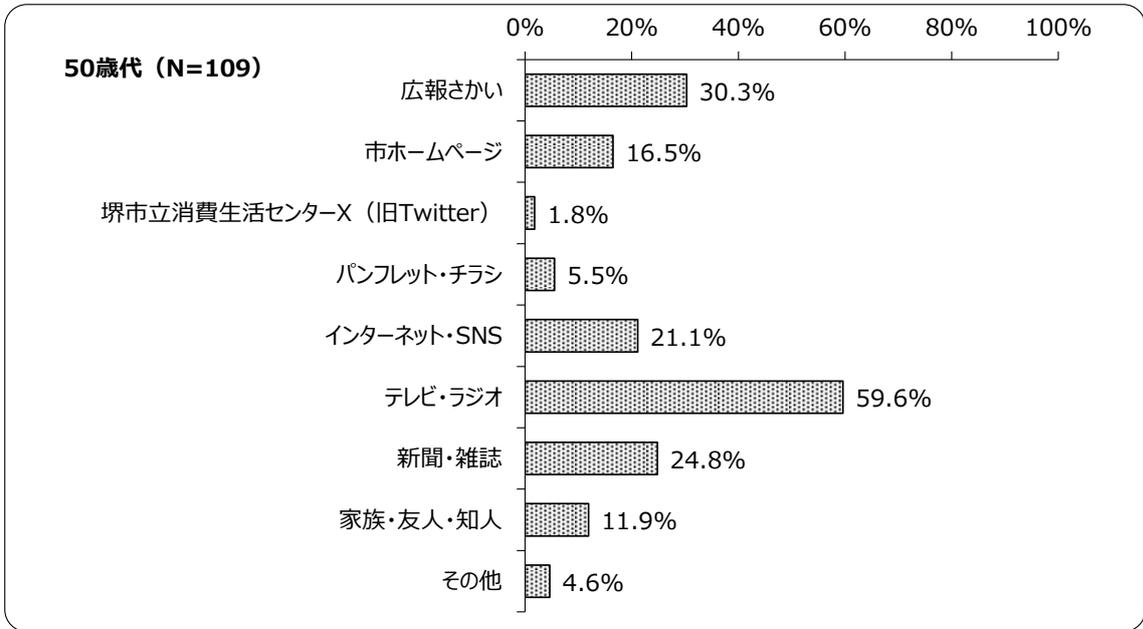
【主な回答】

- 学校の授業
- 会社、職場



《年齢別》



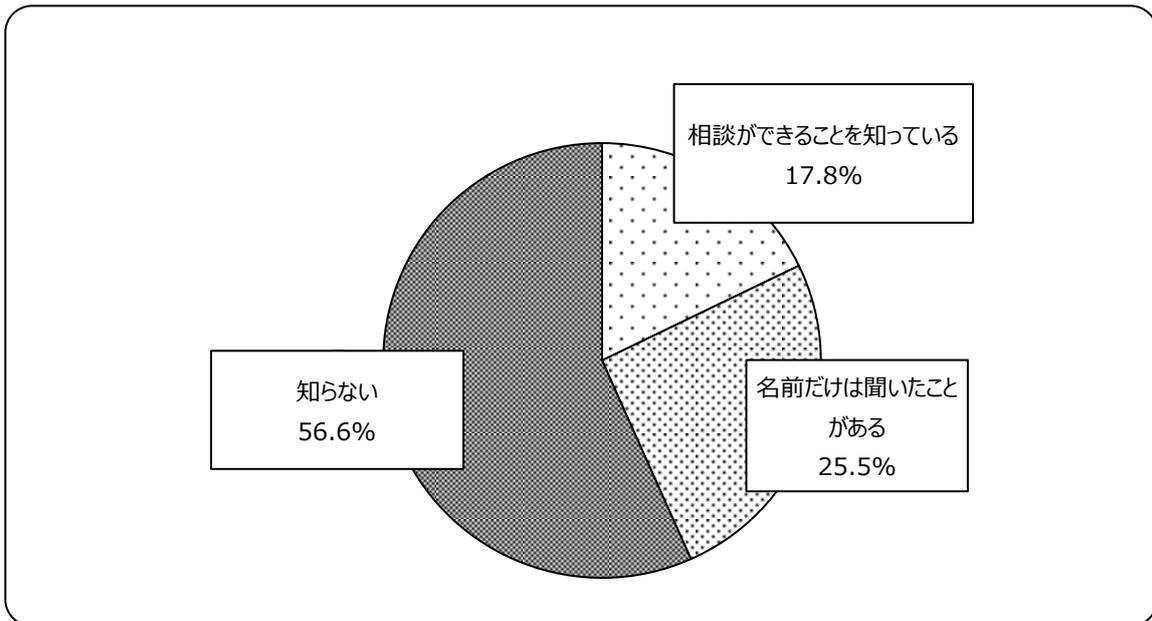


問 3. 「消費者ホットライン（188）」^{イヤヤ}※を知っていますか。

※「消費者ホットライン（188）」^{イヤヤ}とは、消費生活におけるトラブルや困ったことについて相談したいときに、最寄りの消費生活センターなどを案内する全国共通の電話番号です。 【1つ選択】

「相談ができることを知っている」「名前だけは聞いたことがある」と回答した方の合計は43.3%（令和4年度59.5%）であり、半数を下回った。

| | 選択項目 (N=482) | 回答数 | 構成比 |
|---|----------------|-----|--------|
| 1 | 相談ができることを知っている | 86 | 17.8% |
| 2 | 名前だけは聞いたことがある | 123 | 25.5% |
| 3 | 知らない | 273 | 56.6% |
| | 計 (回答総数) | 482 | 100.0% |



問 4. 「クーリング・オフ」制度^{*}を知っていますか。

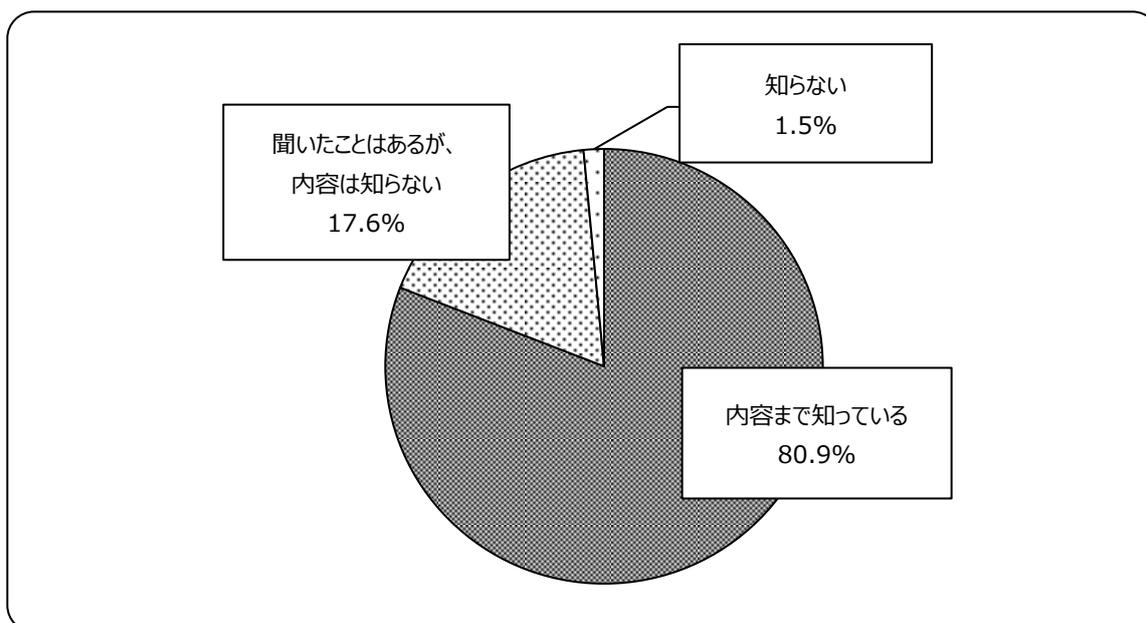
※「クーリング・オフ」制度とは、いったん契約の申込や締結をした場合でも、一定期間であれば理由を問わず、無条件で契約の申込を撤回したり、契約を解除したりできる制度です。

ただし、インターネット通販やテレビショッピング等の通信販売には適用されません。

【1 つ選択】

「内容まで知っている」「聞いたことはあるが、内容は知らない」と回答した方の合計は 98.5%であり、令和 4 年度の 97.3%から増加した。

| | 選択項目 (N=482) | 回答数 | 構成比 |
|---|-------------------|-----|--------|
| 1 | 内容まで知っている | 390 | 80.9% |
| 2 | 聞いたことはあるが、内容は知らない | 85 | 17.6% |
| 3 | 知らない | 7 | 1.5% |
| | 計 (回答総数) | 482 | 100.0% |



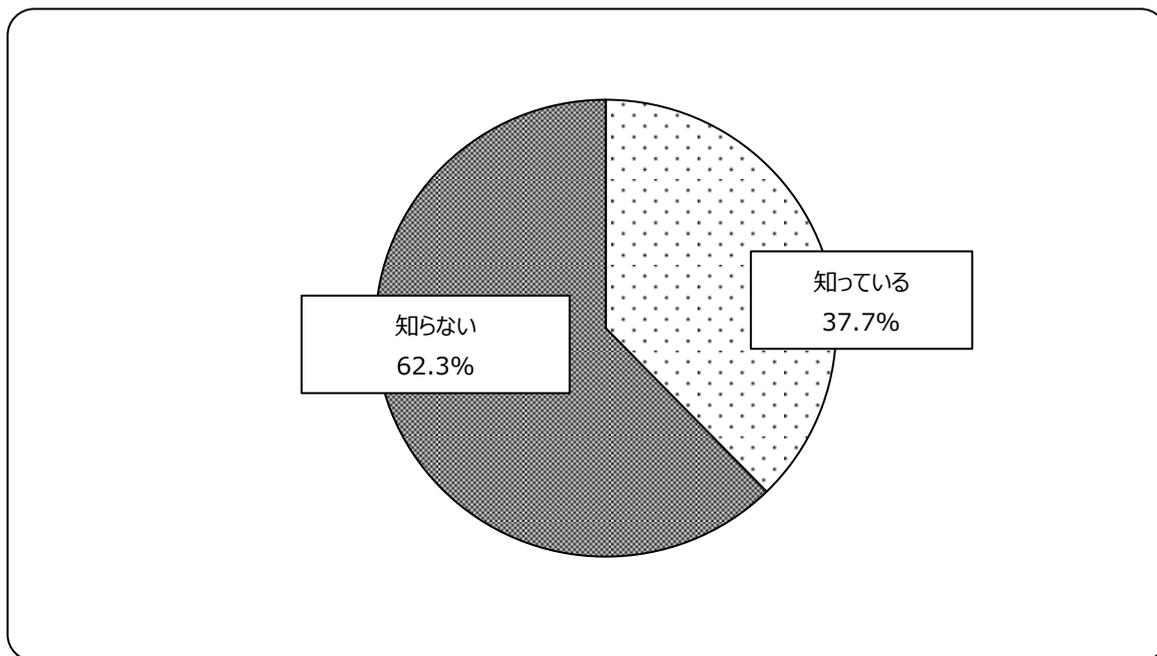
問 5. 問 4 で「1 内容まで知っている」と回答された方に伺います。

インターネットショッピングなどの通信販売は、「クーリング・オフ」制度[※]の対象とならないことを知っていますか。

【1 つ選択】

問 4 で「クーリング・オフ」制度の「内容まで知っている」と回答した方は 80.9%であったが、同制度が通信販売には適用されないことまで知っている方は 37.7%に留まった。

| | 選択項目 (N=390) | 回答数 | 構成比 |
|---|--------------|-----|--------|
| 1 | 知っている | 147 | 37.7% |
| 2 | 知らない | 243 | 62.3% |
| | 計 (回答総数) | 390 | 100.0% |

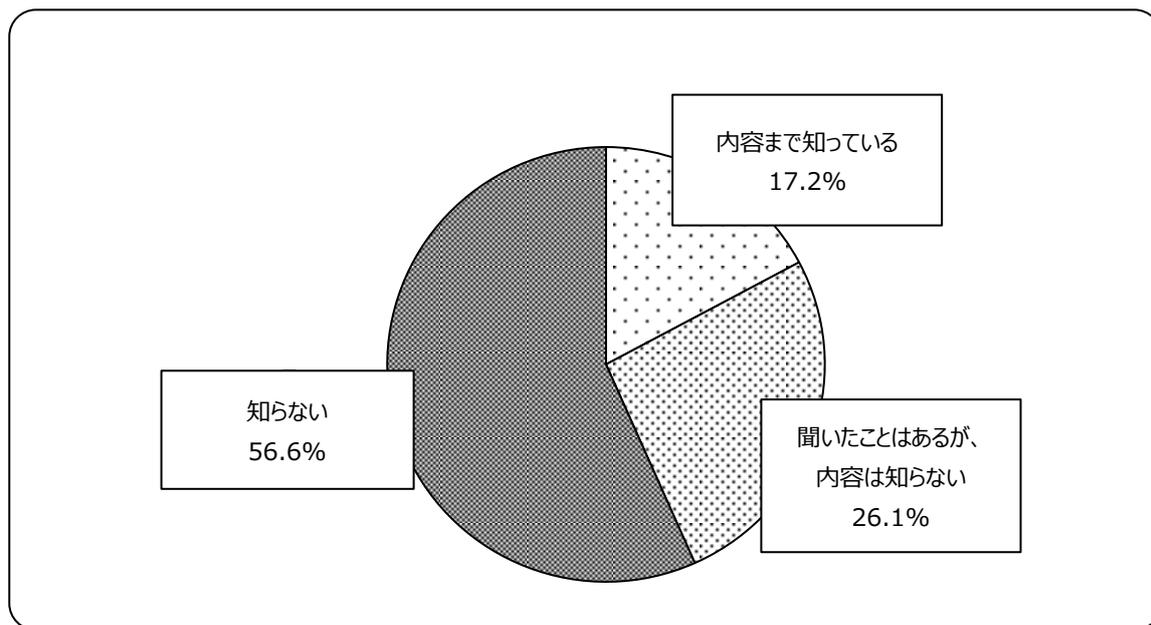


問 6. 「エシカル消費」※を知っていますか。

※「エシカル消費」とは、環境に良いものやサービスを選択したり、適正な価格のものやサービスを選択したりといった、地域の活性化や雇用なども含む、環境や人、社会に配慮した消費行動のことを表します。 【1つ選択】

「内容まで知っている」「聞いたことはあるが、内容は知らない」と回答した方の合計は 43.3%であり、令和 4 年度の 39.6%から増加した。

| | 選択項目 (N=482) | 回答数 | 構成比 |
|---|-------------------|-----|--------|
| 1 | 内容まで知っている | 83 | 17.2% |
| 2 | 聞いたことはあるが、内容は知らない | 126 | 26.1% |
| 3 | 知らない | 273 | 56.6% |
| | 計 (回答総数) | 482 | 100.0% |



(2) 消費生活に関する意識などについて

問 7. 消費者トラブルに遭わないために、日頃から気を付けていることはありますか。 【複数選択可：いくつでも】

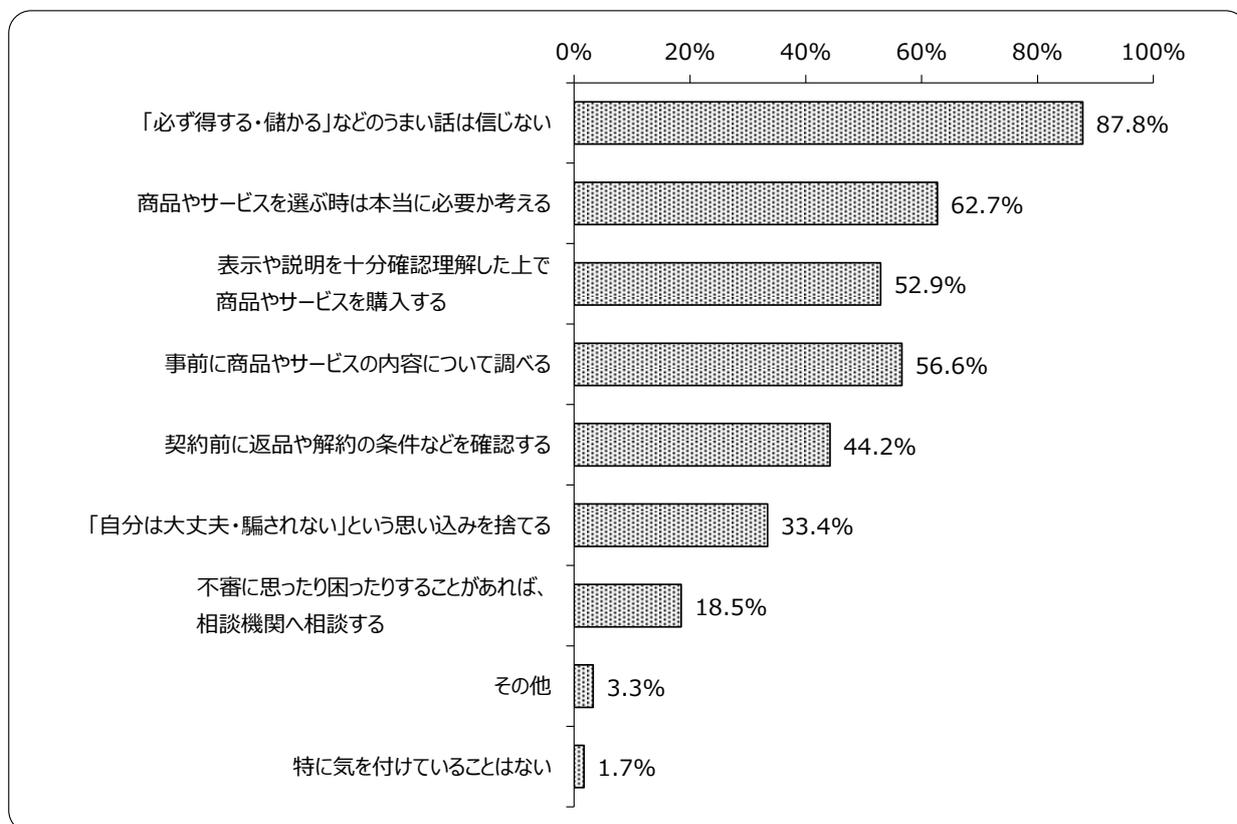
全ての年代で「必ず得する・儲かる」などのうまい話は信じない」と回答した方の割合が最も多かった。

| | 選択項目 (N=482) | 回答数 | 回答数/N |
|---|-------------------------------|-----|-------|
| 1 | 「必ず得する・儲かる」などのうまい話は信じない | 423 | 87.8% |
| 2 | 商品やサービスを選ぶ時は本当に必要か考える | 302 | 62.7% |
| 3 | 表示や説明を十分確認理解した上で商品やサービスを購入する | 255 | 52.9% |
| 4 | 事前に商品やサービスの内容について調べる | 273 | 56.6% |
| 5 | 契約前に返品や解約の条件などを確認する | 213 | 44.2% |
| 6 | 「自分は大丈夫・騙されない」という思い込みを捨てる | 161 | 33.4% |
| 7 | 不審に思ったり困ったりすることがあれば、相談機関へ相談する | 89 | 18.5% |
| 8 | その他 | 16 | 3.3% |
| 9 | 特に気を付けていることはない | 8 | 1.7% |

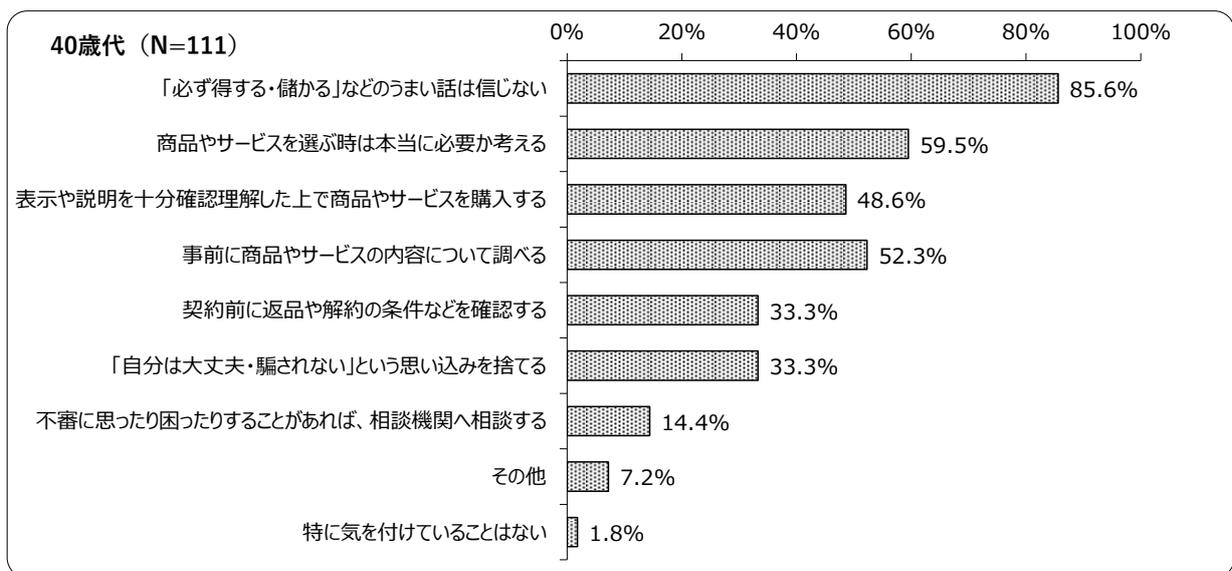
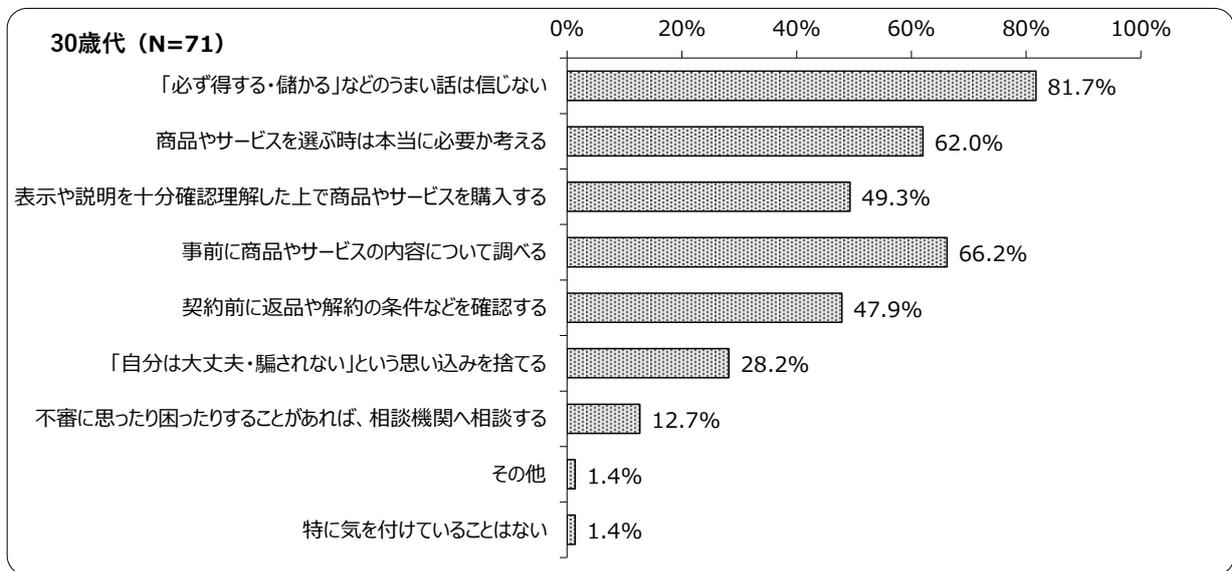
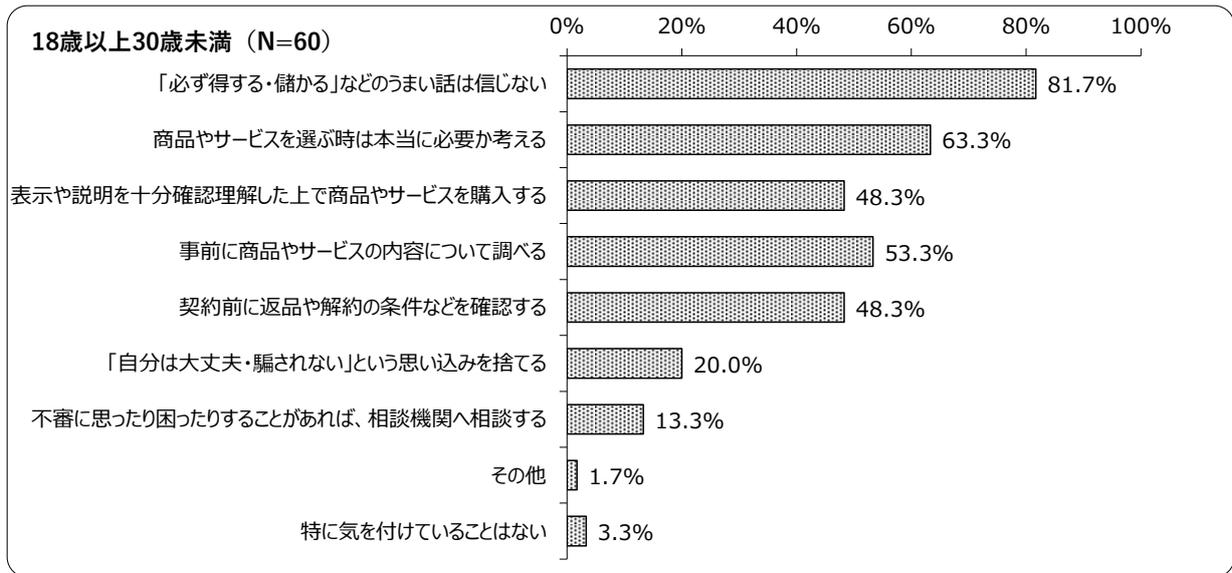
[8 その他]

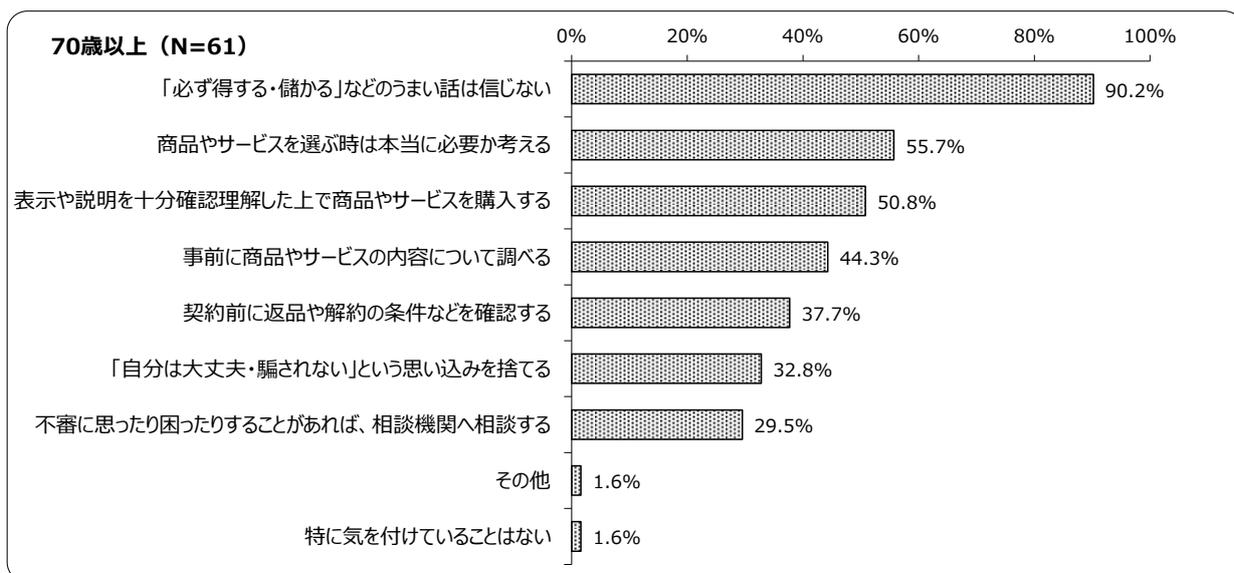
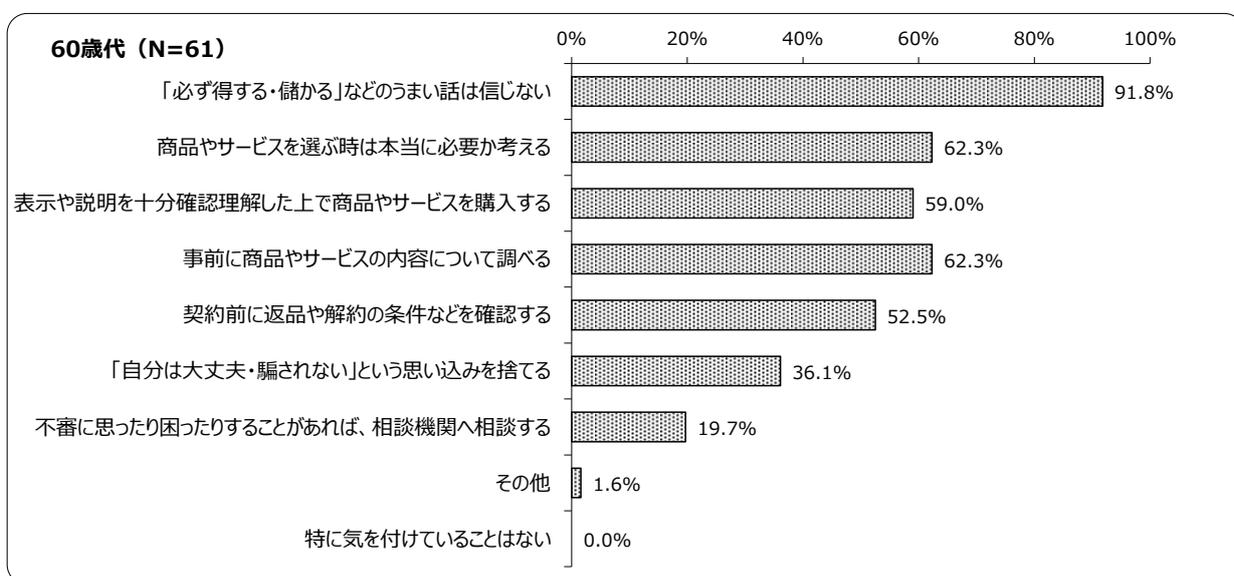
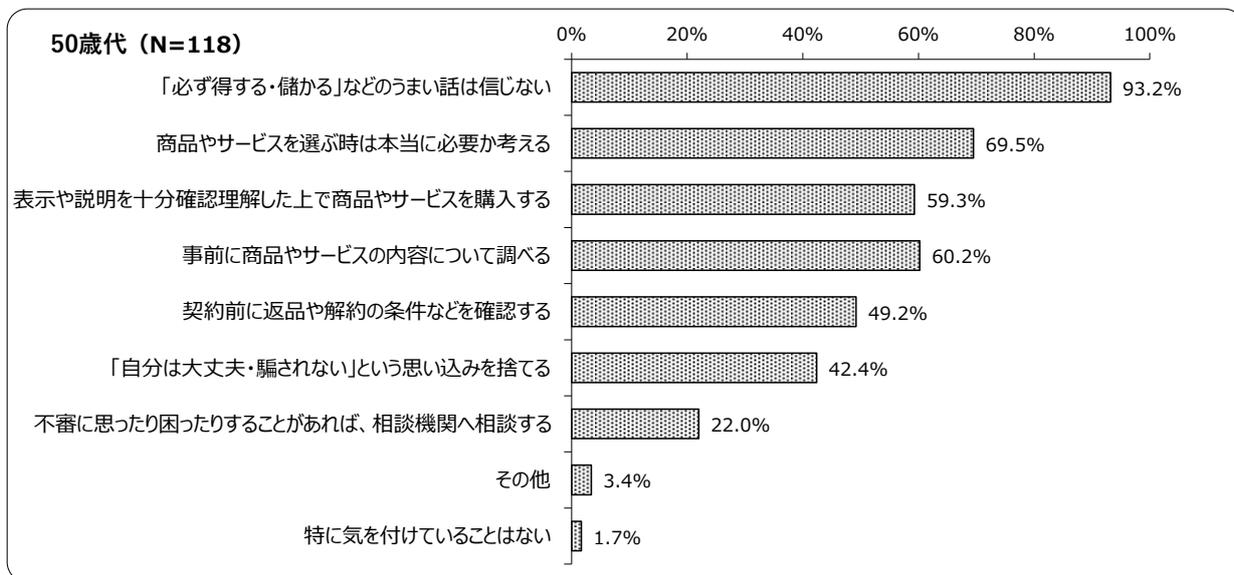
【主な回答】

- 友人に相談する。
- 即決せず家に持ち帰り考える。
- 勧誘では契約しない。
- 知らない人とは、関わらない。
- 友達からの誘いをうのみにしない。
- 販売会社を調べる。
- ネットで口コミやレビューを調べる。
- 信頼できるサイトやアプリを利用する。
- 騙されても悔しくない程度の金額のものを購入する。



《年齢別》





問 8. 商品やサービスの内容・品質、悪質商法、消費生活についての法制度、生活の知恵に関することなど消費生活全般に関する情報をどのように入手していますか。 **【複数選択可：いくつでも】**

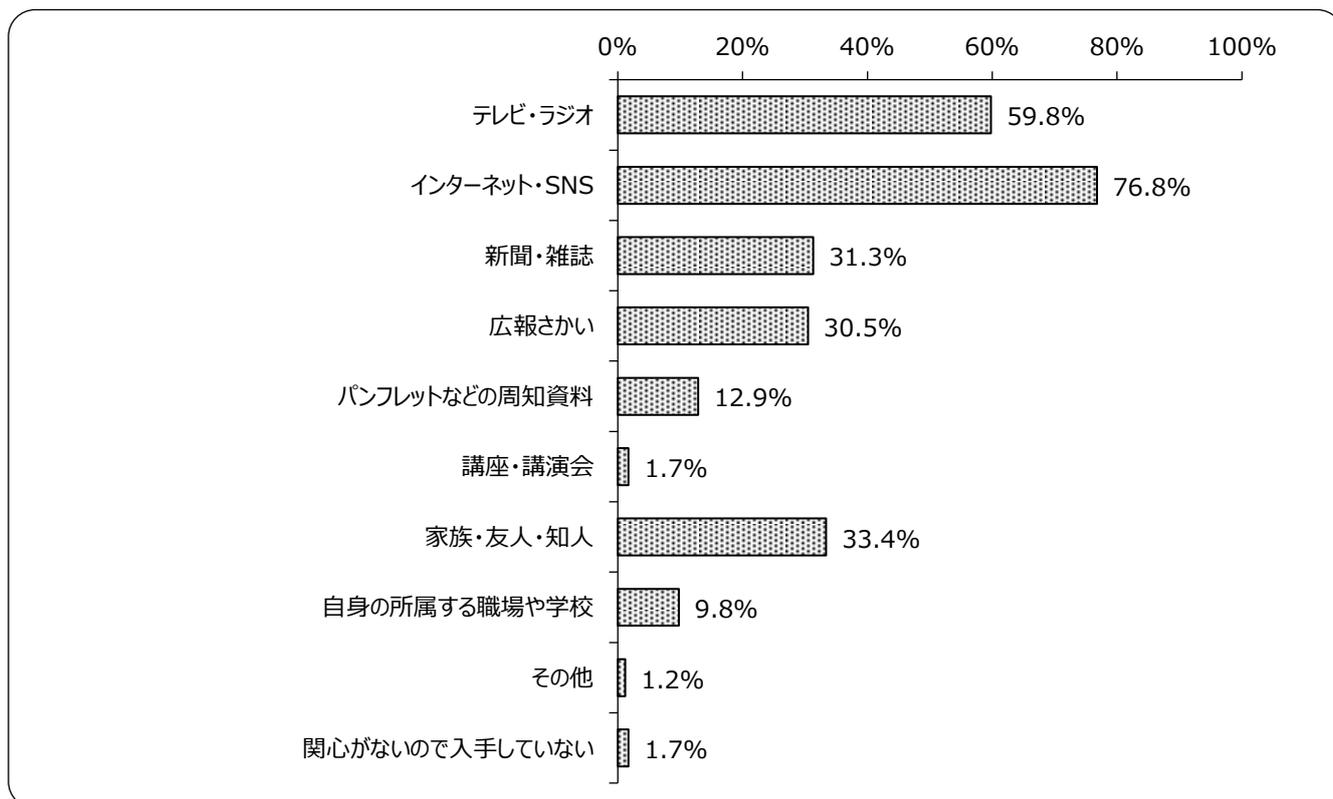
60歳代までの各年代では「インターネット・SNS」と回答した方の割合が最も多く、70歳以上では「テレビ・ラジオ」と回答した方の割合が最も多かった。

| | 選択項目 (N=482) | 回答数 | 回答数/N |
|----|----------------|-----|-------|
| 1 | テレビ・ラジオ | 288 | 59.8% |
| 2 | インターネット・SNS | 370 | 76.8% |
| 3 | 新聞・雑誌 | 151 | 31.3% |
| 4 | 広報さかい | 147 | 30.5% |
| 5 | パンフレットなどの周知資料 | 62 | 12.9% |
| 6 | 講座・講演会 | 8 | 1.7% |
| 7 | 家族・友人・知人 | 161 | 33.4% |
| 8 | 自身の所属する職場や学校 | 47 | 9.8% |
| 9 | その他 | 6 | 1.2% |
| 10 | 関心がないので入手していない | 8 | 1.7% |

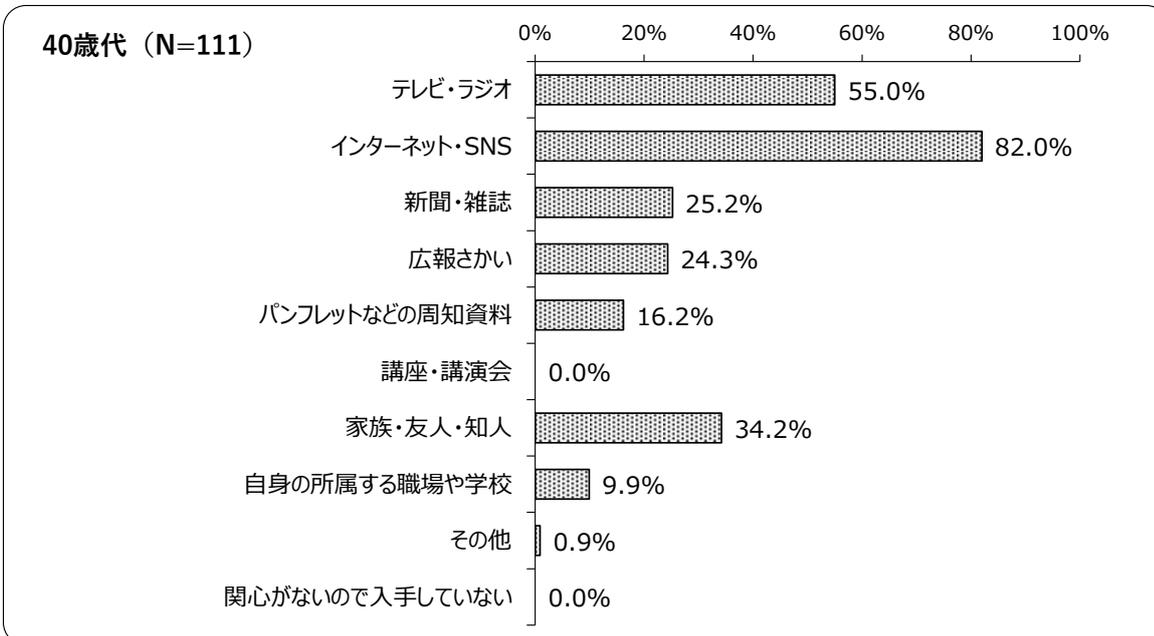
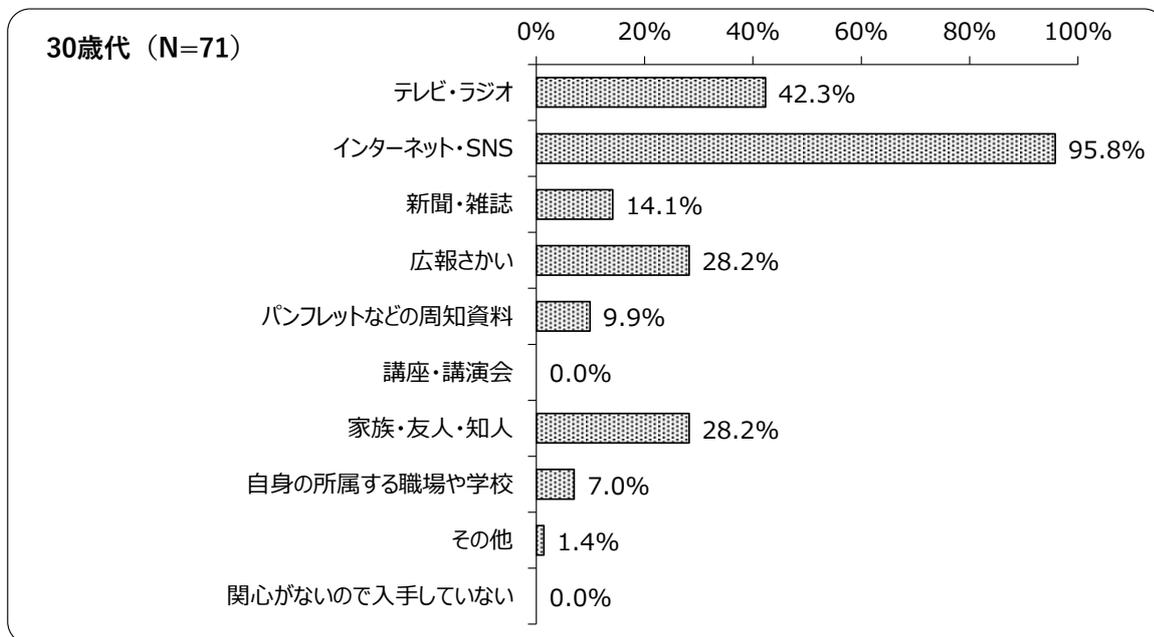
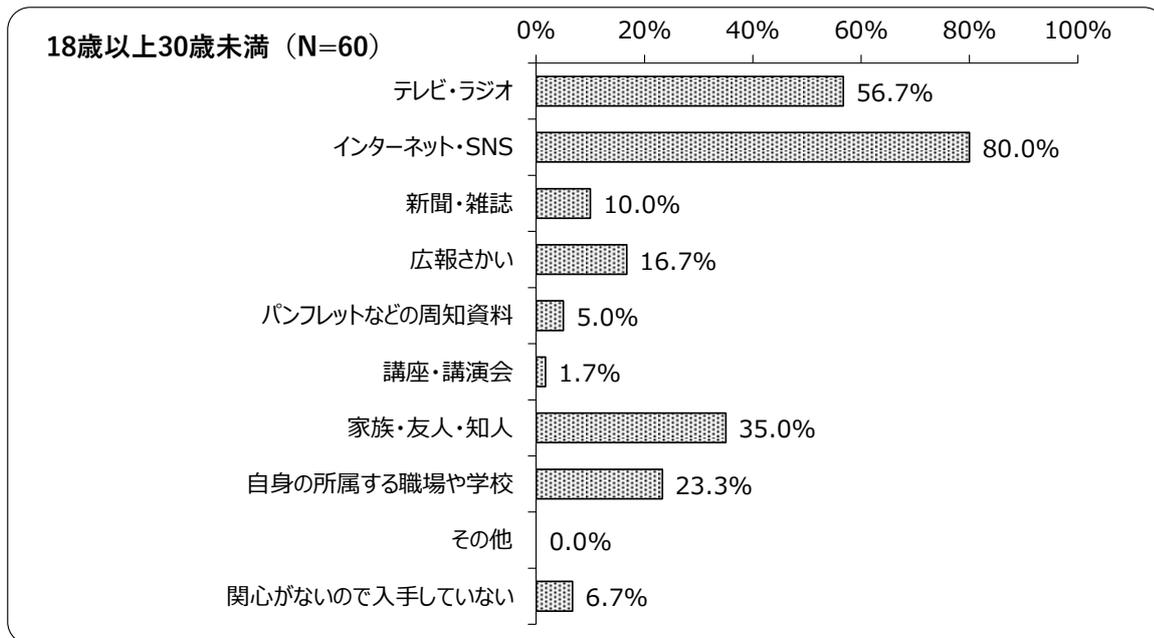
[9 その他]

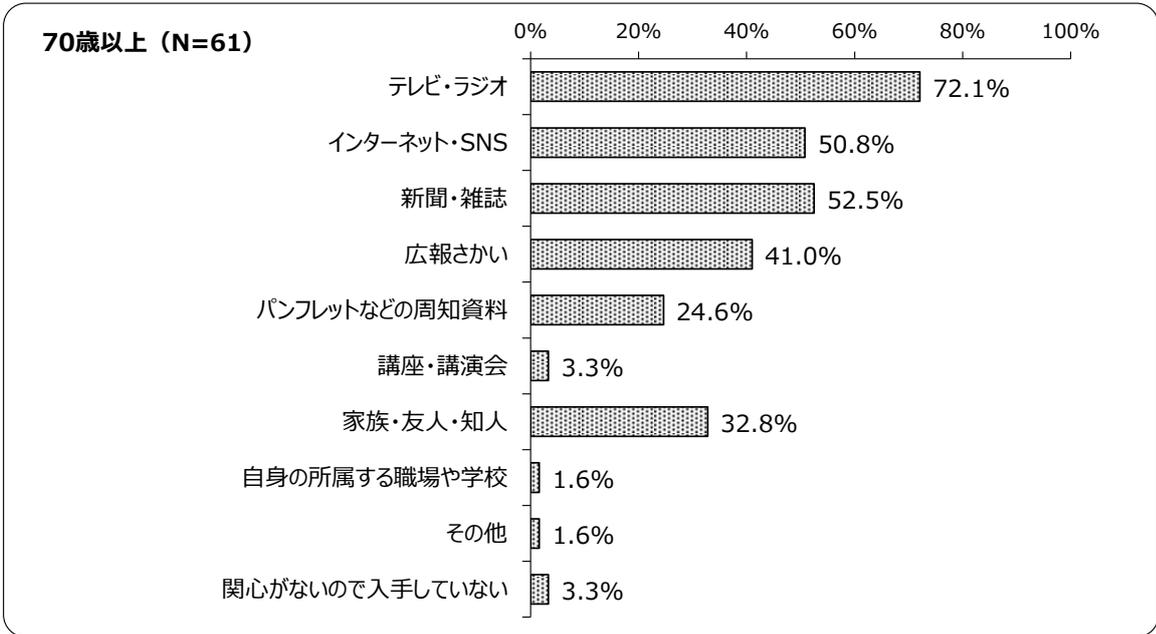
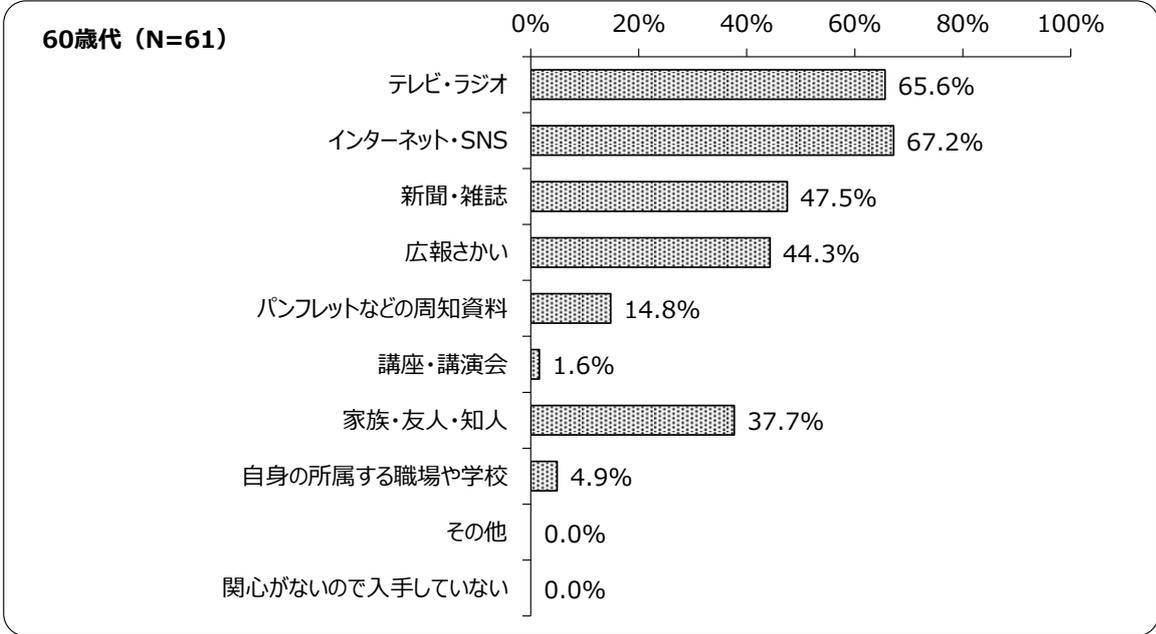
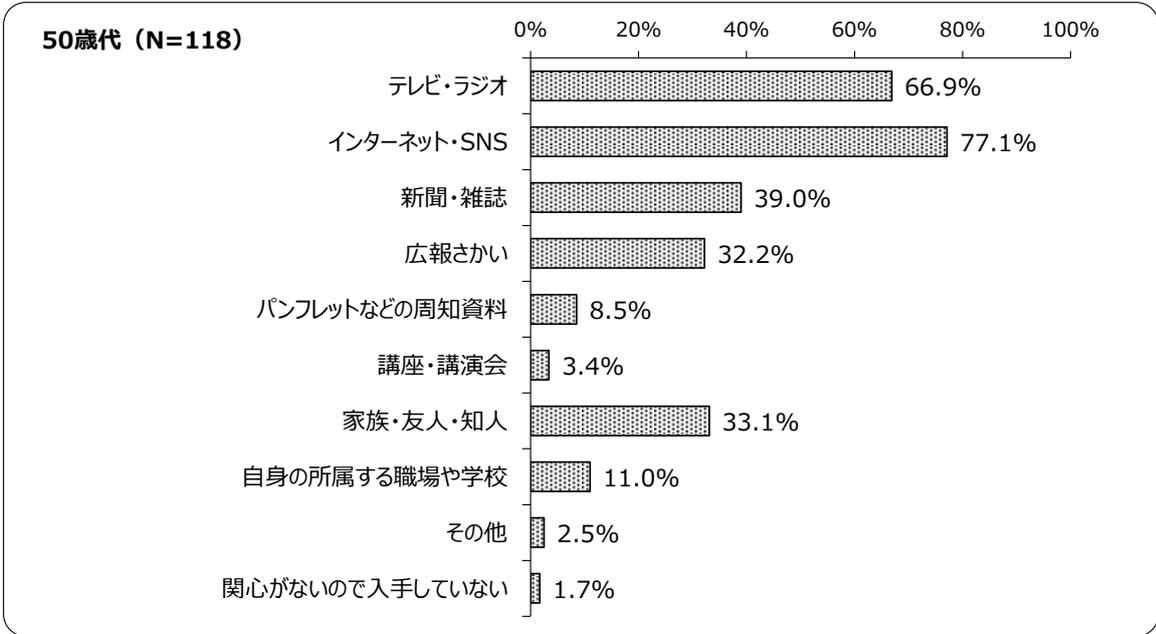
【主な回答】

- 自治会の防犯教室
- 漫画
- 市政モニターで初めて知った。



《年齢別》





問 9. 令和 4 年 4 月 1 日に改正民法が施行され、成年年齢が 20 歳から 18 歳に引き下げられました。これに伴い、若年者を狙った消費者トラブルの増加の可能性が指摘されています。

若年者の消費者被害を防止するには、どのような対策が必要だと思いますか。 【複数選択可：いくつでも】

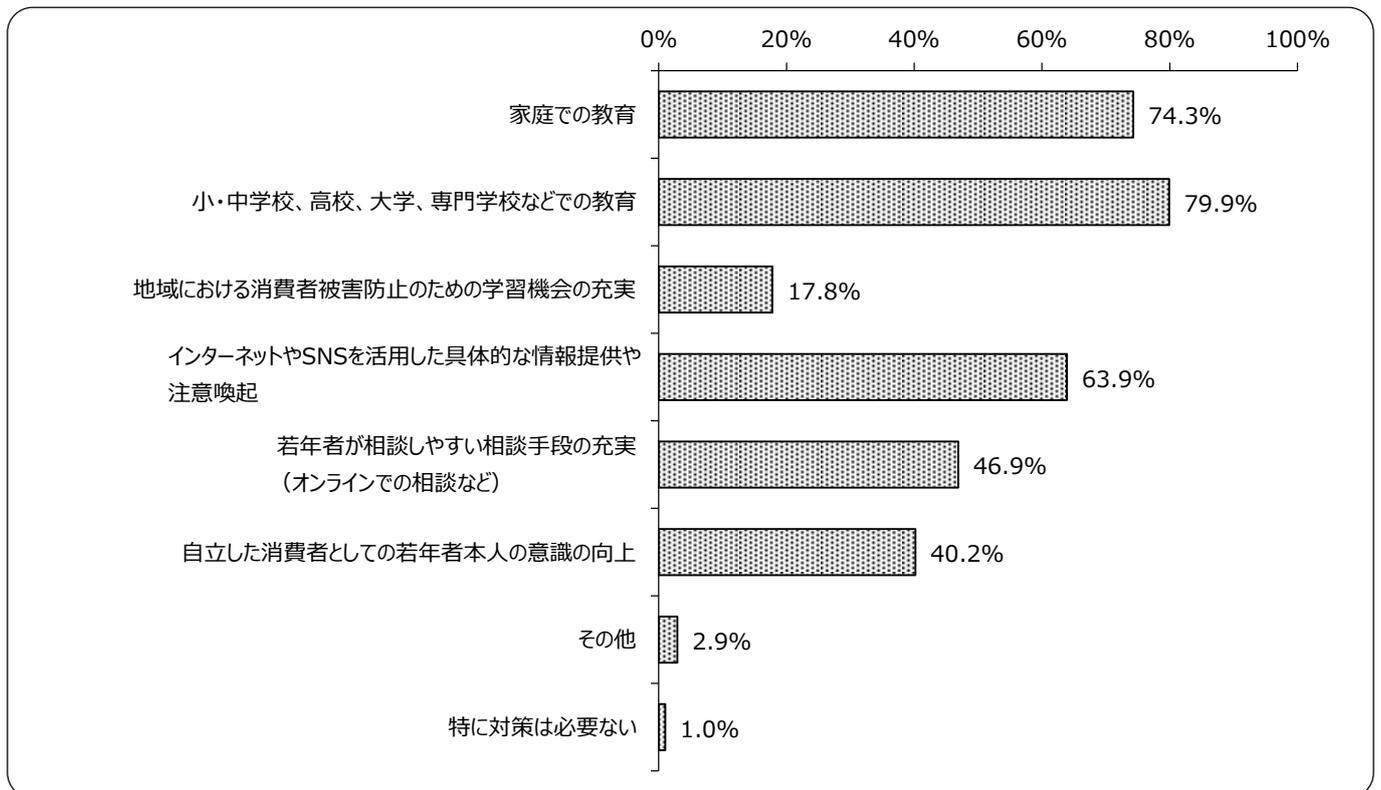
30 歳代では「インターネットや SNS を活用した具体的な情報提供や注意喚起」と回答した方の割合が、それ以外の各年代では「小・中学校、高校、大学、専門学校などでの教育」と回答した方の割合が最も多かった。

| | 選択項目 (N=482) | 回答数 | 回答数/N |
|---|---------------------------------|-----|-------|
| 1 | 家庭での教育 | 358 | 74.3% |
| 2 | 小・中学校、高校、大学、専門学校などでの教育 | 385 | 79.9% |
| 3 | 地域における消費者被害防止のための学習機会の充実 | 86 | 17.8% |
| 4 | インターネットやSNSを活用した具体的な情報提供や注意喚起 | 308 | 63.9% |
| 5 | 若年者が相談しやすい相談手段の充実 (オンラインでの相談など) | 226 | 46.9% |
| 6 | 自立した消費者としての若年者本人の意識の向上 | 194 | 40.2% |
| 7 | その他 | 14 | 2.9% |
| 8 | 特に対策は必要ない | 5 | 1.0% |

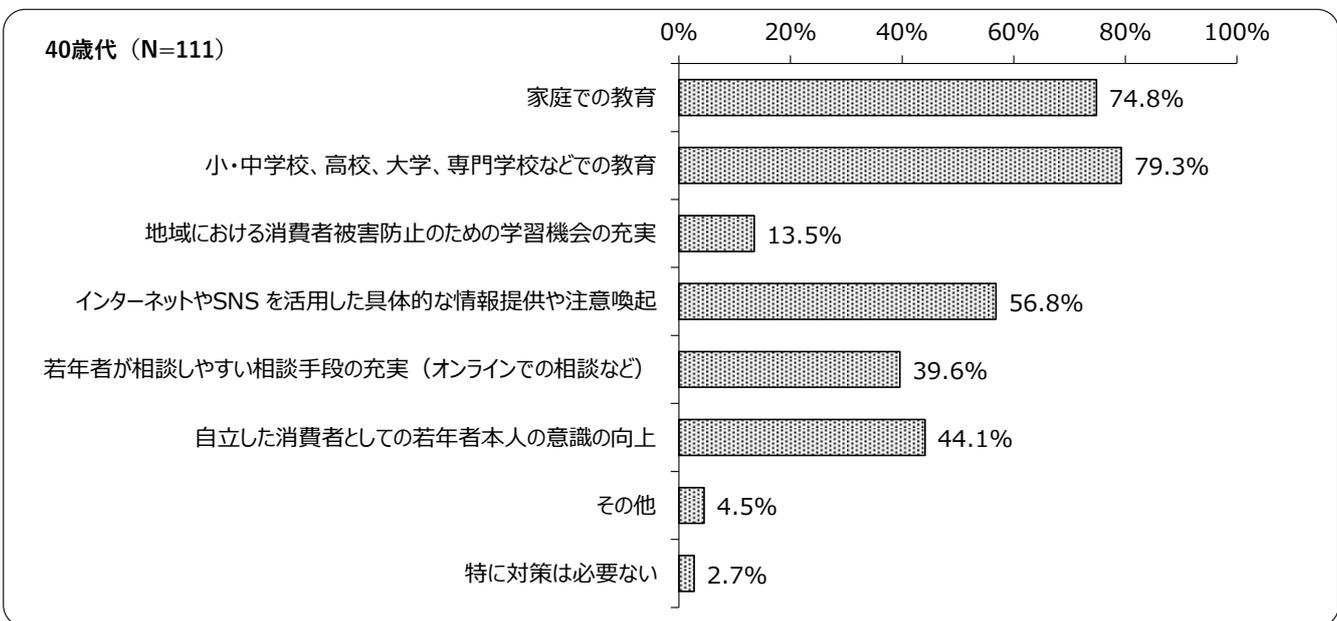
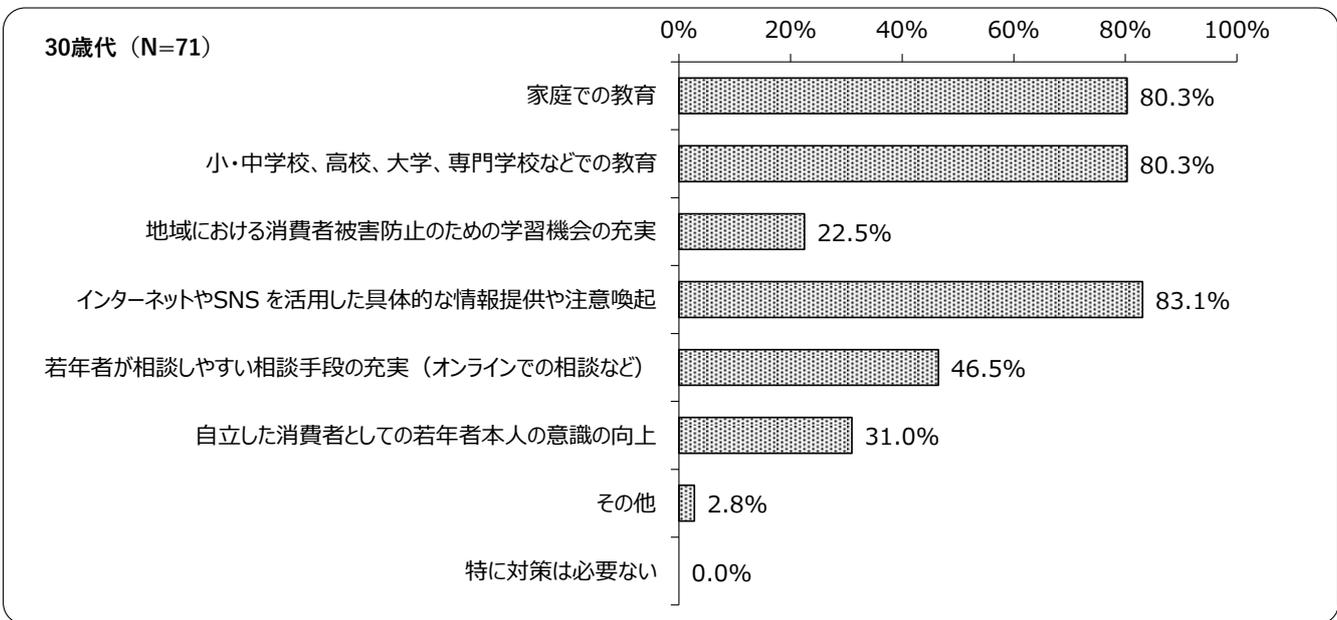
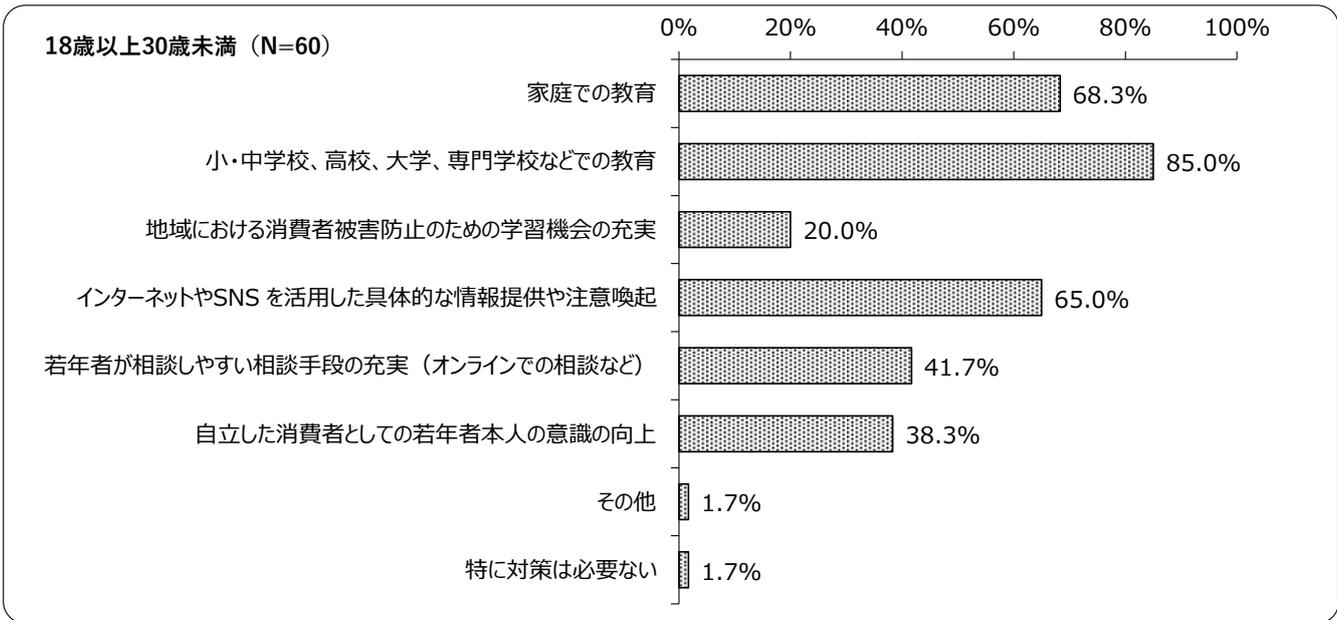
[7 その他]

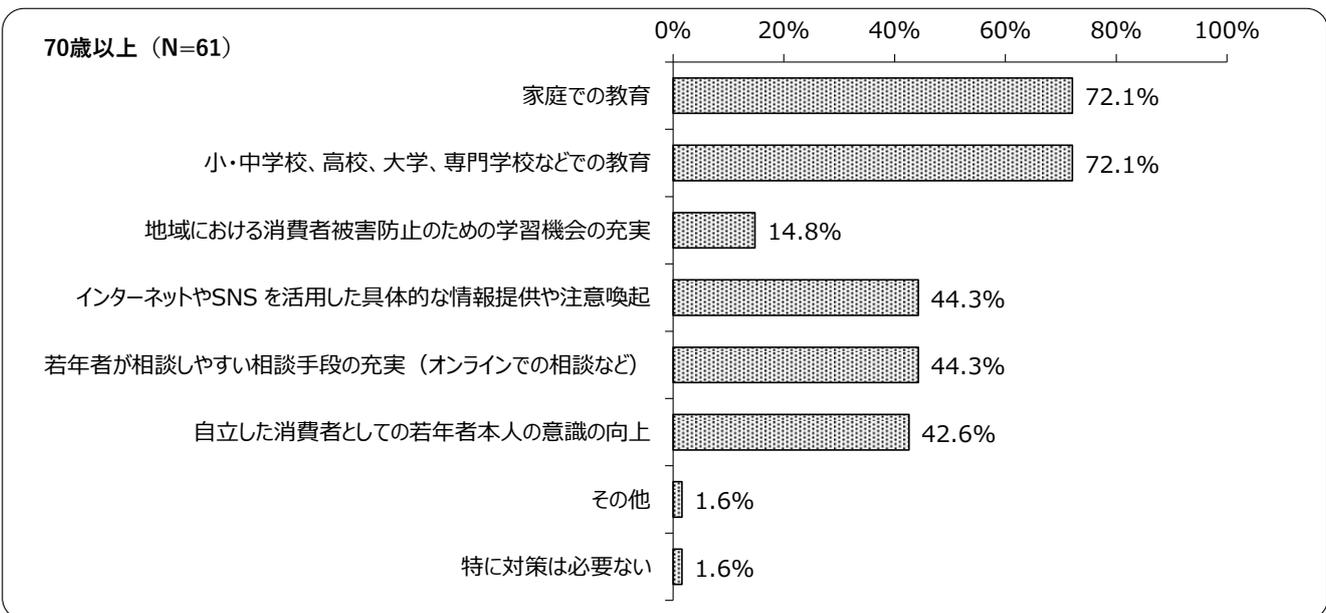
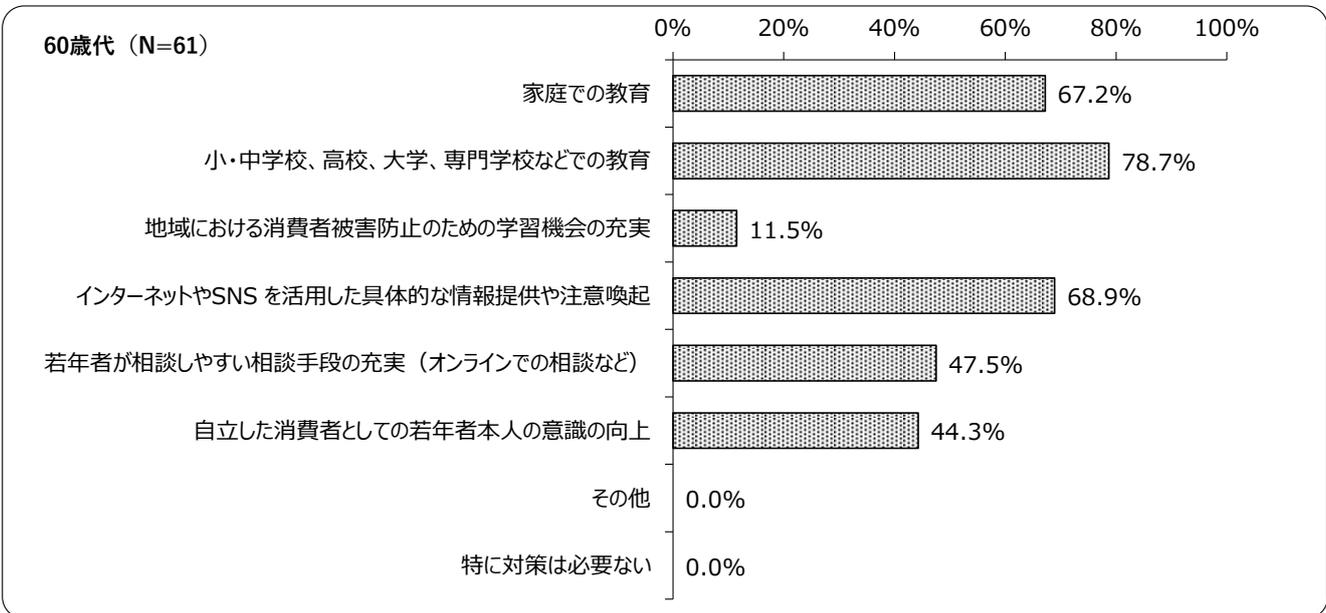
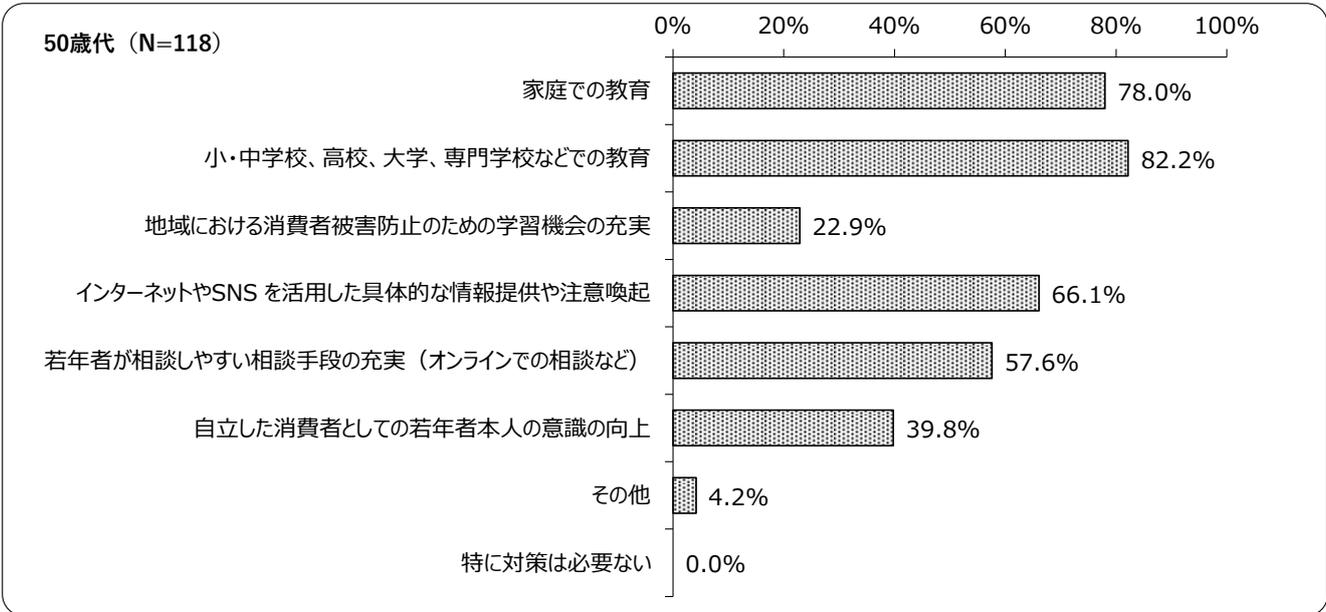
【主な回答】

- 罰則など法的規制の強化
- 保護者や周囲の大人への周知
- 日頃から相談しやすい家族や友人関係を作る。



《年齢別》





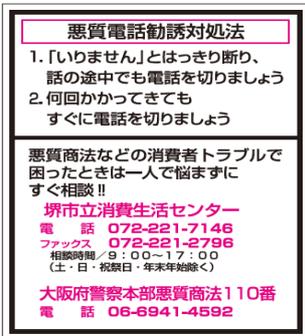
(3) 訪問販売お断りシールについて

問 10. 本市では、望まない訪問販売による消費者被害を防ぐため、「訪問販売お断りシール」を作製し、各区役所などで配布しています。このシールを利用していますか。

悪質な訪問販売による被害を防ぐための「訪問販売お断りシール」です。



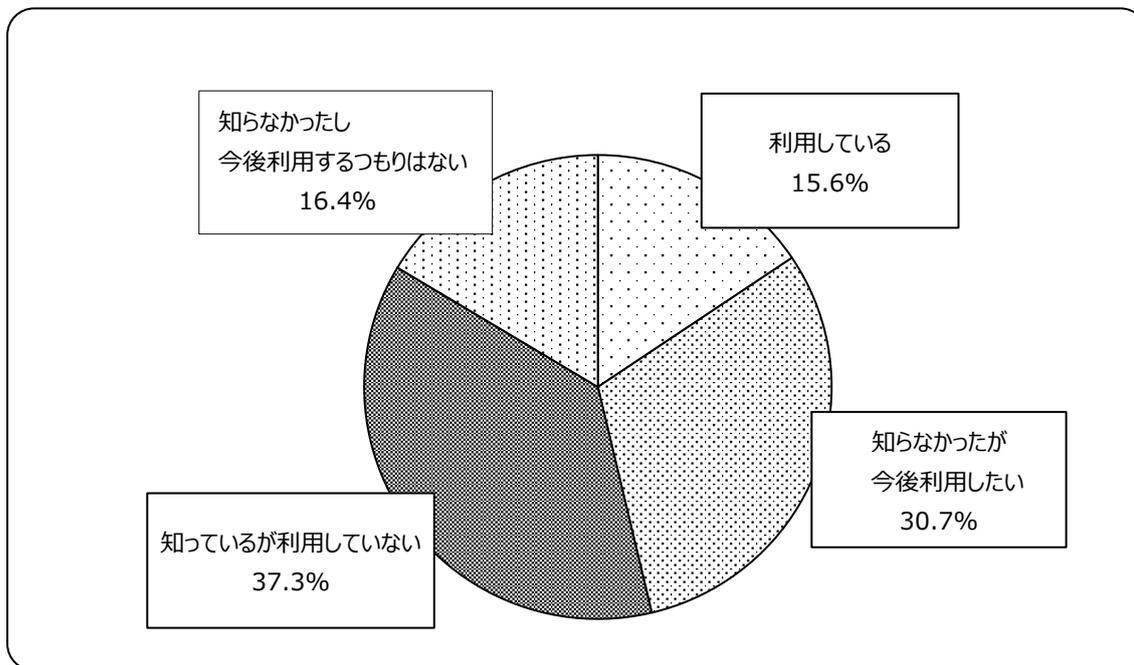
(活用方法は裏面を参照してください。)



【1つ選択】

「利用している」と回答した方は 15.6%であり、令和 4 年度の 14.5%から微増となった。

| | 選択項目 (N=482) | 回答数 | 構成比 |
|---|---------------------|-----|--------|
| 1 | 利用している | 75 | 15.6% |
| 2 | 知らなかったが今後利用したい | 148 | 30.7% |
| 3 | 知っているが利用していない | 180 | 37.3% |
| 4 | 知らなかったし今後利用するつもりもない | 79 | 16.4% |
| | 計 (回答総数) | 482 | 100.0% |



問 11. 問 10 で「1 利用している」と回答された方に伺います。

訪問販売お断りシールを利用することによって、どのような効果を感じていますか。【複数回答可：いくつでも】

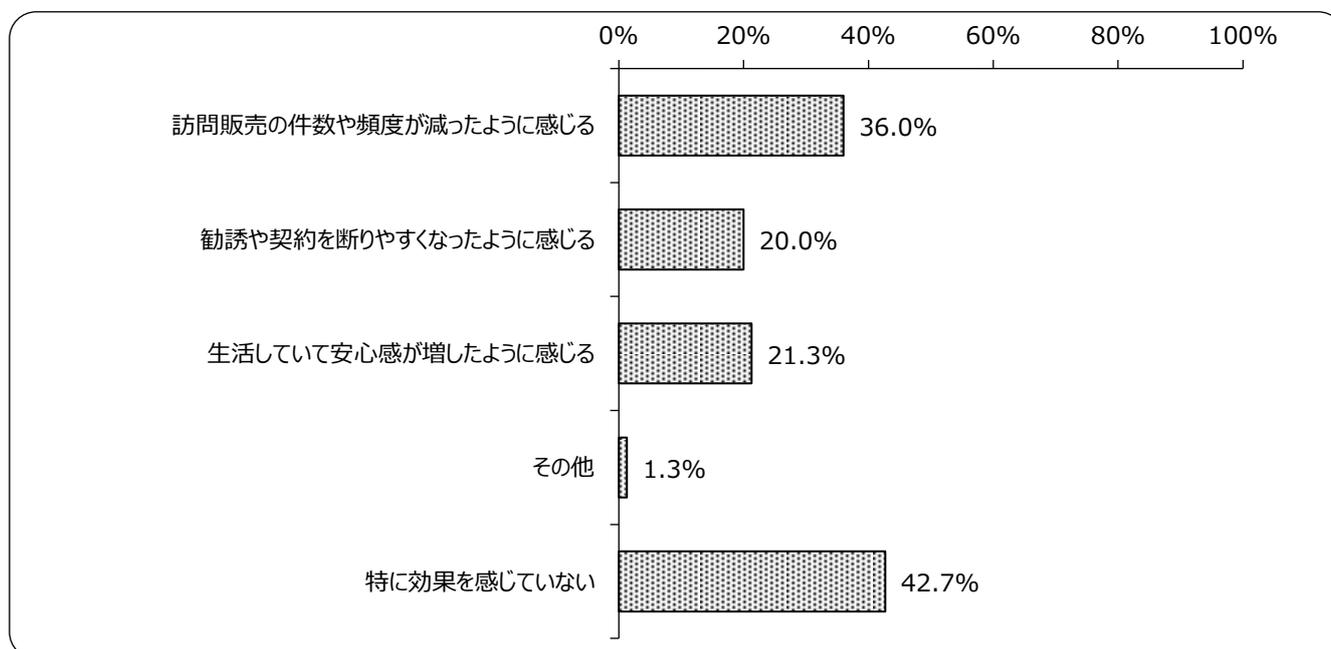
年齢別では、シールの利用により効果を実感された方のうち、30 歳代以上のすべての年代において、「訪問販売の件数や頻度が減ったように感じる」と回答した方の割合が最も多かった。

| | 選択項目 (N=75) | 回答数 | 回答数/N |
|---|----------------------|-----|-------|
| 1 | 訪問販売の件数や頻度が減ったように感じる | 27 | 36.0% |
| 2 | 勧誘や契約を断りやすくなったように感じる | 15 | 20.0% |
| 3 | 生活していて安心感が増したように感じる | 16 | 21.3% |
| 4 | その他 | 1 | 1.3% |
| 5 | 特に効果を感じていない | 32 | 42.7% |

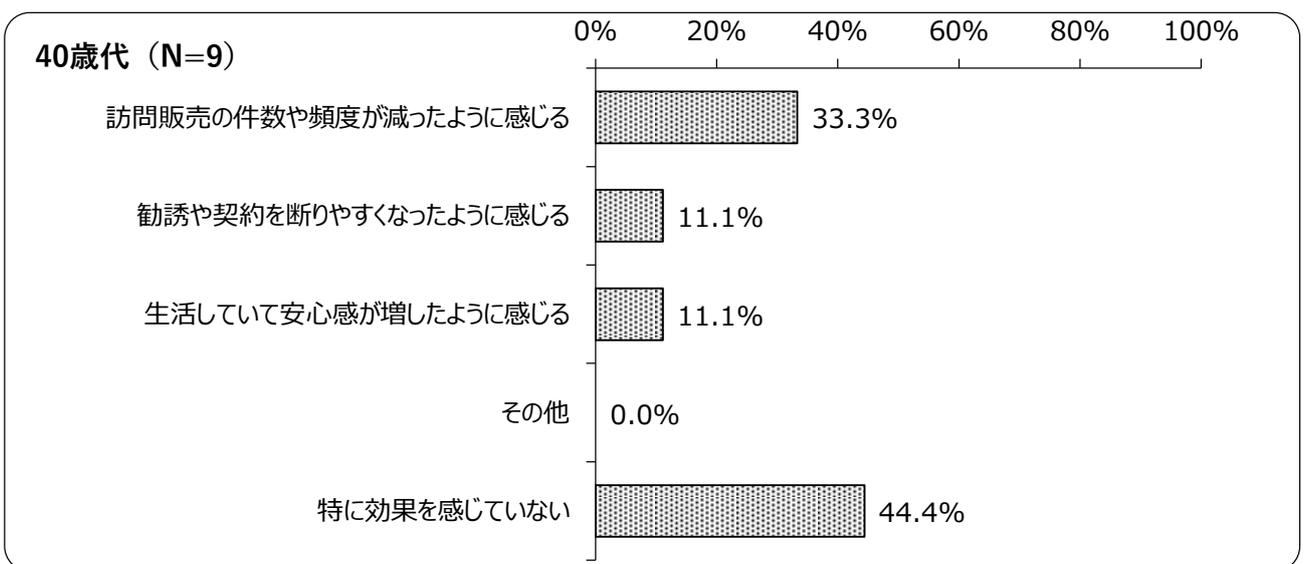
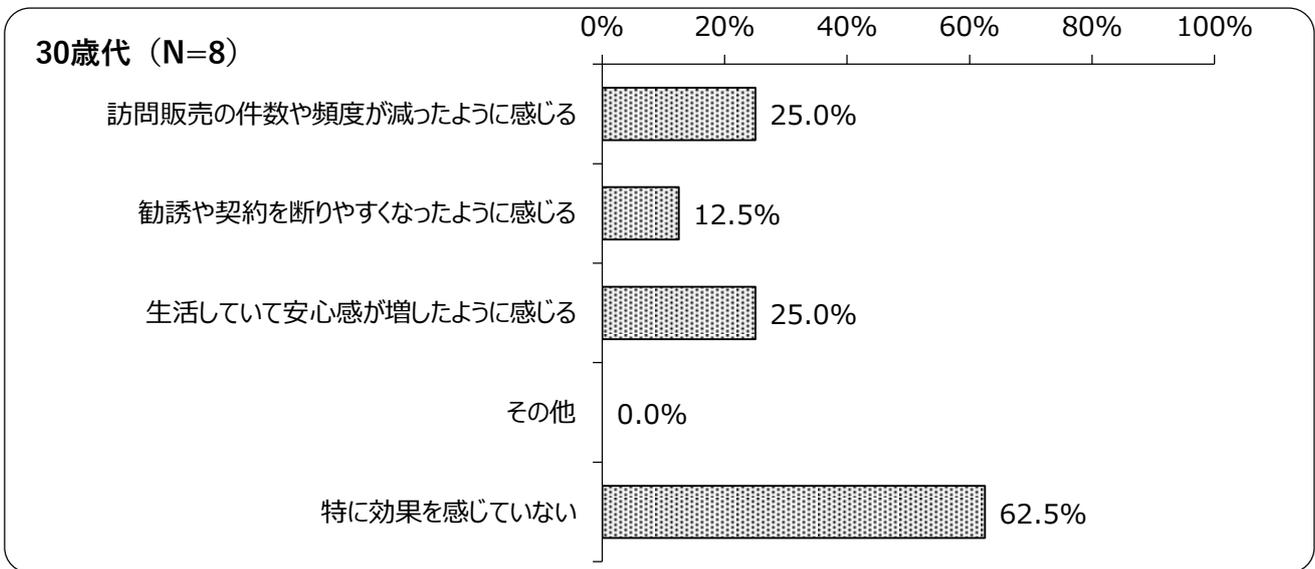
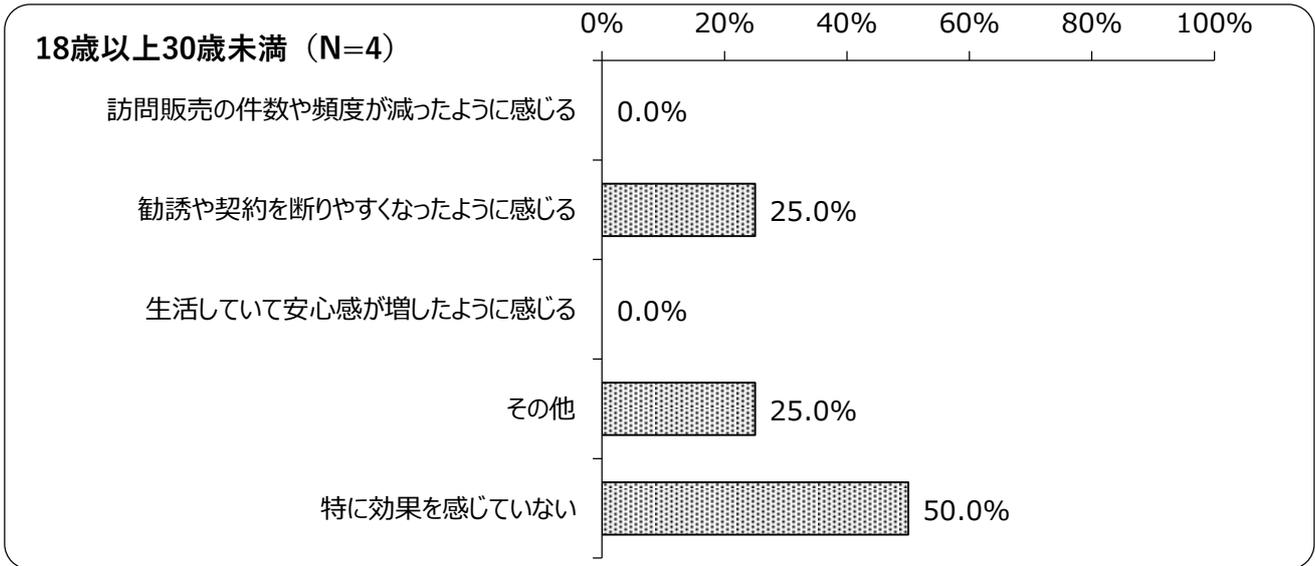
[4 その他]

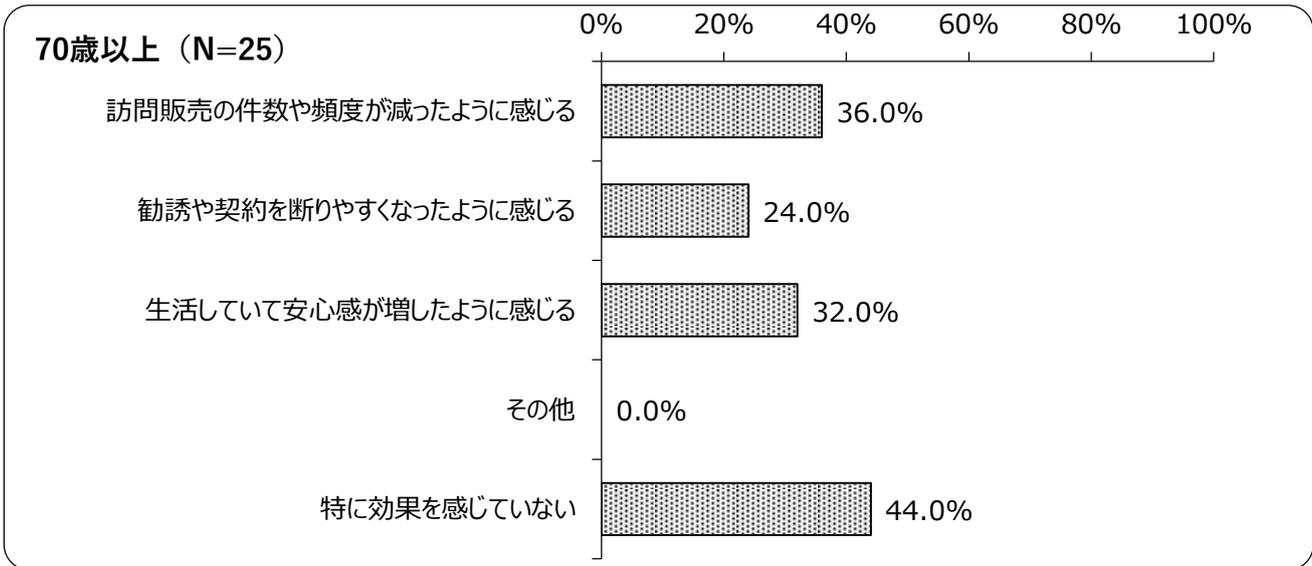
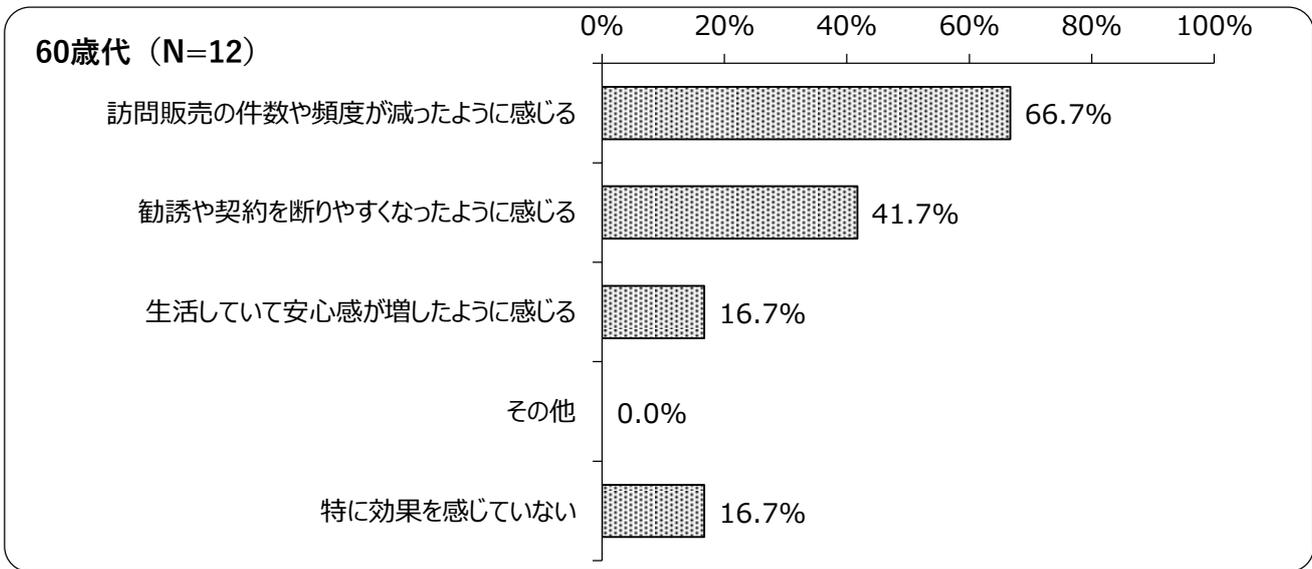
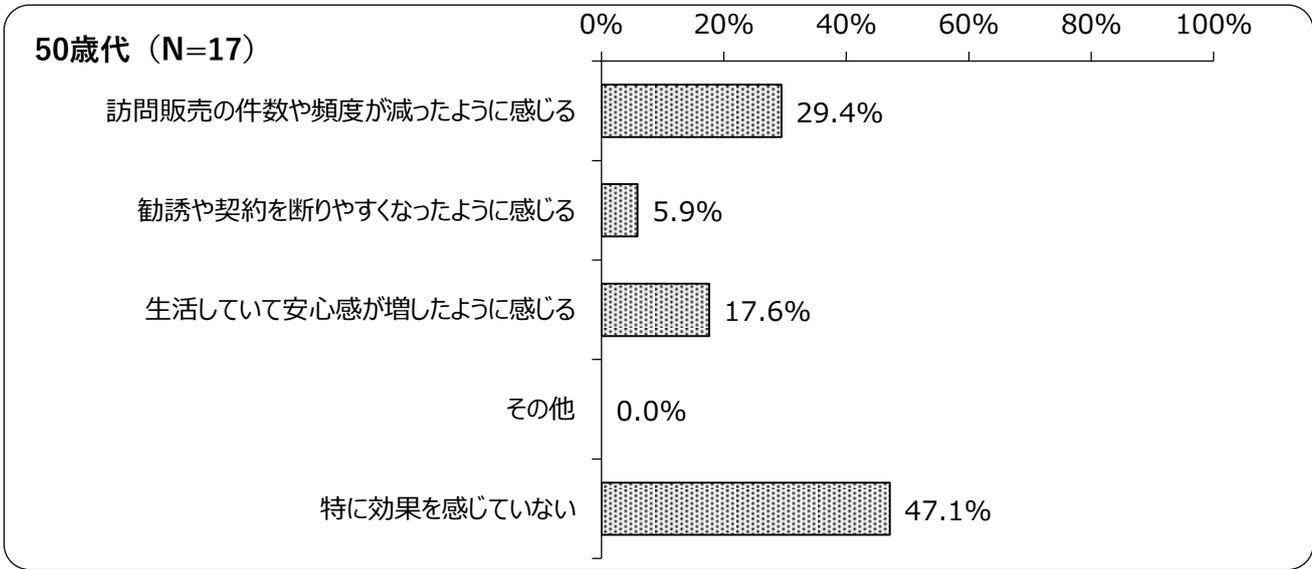
○【すべての回答】

- 幼い時に祖母が貼っていたのでわからない。現在は貼っていない。



《年齢別》





問 12. 問 10 で「3 知っているが利用していない」「4 知らなかったし今後利用するつもりもない」と回答された方に伺います。

訪問販売お断りシールを利用していない（するつもりがない）理由について、あてはまるものはどれですか。

【複数選択可：いくつでも】

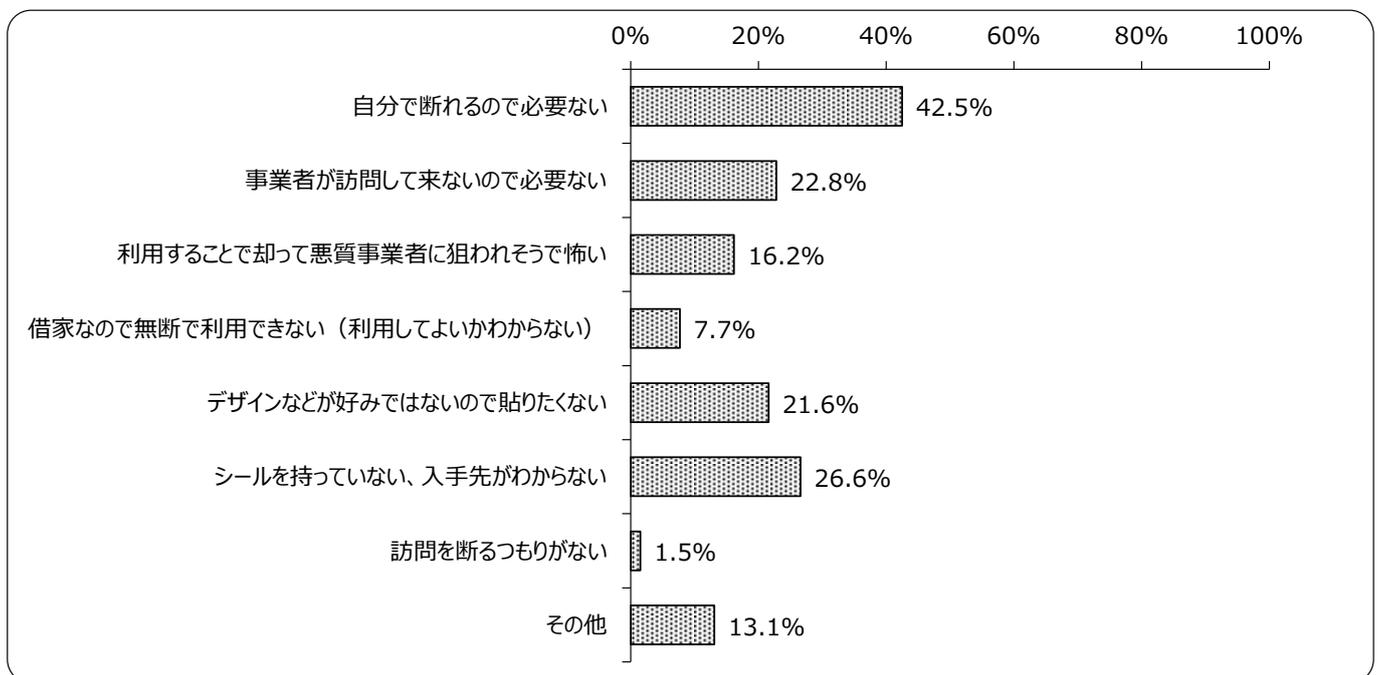
40 歳代以下の各年代では「デザインなどが好みではないので貼りたくない」と回答した方が約 3 割であった。また、60 歳代以上では「シールを持っていない、入手先がわからない」と回答した方が約 4 割であった。

| | 選択項目 (N=259) | 回答数 | 回答数/N |
|---|------------------------------|-----|-------|
| 1 | 自分で断れるので必要ない | 110 | 42.5% |
| 2 | 事業者が訪問して来ないので必要ない | 59 | 22.8% |
| 3 | 利用することで却って悪質事業者に狙われそうで怖い | 42 | 16.2% |
| 4 | 借家なので無断で利用できない（利用してよいかわからない） | 20 | 7.7% |
| 5 | デザインなどが好みではないので貼りたくない | 56 | 21.6% |
| 6 | シールを持っていない、入手先がわからない | 69 | 26.6% |
| 7 | 訪問を断るつもりがない | 4 | 1.5% |
| 8 | その他 | 34 | 13.1% |

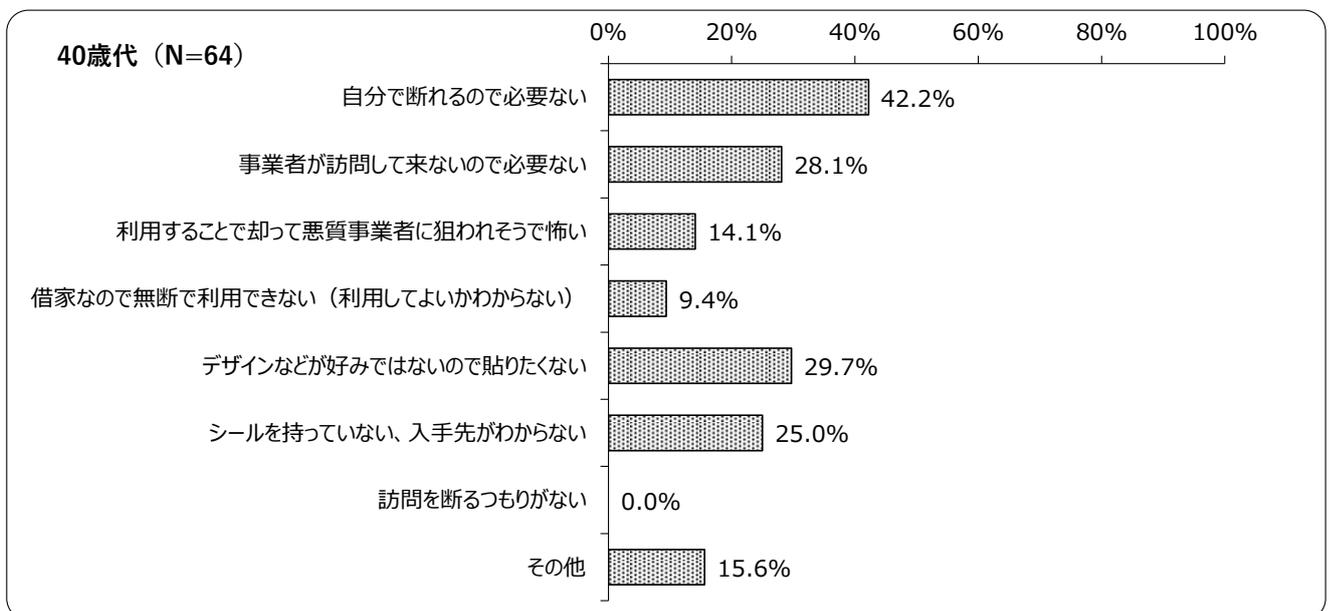
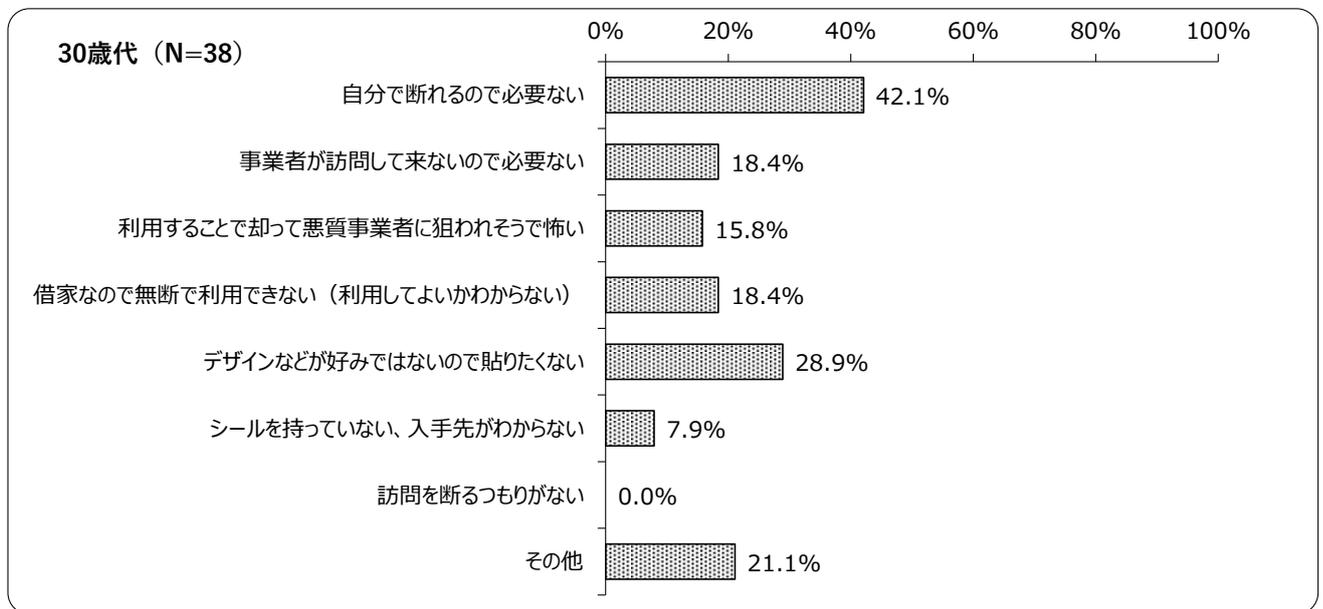
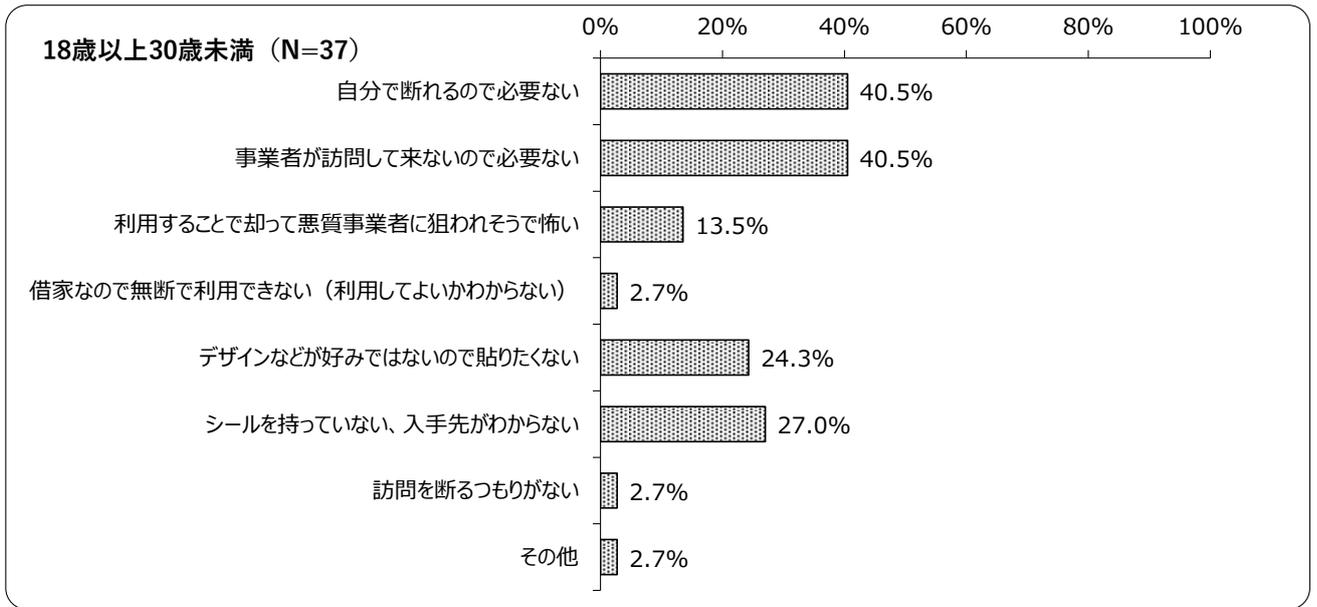
[8 その他]

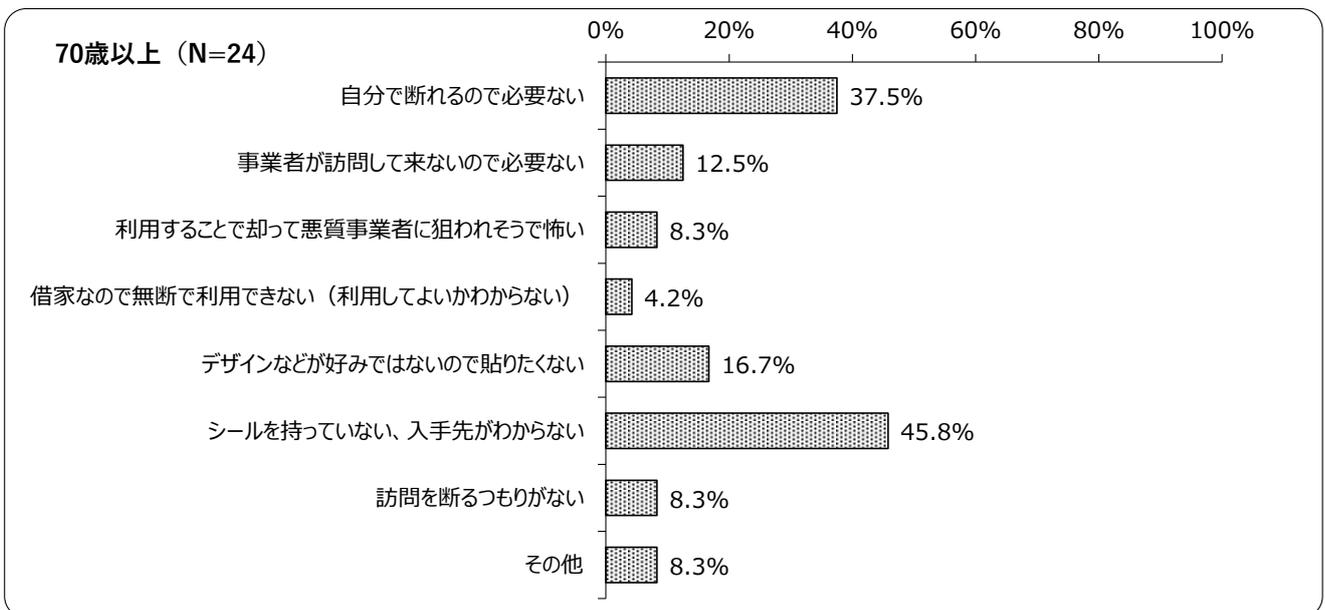
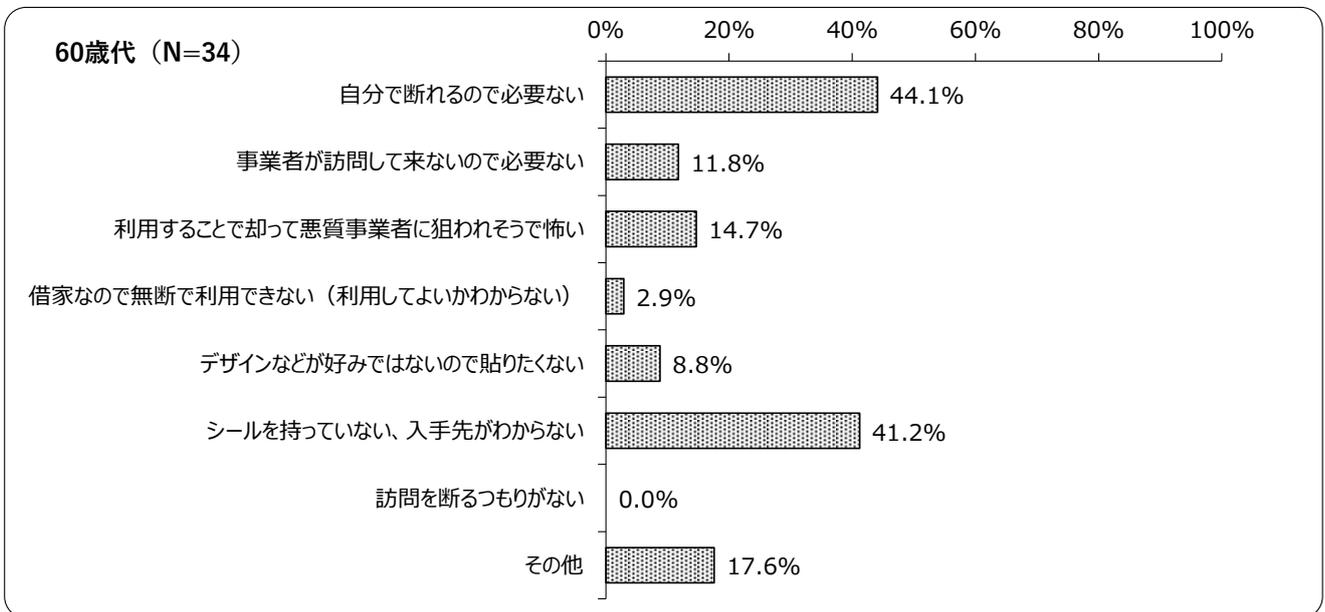
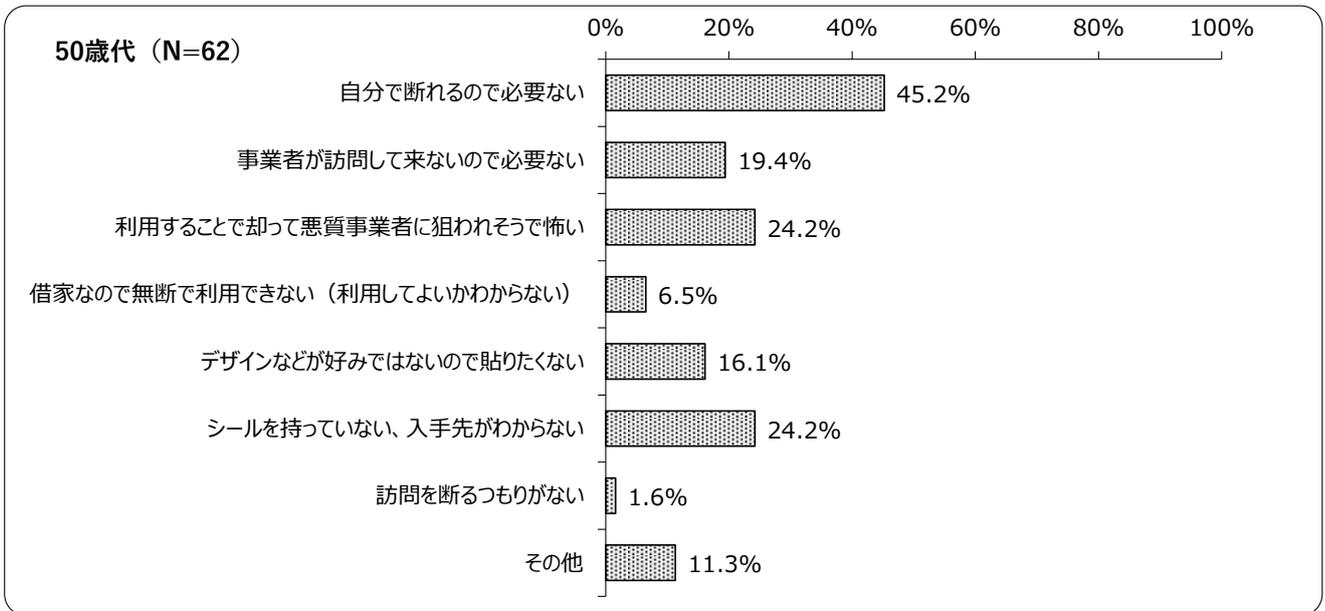
【主な回答】

- オートロックのマンションに住んでいるため
- 効果がない、あるいは薄いと感ずるため
- 悪質ではない訪問業者まで排除することにつながる可能性があるため



《年齢別》





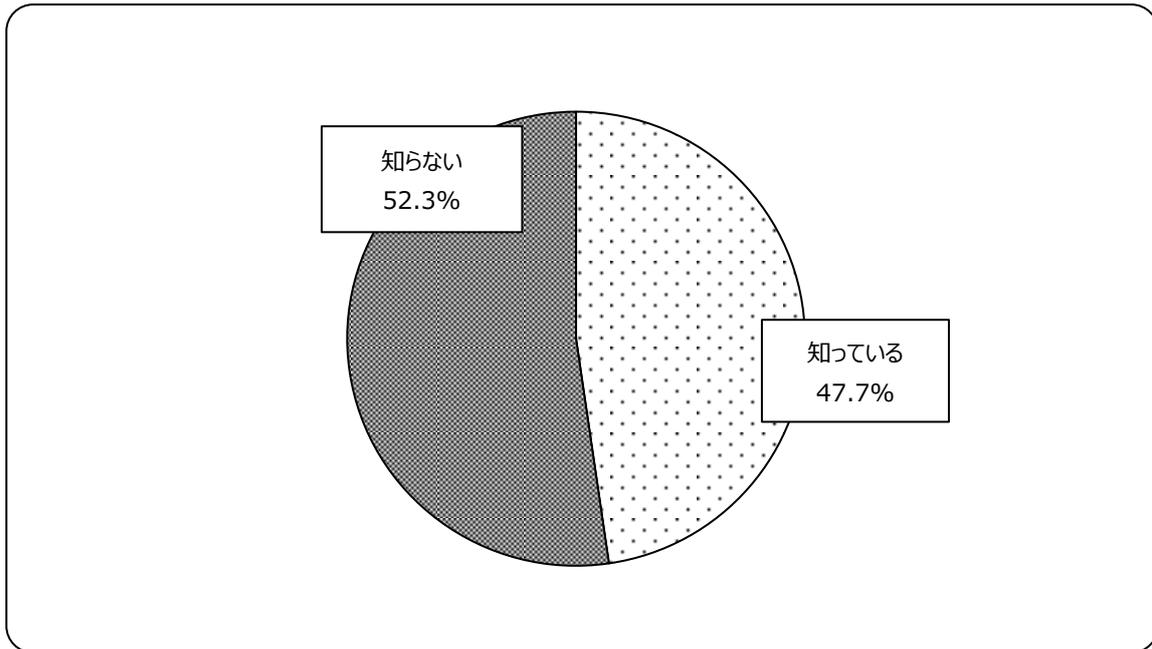
(4) 計量について

問 13. 店頭で買い物した時のパック商品のトレーやラップなどの包装、薬味、ワサビやタレなどの添え物のことを、「風袋（ふうたい）」といいます。商品の内容量には、この風袋の重さは含まないことを知っていますか。

【1つ選択】

「知っている」と回答した方は 47.7%であり、令和 4 年度の 45.4%から増加した。

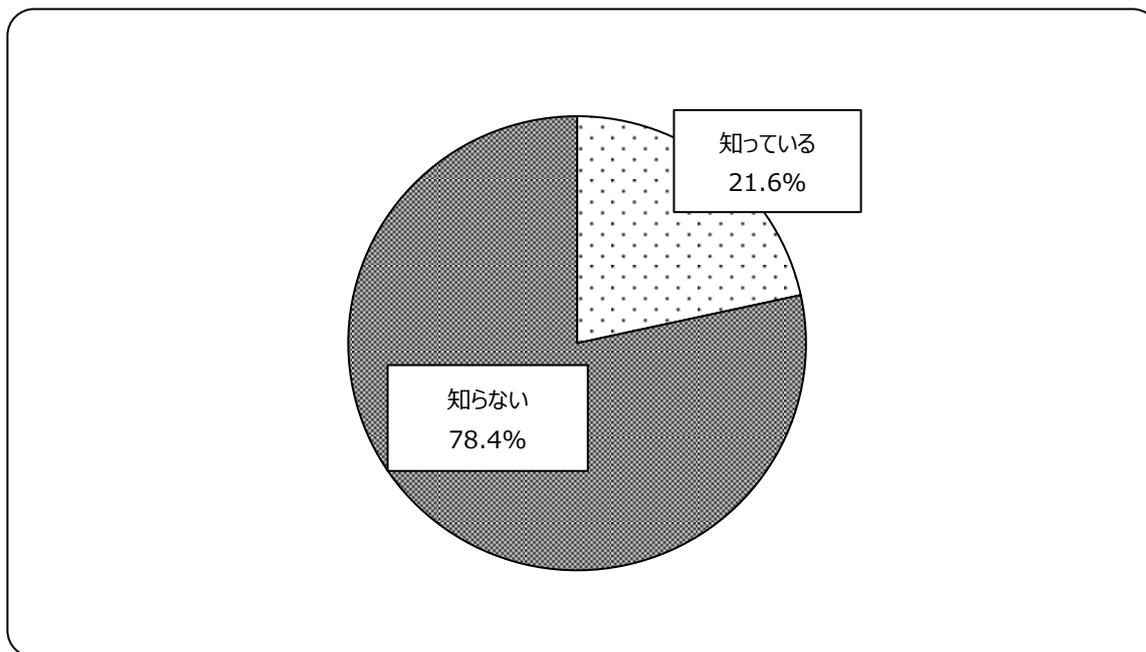
| | 選択項目 (N=482) | 回答数 | 構成比 |
|---|--------------|-----|--------|
| 1 | 知っている | 230 | 47.7% |
| 2 | 知らない | 252 | 52.3% |
| | 計 (回答総数) | 482 | 100.0% |



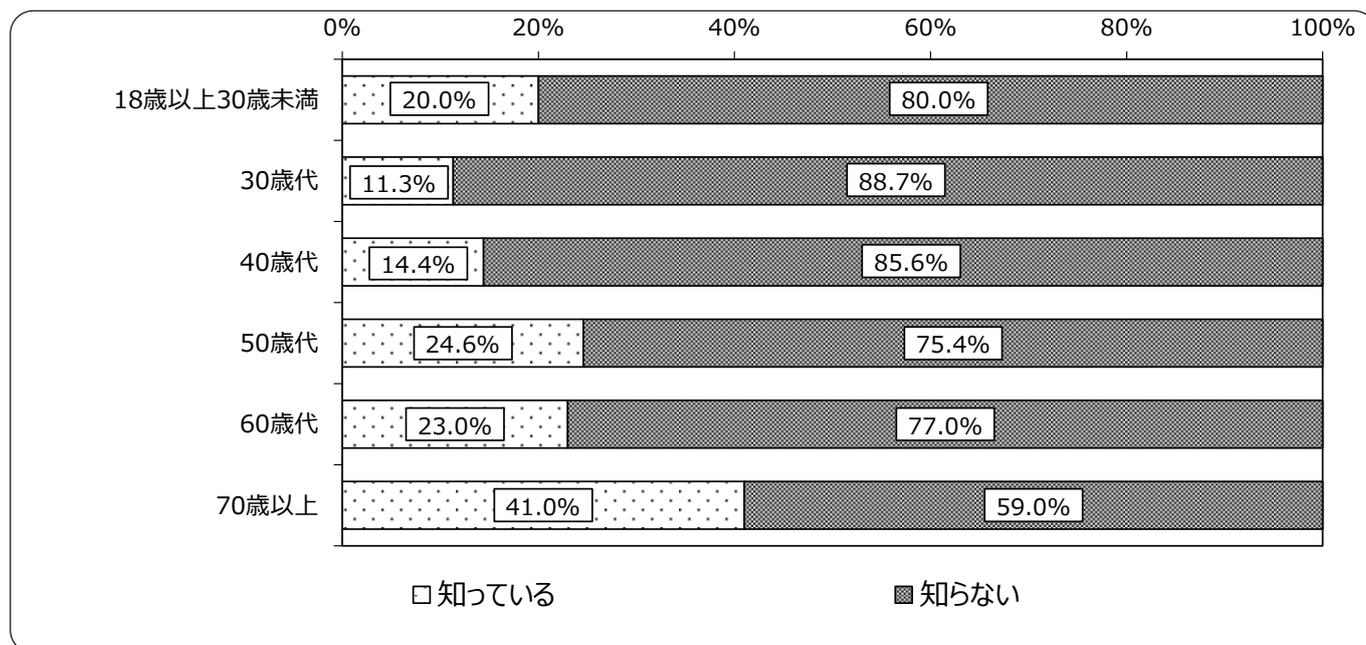
問 14. 店頭に陳列してある商品で、重さや体積が表示してある場合、その内容量を守らなければならないとする法律上の義務があります。実際の内容量が、表示されている量を下回っていても、法律上認められる誤差（量目公差）が定められていることを知っていますか。 【1つ選択】

「知っている」と回答した方の割合は、60歳代以下ではいずれの年代も約1～2割に留まったが、70歳以上では約4割であった。

| | 選択項目 (N=482) | 回答数 | 構成比 |
|---|--------------|-----|--------|
| 1 | 知っている | 104 | 21.6% |
| 2 | 知らない | 378 | 78.4% |
| | 計 (回答総数) | 482 | 100.0% |



《年齢別》



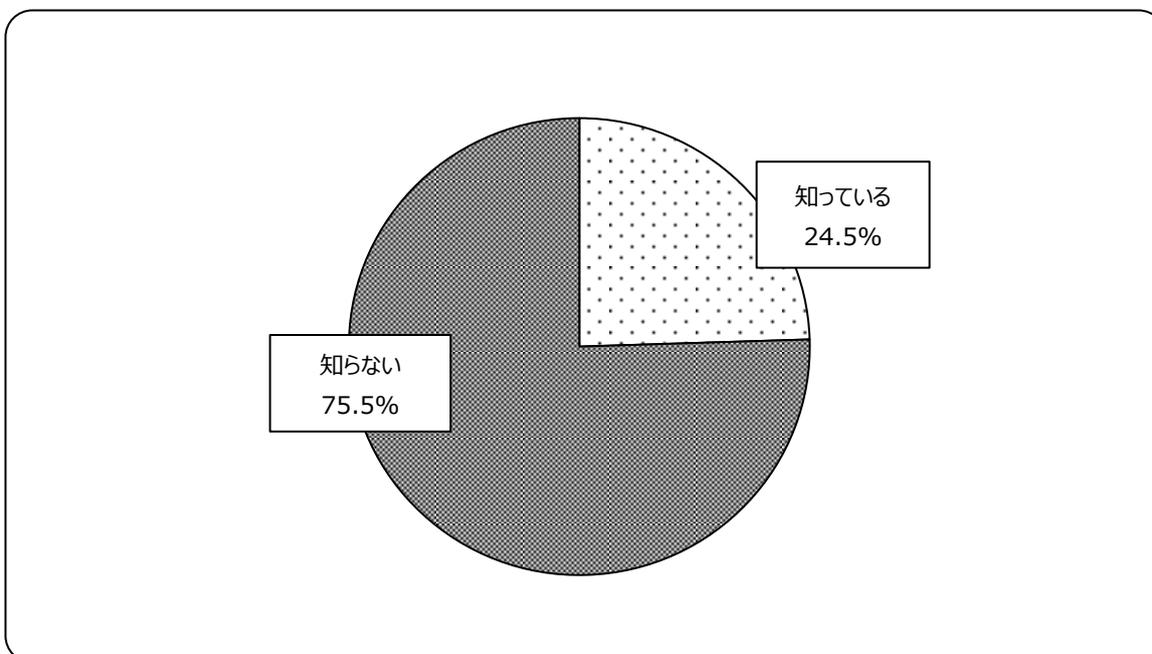
問 15. 商取引に用いるはかりだけでなく、家庭用の計量器について、正確性や耐久性が求められるため、省令で定める基準に適合するよう製造し、「家庭用計量器技術適合マーク」を付与して販売されることになっています。このことについて、知っていますか。
 なお、家庭用のはかりは、商取引や証明行為に用いることはできません。



【1つ選択】

「知っている」と回答した方は 24.5%であり、令和 4 年度の 22.4%から増加した。

| | 選択項目 (N=482) | 回答数 | 構成比 |
|---|--------------|-----|--------|
| 1 | 知っている | 118 | 24.5% |
| 2 | 知らない | 364 | 75.5% |
| | 計 (回答総数) | 482 | 100.0% |



2. 文化芸術について

調査結果の概要

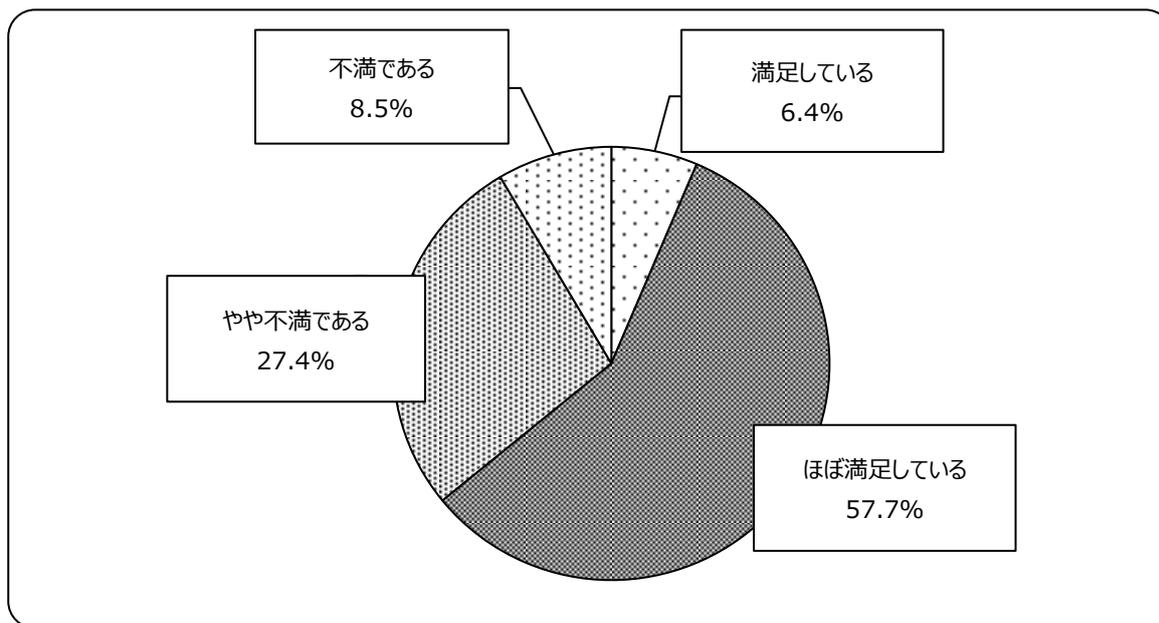
| | |
|---------------------------|--|
| テーマ | 文化芸術について |
| 担当課 | 文化観光局 文化国際部 文化課 |
| 設問数 | 11 問 |
| 趣旨・目的 | 今回のアンケートは、本市における文化芸術振興について市民の皆様のご意見をお伺いすることで、令和 3 年 2 月に策定した「第 2 期堺文化芸術推進計画」の目標の達成度等を把握し、同計画の検証・評価に活用するものです。 |
| 調査結果 | 各設問のページをご覧ください。 |
| 調査結果に係る 担当課の所見 | <ul style="list-style-type: none">・問 18 では、新型コロナウイルス感染症の影響などが縮小し、令和 4 年度に比べて文化芸術活動をされた方の割合が増加した結果となりました。ただし、全体的に活動割合が少ないため、市として文化芸術活動を行いやすい取組や文化芸術活動の場を提供します。・問 21 では、堺の歴史文化資源に誇りを持っている方は約 7 割でしたが、おもてなし茶会の実施やフェニーチェ堺の活用等、これまでの取組をさらに進め、その割合を増加させます。・問 23 では、知っている事業に偏りがある状況だったため、認知度の低い事業について SNS を活用するなど、より効果的な広報を実施します。 |

(1) 本市の文化的環境について

問 16. 本市の文化的環境（鑑賞機会、創作・参加機会、文化財や伝統的まちなみの保存・整備など）に満足していますか。 【1つ選択】

「満足している」及び「ほぼ満足している」と回答した方が64.1%となっており、令和4年度の67.4%から減少している。

| | 選択項目 (N=482) | 回答数 | 構成比 |
|---|--------------|-----|--------|
| 1 | 満足している | 31 | 6.4% |
| 2 | ほぼ満足している | 278 | 57.7% |
| 3 | やや不満である | 132 | 27.4% |
| 4 | 不満である | 41 | 8.5% |
| | 計 (回答総数) | 482 | 100.0% |



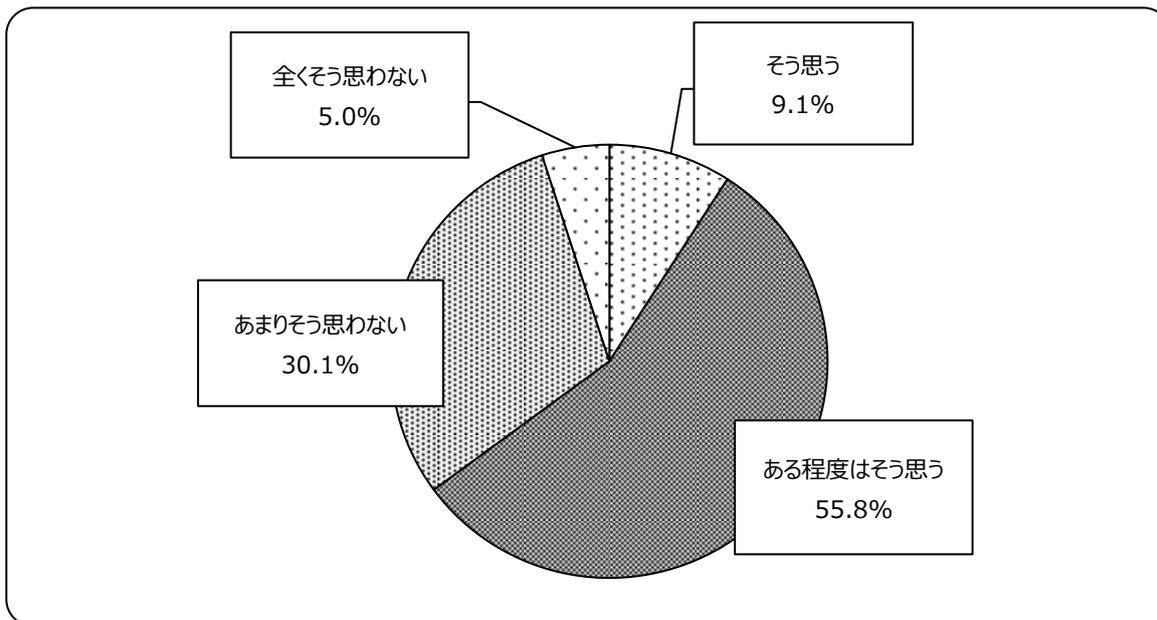
(2) 文化芸術活動について

問 17. 本市は、文化芸術の鑑賞や創作、参加などの文化芸術活動をしやすい都市であると思いますか。

【1つ選択】

「そう思う」及び「ある程度はそう思う」と回答した方が 64.9%となっており、令和 4 年度の 66.6%から減少している。

| | 選択項目 (N=482) | 回答数 | 構成比 |
|---|--------------|-----|--------|
| 1 | そう思う | 44 | 9.1% |
| 2 | ある程度はそう思う | 269 | 55.8% |
| 3 | あまりそう思わない | 145 | 30.1% |
| 4 | 全くそう思わない | 24 | 5.0% |
| | 計 (回答総数) | 482 | 100.0% |

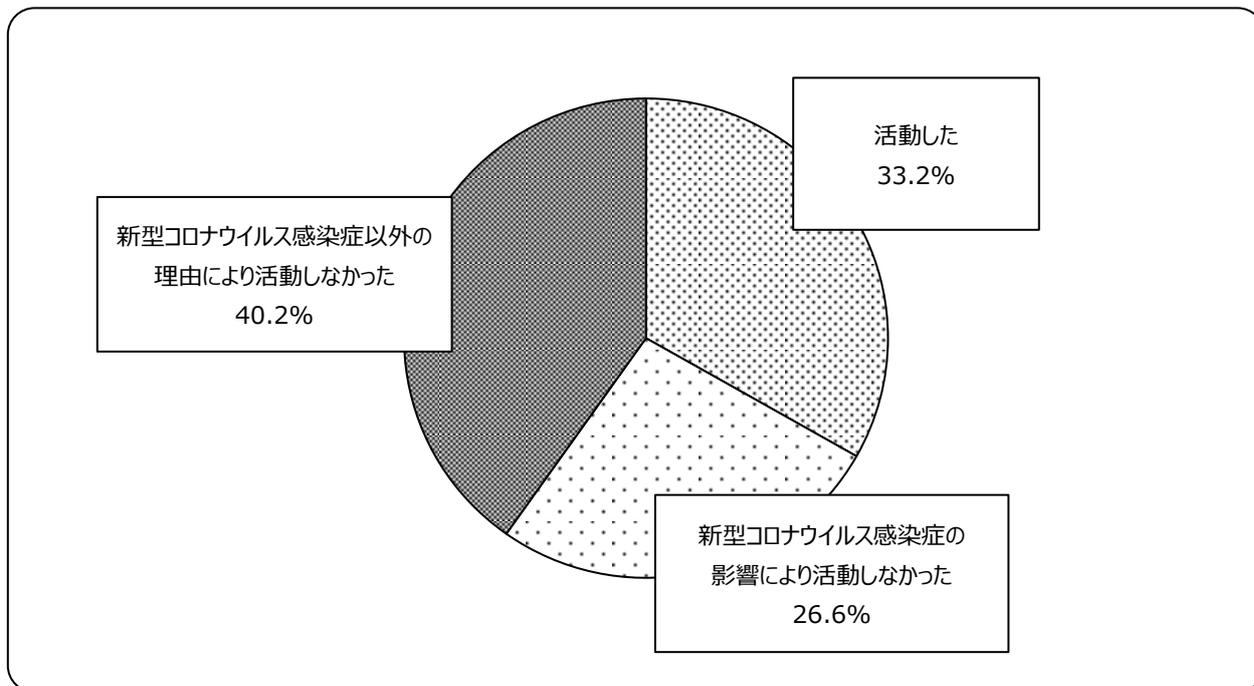


問 18. この 1 年間に、文化芸術の鑑賞や創作、参加などの文化芸術活動をしましたか。

【1 つ選択】

「活動した」と回答した方が 33.2%と、令和 4 年度の 21.6%から増加しているが、「活動しなかった」と回答した方は 66.8%と割合が令和 4 年度の 78.5%から減少した。

| | 選択項目 (N=482) | 回答数 | 構成比 |
|---|-----------------------------|-----|--------|
| 1 | 活動した | 160 | 33.2% |
| 2 | 新型コロナウイルス感染症の影響により活動しなかった | 128 | 26.6% |
| 3 | 新型コロナウイルス感染症以外の理由により活動しなかった | 194 | 40.2% |
| | 計 (回答総数) | 482 | 100.0% |

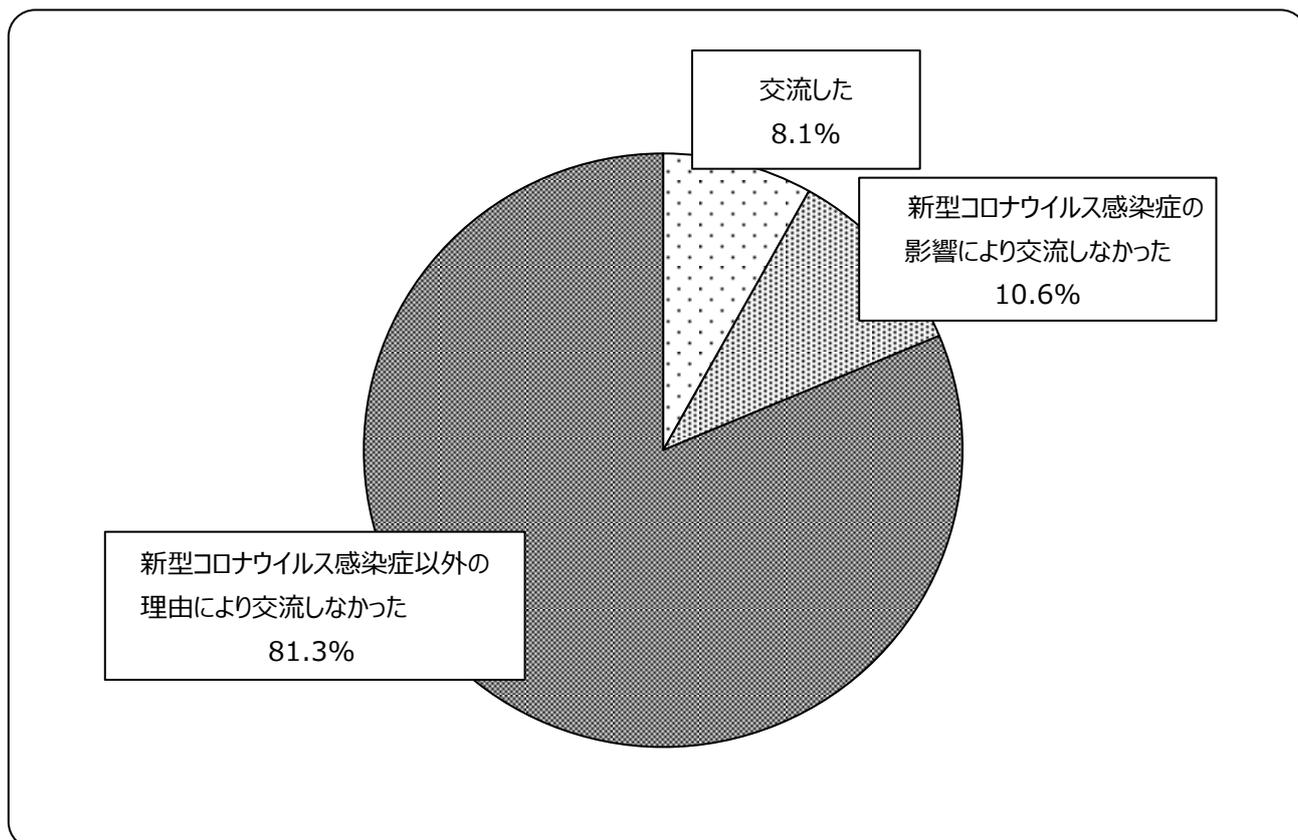


問 19. 問 18 で「1 活動した」と回答された方に伺います。文化芸術活動を通じ、海外の人たちと交流しましたか。

【1 つ選択】

「交流した」と回答した方が 8.1%となっており、令和 4 年度の 13.5%から減少し、「交流しなかった」と回答した方が約 9 割を占めた。

| | 選択項目 (N=160) | 回答数 | 構成比 |
|---|-----------------------------|-----|--------|
| 1 | 交流した | 13 | 8.1% |
| 2 | 新型コロナウイルス感染症の影響により交流しなかった | 17 | 10.6% |
| 3 | 新型コロナウイルス感染症以外の理由により交流しなかった | 130 | 81.3% |
| | 計 (回答総数) | 160 | 100.0% |



問 20. 問 18 で「3 新型コロナウイルス感染症以外の理由により活動しなかった」と回答された方に伺います。

活動しなかった（できなかった）主な理由は何ですか。

【複数選択可：いくつでも】

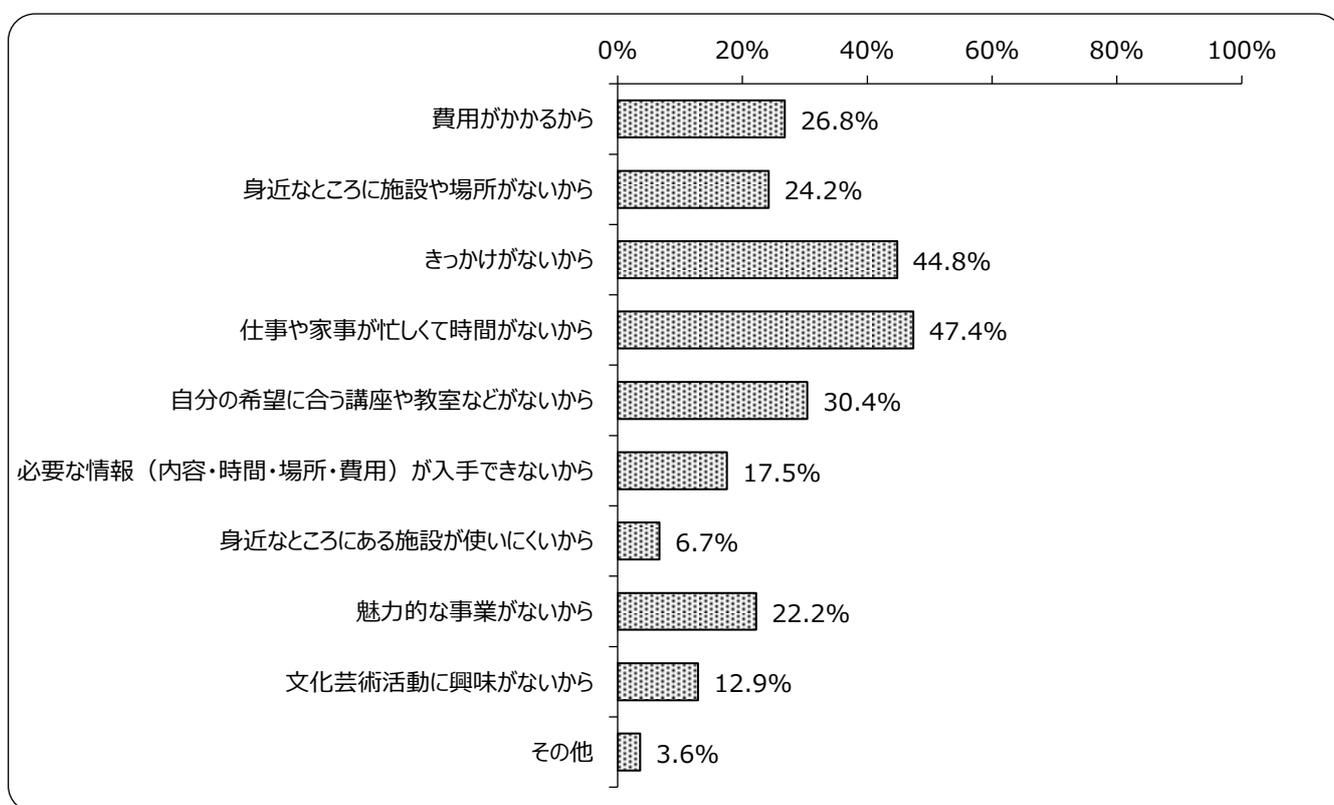
「仕事や家事が忙しくて時間がないから」と回答した方が 47.4%（令和 4 年度 37.1%）と最多で、次に多いのが「きっかけがないから」と回答した方が 44.8%（令和 4 年度 46.2%）となっている。

| | 選択項目 (N=194) | 回答数 | 回答数/N |
|----|-----------------------------|-----|-------|
| 1 | 費用がかかるから | 52 | 26.8% |
| 2 | 身近なところに施設や場所がないから | 47 | 24.2% |
| 3 | きっかけがないから | 87 | 44.8% |
| 4 | 仕事や家事が忙しくて時間がないから | 92 | 47.4% |
| 5 | 自分の希望に合う講座や教室などがないから | 59 | 30.4% |
| 6 | 必要な情報（内容・時間・場所・費用）が入手できないから | 34 | 17.5% |
| 7 | 身近なところにある施設が使いにくいから | 13 | 6.7% |
| 8 | 魅力的な事業がないから | 43 | 22.2% |
| 9 | 文化芸術活動に興味がないから | 25 | 12.9% |
| 10 | その他 | 7 | 3.6% |

[10 その他]

【主な回答】

- 体調不良
- 出産のため
- 小さい子どもがいるから
- 自分の個人的な事では、なかなか外出が出来ないため
- 受験生だったから
- 気軽に参加できる雰囲気が少なく感じる。



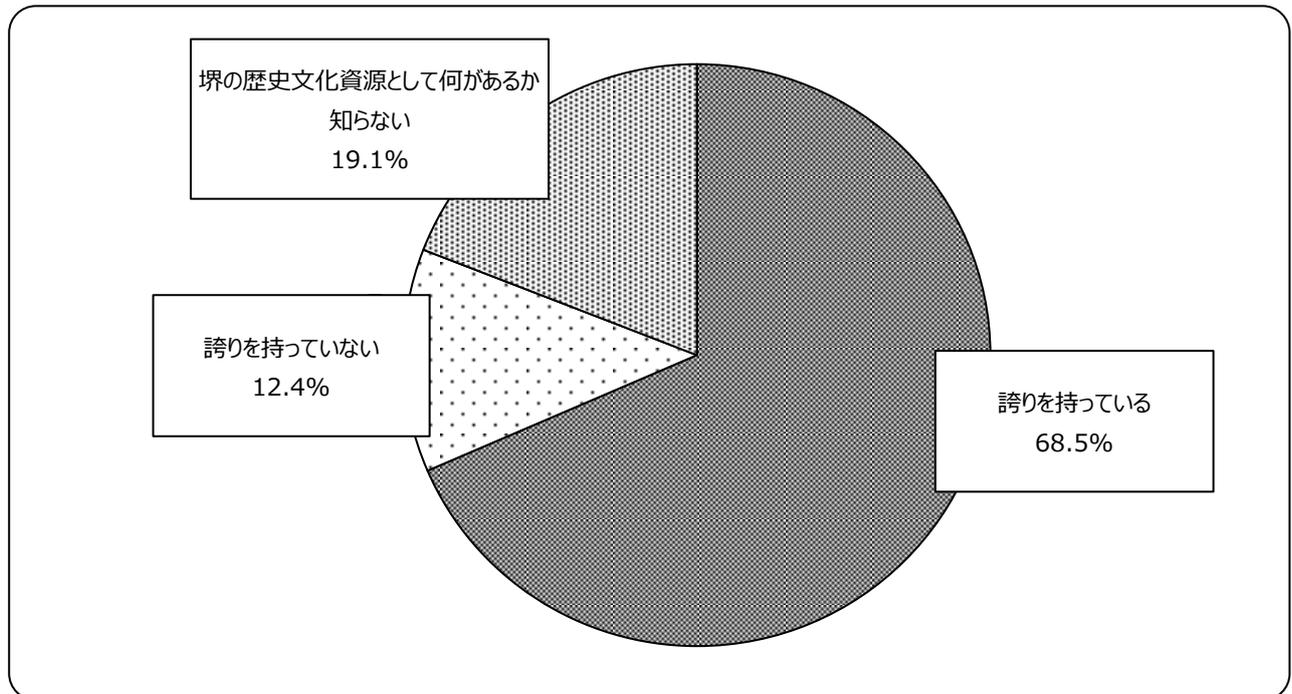
(3) 本市の歴史文化資源と文化芸術事業について

問 21. 堺の歴史文化資源に誇りを持っていますか。

【1つ選択】

「誇りを持っている」と回答した方が 68.5%となっており、令和 4 年度の 64.5%から増加している。

| | 選択項目 (N=482) | 回答数 | 構成比 |
|---|---------------------|-----|--------|
| 1 | 誇りを持っている | 330 | 68.5% |
| 2 | 誇りを持っていない | 60 | 12.4% |
| 3 | 堺の歴史文化資源として何がある知らない | 92 | 19.1% |
| | 計 (回答総数) | 482 | 100.0% |



問 22. 問 21 で「1 誇りを持っている」と回答された方に伺います。

堺の文化の中で、世界に誇れると思う歴史文化資源はどれですか。

【複数選択可：いくつでも】

「千利休、与謝野晶子、阪田三吉、行基など堺ゆかりの先人達」と回答した方が 85.5%となっており、令和 4 年度の 81.4%から増加している。

| | 選択項目 (N=330) | 回答数 | 回答数/N |
|----|-----------------------------|-----|-------|
| 1 | 千利休、与謝野晶子、阪田三吉、行基など堺ゆかりの先人達 | 282 | 85.5% |
| 2 | だんじり、ふとん太鼓、こおどり、お渡りなどの地域の祭礼 | 160 | 48.5% |
| 3 | 鉄砲鍛冶屋敷、山口家住宅などの歴史的建造物 | 205 | 62.1% |
| 4 | 南宗寺、妙國寺をはじめとする寺社仏閣 | 151 | 45.8% |
| 5 | アルフォンス・ミュシャをはじめとする本市の所蔵美術作品 | 77 | 23.3% |
| 6 | 堺シティオペラ、大阪交響楽団をはじめとする文化芸術団体 | 39 | 11.8% |
| 7 | 本市ゆかりのアーティスト | 12 | 3.6% |
| 8 | 堺市民芸術文化ホール（フェニーチェ堺） | 85 | 25.8% |
| 9 | さかい利晶の杜 | 110 | 33.3% |
| 10 | その他 | 26 | 7.9% |

[7 本市ゆかりのアーティスト 具体的に]

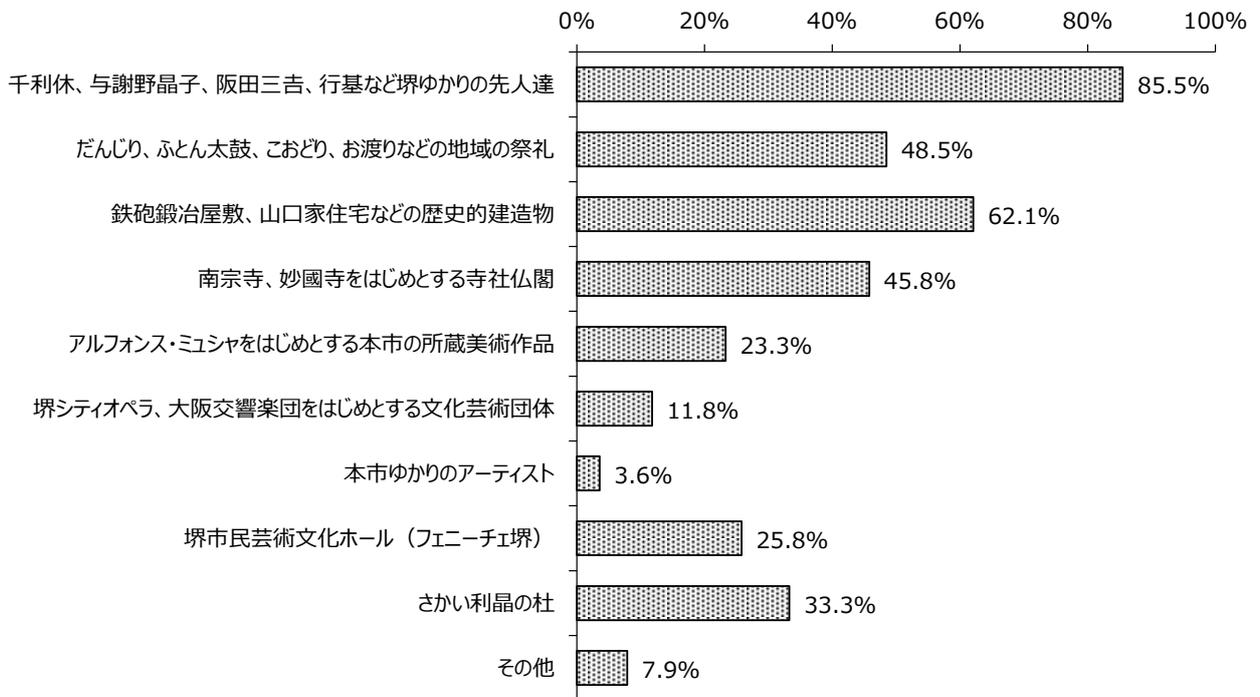
【主な回答】敬称略、五十音順

- 片岡愛之助（歌舞伎役者）
- 片桐功敦（華道家）
- 黒谷友香（女優）
- コブクロ（音楽デュオ）
- 沢口靖子（女優）
- 堀ちえみ（女優、タレント）
- 藪内佐斗司（彫刻家）
- 山崎豊子（小説家）
- 山田花子（お笑い芸人）
- 四代田辺竹雲斎（竹工芸家）

[10 その他]

【主な回答】

- 大仙公園日本庭園
- 仁徳天皇陵古墳
- 古墳群
- 包丁、お香
- 堺市博物館
- 茶の湯、茶菓子
- 行基の関係する家原寺
- 西高野街道とその周辺の地名

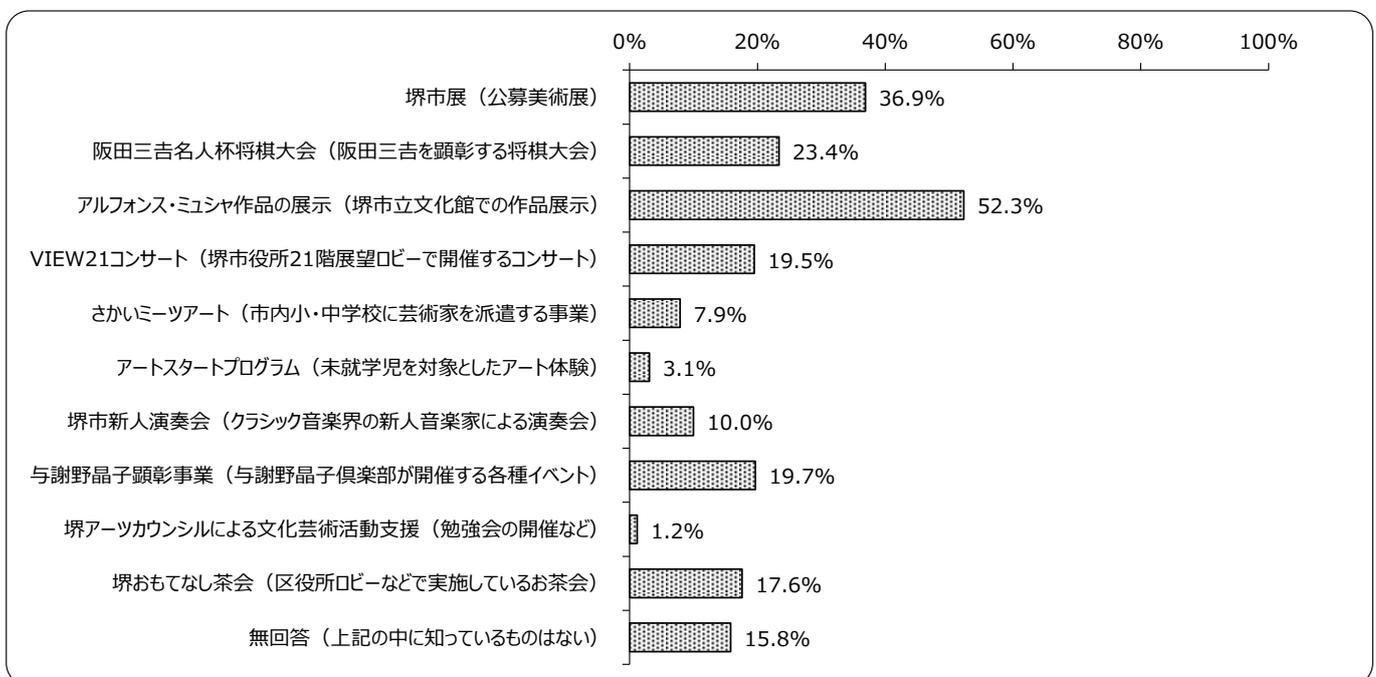


問 23. 本市では次のような文化芸術事業を行っていますが、知っている事業はどれですか。

【複数選択可：いくつでも】

「アルフォンス・ミュシャ作品の展示」と回答した方が 52.3%となっており、令和 4 年度（46.1%）に引き続き、最多の回答数となっている。

| | 選択項目 (N=482) | 回答数 | 回答数/N |
|----|-------------------------------------|-----|-------|
| 1 | 堺市展（公募美術展） | 178 | 36.9% |
| 2 | 阪田三吉名人杯将棋大会（阪田三吉を顕彰する将棋大会） | 113 | 23.4% |
| 3 | アルフォンス・ミュシャ作品の展示（堺市立文化館での作品展示） | 252 | 52.3% |
| 4 | VIEW21コンサート（堺市役所21階展望ロビーで開催するコンサート） | 94 | 19.5% |
| 5 | さかいミーツアート（市内小・中学校に芸術家を派遣する事業） | 38 | 7.9% |
| 6 | アートスタートプログラム（未就学児を対象としたアート体験） | 15 | 3.1% |
| 7 | 堺市新人演奏会（クラシック音楽界の新人音楽家による演奏会） | 48 | 10.0% |
| 8 | 与謝野晶子顕彰事業（与謝野晶子倶楽部が開催する各種イベント） | 95 | 19.7% |
| 9 | 堺アーツカウンシルによる文化芸術活動支援（勉強会の開催など） | 6 | 1.2% |
| 10 | 堺おもてなし茶会（区役所ロビーなどで実施しているお茶会） | 85 | 17.6% |
| | 無回答（上記の中に知っているものはない） | 76 | 15.8% |



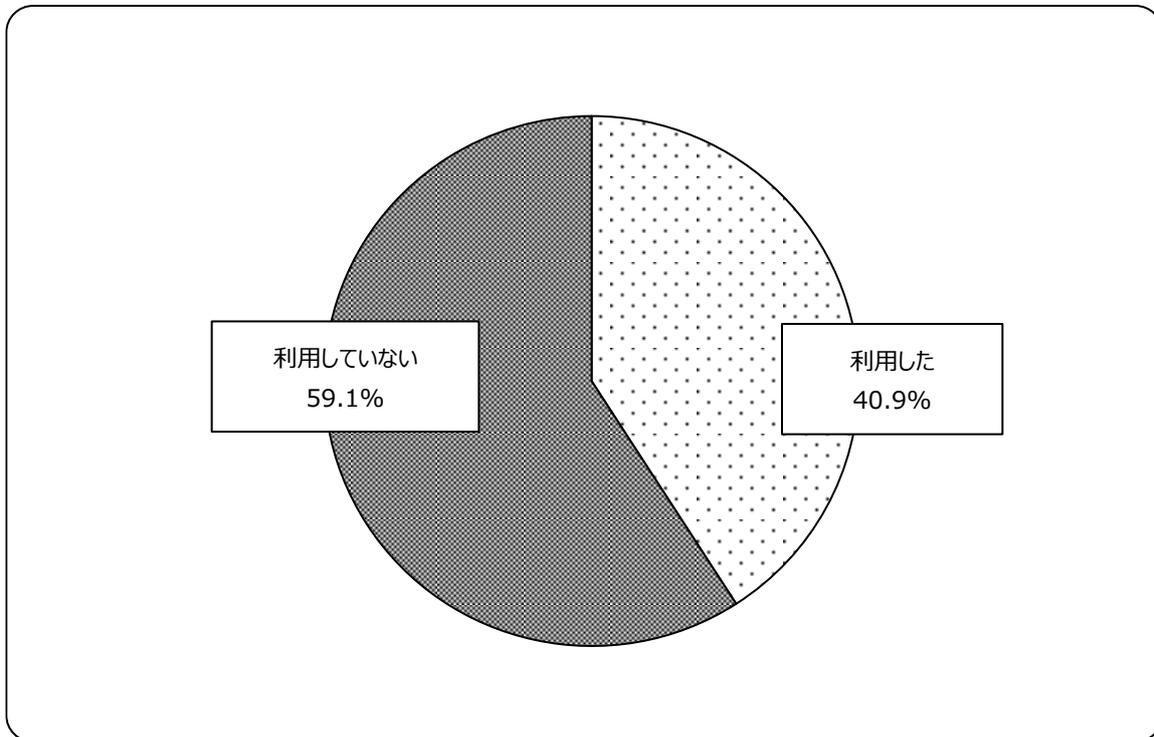
(4) 文化芸術に関する施設の利用について

問 24. 直近 1 年間に文化芸術に関する施設（問 25 参照）を利用しましたか。

【1 つ選択】

「利用した」と回答した方が 40.9%となっており、令和 4 年度の 37.8%から増加している。

| | 選択項目 (N=482) | 回答数 | 構成比 |
|---|--------------|-----|--------|
| 1 | 利用した | 197 | 40.9% |
| 2 | 利用していない | 285 | 59.1% |
| | 計 (回答総数) | 482 | 100.0% |



問 25. 問 24 で「1 利用した」と回答された方に伺います。本市にある次の施設のうち、直近 1 年間に利用した施設はどれですか。 【複数選択可：いくつでも】

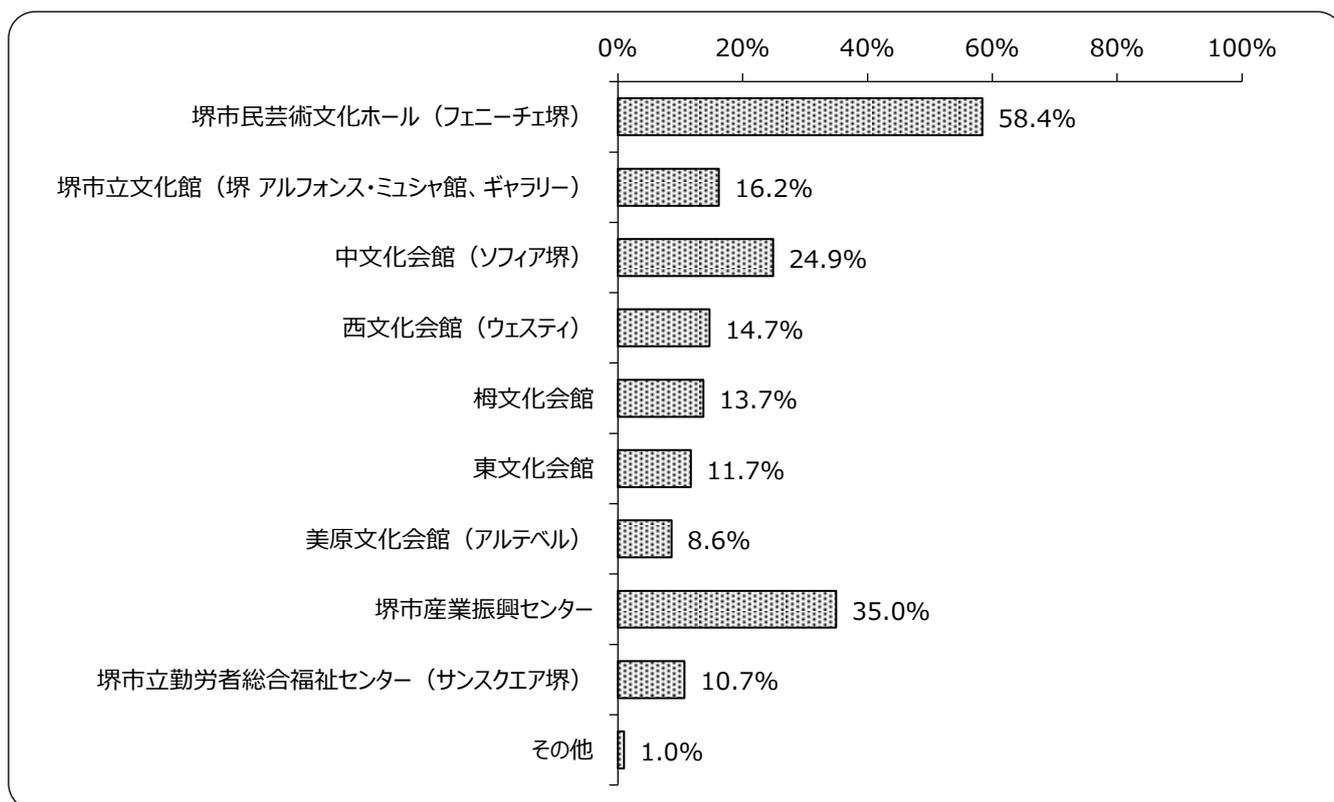
「堺市民芸術文化ホール（フェニーチェ堺）」と回答した方が 58.4%となっており、令和 4 年度（54.4%）に引き続き、最多の回答数となっている。

| | 選択項目 (N=197) | 回答数 | 回答数/N |
|----|------------------------------|-----|-------|
| 1 | 堺市民芸術文化ホール（フェニーチェ堺） | 115 | 58.4% |
| 2 | 堺市立文化館（堺 アルフォンソ・ミュシャ館、ギャラリー） | 32 | 16.2% |
| 3 | 中文化会館（ソフィア堺） | 49 | 24.9% |
| 4 | 西文化会館（ウエスティ） | 29 | 14.7% |
| 5 | 梅文化会館 | 27 | 13.7% |
| 6 | 東文化会館 | 23 | 11.7% |
| 7 | 美原文化会館（アルテベル） | 17 | 8.6% |
| 8 | 堺市産業振興センター | 69 | 35.0% |
| 9 | 堺市立勤労者総合福祉センター（サンスクエア堺） | 21 | 10.7% |
| 10 | その他 | 2 | 1.0% |

[10 その他]

【主な回答】

- さかい利晶の杜



問 26. 問 24 で「2 利用していない」と回答された方に伺います。施設を利用しなかった理由をお答えください。

【複数選択可：いくつでも】

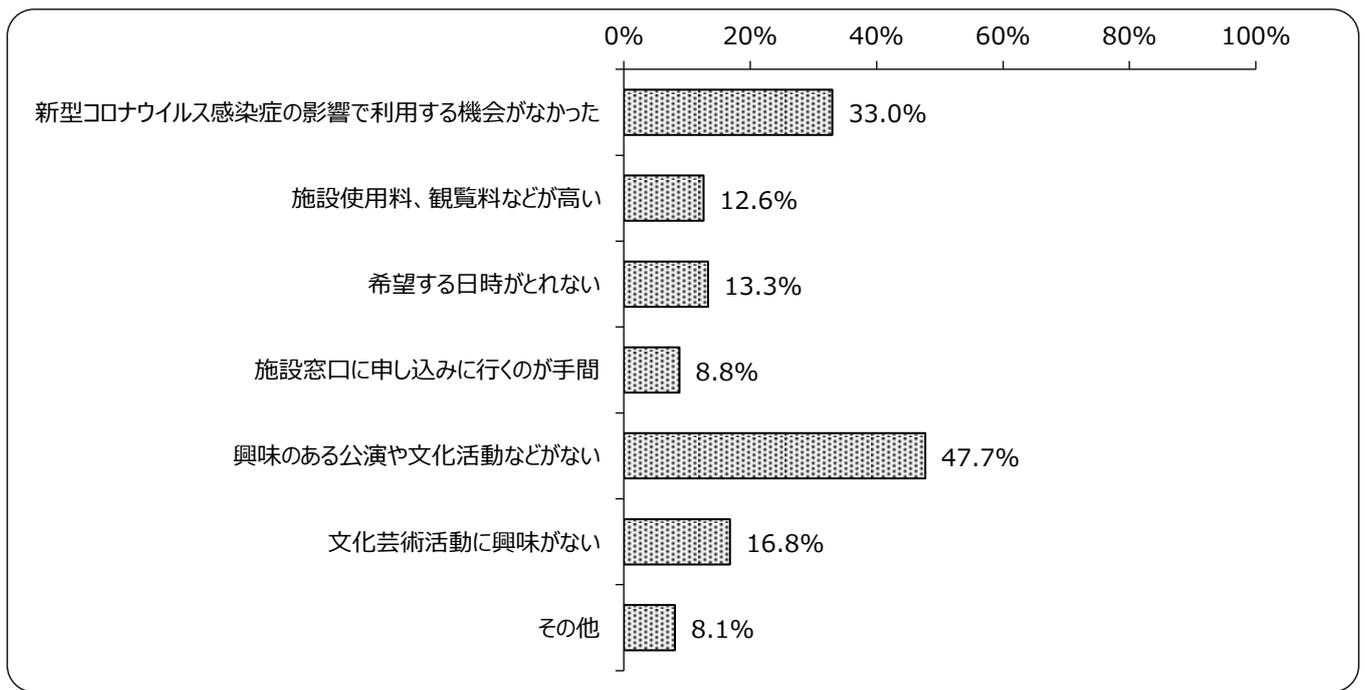
「興味のある公演や文化活動などがない」と回答した方が 47.7%となっており、令和 4 年度（58.0%）に引き続き、最多の回答数となっている。

| | 選択項目 (N=285) | 回答数 | 回答数/N |
|---|-----------------------------|-----|-------|
| 1 | 新型コロナウイルス感染症の影響で利用する機会がなかった | 94 | 33.0% |
| 2 | 施設使用料、観覧料などが高い | 36 | 12.6% |
| 3 | 希望する日時がとれない | 38 | 13.3% |
| 4 | 施設窓口に申し込みに行くのが手間 | 25 | 8.8% |
| 5 | 興味のある公演や文化活動などがない | 136 | 47.7% |
| 6 | 文化芸術活動に興味がない | 48 | 16.8% |
| 7 | その他 | 23 | 8.1% |

[7 その他]

【主な回答】

- アルフォンス・ミュシャ館は身近にあるため、いつでも行けるという気持ちから施設利用に足を運ばなかった。
また、アルフォンス・ミュシャ館以外に様々な施設で催しが行われていることを知らなかったため
- 病気と障害で外に出られないから
- いつ、どこで何をしているのか知らない。
- 妊娠期間中だった為
- 体調不良
- 出産のため
- 忙しいから
- よほどのものでないと出かけて鑑賞することはないため
- 行く機会があったが遠慮してしまった。
- 子どもが小さく、他の方の迷惑になることを避けるため
- あまり情報が入ってこず、興味のあるものかどうか分からない。
- 子どもの誕生や転居などで時間が取れないため
- 通学のために堺に通っているため、目的以外で外出することが少ない。
- 休館していたため
- イベントの予定を知らない。



3. 歯や口（口腔）の健康について

調査結果の概要

| | |
|---------------------------|--|
| テーマ | 歯や口（口腔）の健康について |
| 担当課 | 健康福祉局 健康部 健康推進課 |
| 設問数 | 15 問 |
| 趣旨・目的 | <p>本市では市民が生涯にわたって歯や口（口腔）の健康を大切に、いきいきと元気な生活がおくれることをめざして「堺市歯科口腔保健推進計画（第 2 次）」を平成 30 年 3 月に策定し、総合的な取組を進めています。</p> <p>今回のアンケートは、本計画の見直しや基本的事項を検討することを目的として活用するものです。</p> |
| 調査結果 | 各設問のページをご覧ください。 |
| 調査結果に係る 担当課の所見 | <ul style="list-style-type: none">・問 37 では、堺市成人歯科検診を半数以上が知らないため、堺市成人歯科検診について周知できるよう SNS 等を活用した広報を実施します。・問 39 では、歯周病が関連する全身疾患について、回答の選択肢はいずれも歯周病と関係する疾患ですが、最も認識されているものでも半数に届いておらず、認知度が低いと、歯周病と全身疾患との関連について情報を提供します。・問 40 では、特に 60 歳代及び 70 歳以上の市民の約 3 割が、お口の体操について知らないため、口腔機能を維持する方法について情報を発信し、健康寿命の延伸を図ります。 |

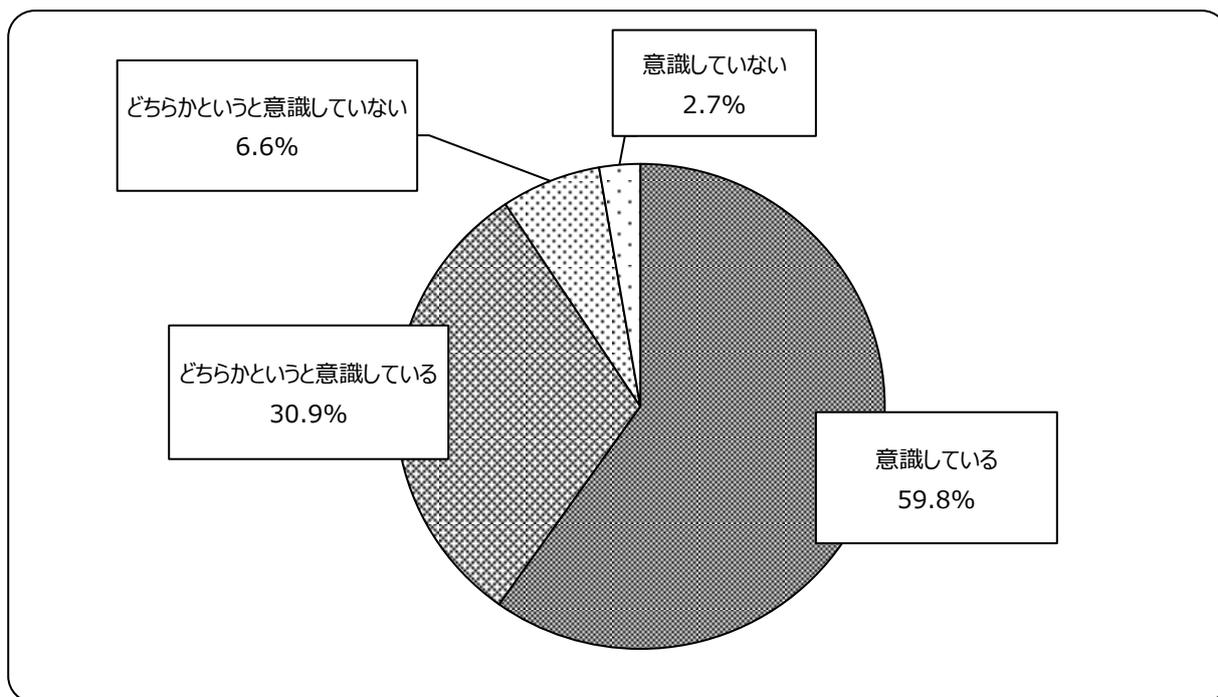
(1) 歯や口腔の健康への関心について

問 27. 歯や口（口腔）の健康について意識をしていますか。

【1つ選択】

「意識している」と「どちらかという意識している」とを合わせた回答率は約 9 割である。

| | 選択項目 (N=482) | 回答数 | 構成比 |
|---|----------------|-----|--------|
| 1 | 意識している | 288 | 59.8% |
| 2 | どちらかという意識している | 149 | 30.9% |
| 3 | どちらかという意識していない | 32 | 6.6% |
| 4 | 意識していない | 13 | 2.7% |
| | 計 (回答総数) | 482 | 100.0% |



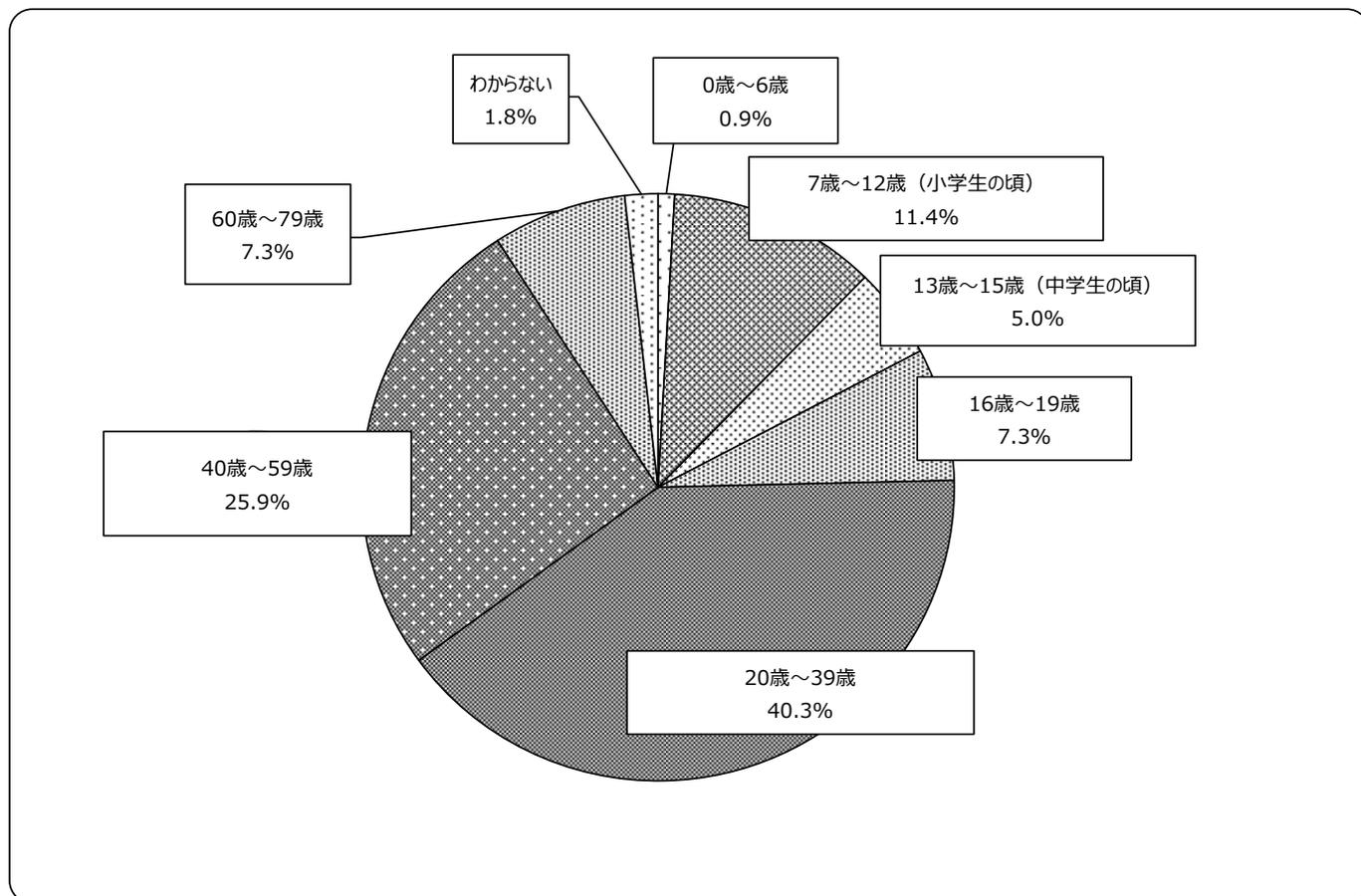
問 28. 問 27 で「1 意識している」「2 どちらかという意識している」と回答された方に伺います。

歯や口（口腔）の健康について意識するようになったのはいつ頃からですか。

【1 つ選択】

「20 歳～39 歳」と「40 歳～59 歳」とを合わせた回答率は 66.2%であり、成人期から壮年期に意識するようになった方が多く、次いで小学生の頃となっている。

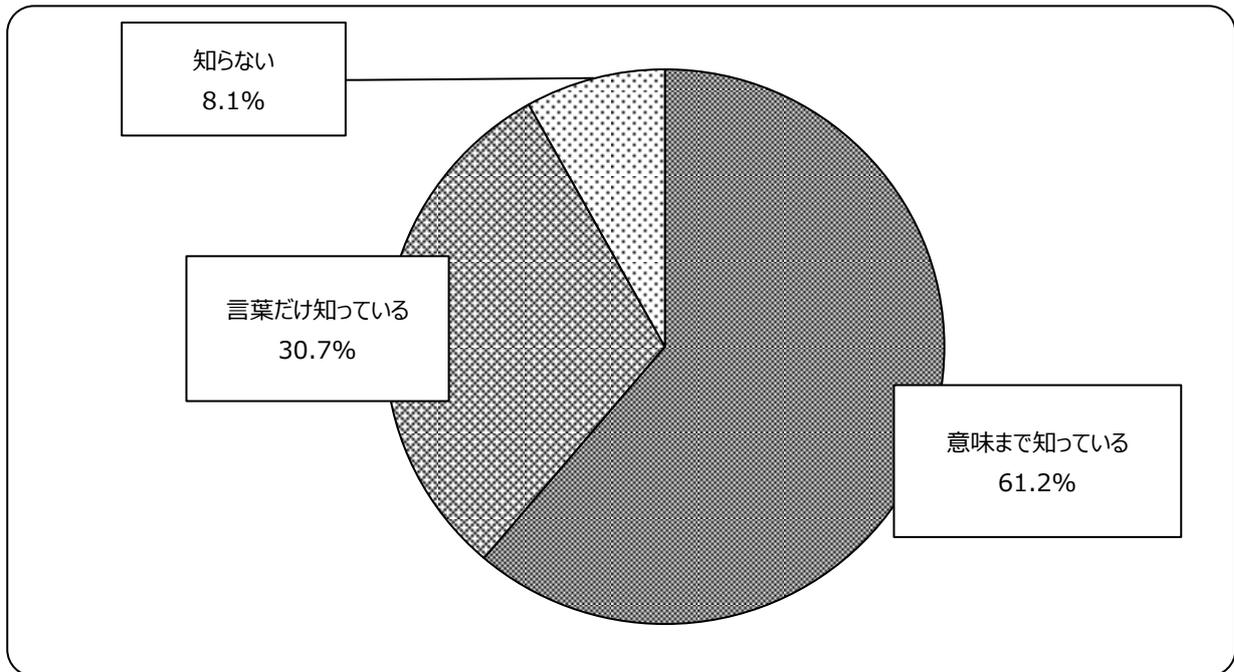
| | 選択項目 (N=437) | 回答数 | 構成比 |
|---|-----------------|-----|--------|
| 1 | 0歳～6歳 | 4 | 0.9% |
| 2 | 7歳～12歳 (小学生の頃) | 50 | 11.4% |
| 3 | 13歳～15歳 (中学生の頃) | 22 | 5.0% |
| 4 | 16歳～19歳 | 32 | 7.3% |
| 5 | 20歳～39歳 | 176 | 40.3% |
| 6 | 40歳～59歳 | 113 | 25.9% |
| 7 | 60歳～79歳 | 32 | 7.3% |
| 8 | 80歳～ | 0 | 0.0% |
| 9 | わからない | 8 | 1.8% |
| | 計 (回答総数) | 437 | 100.0% |



問 29. 健康寿命という言葉を知っていますか。**【1つ選択】**

「意味まで知っている」と回答した方は 61.2%となっている。一方で、「言葉だけ知っている」を含めた回答率は 91.9%であり、言葉の知名度は上がっている。

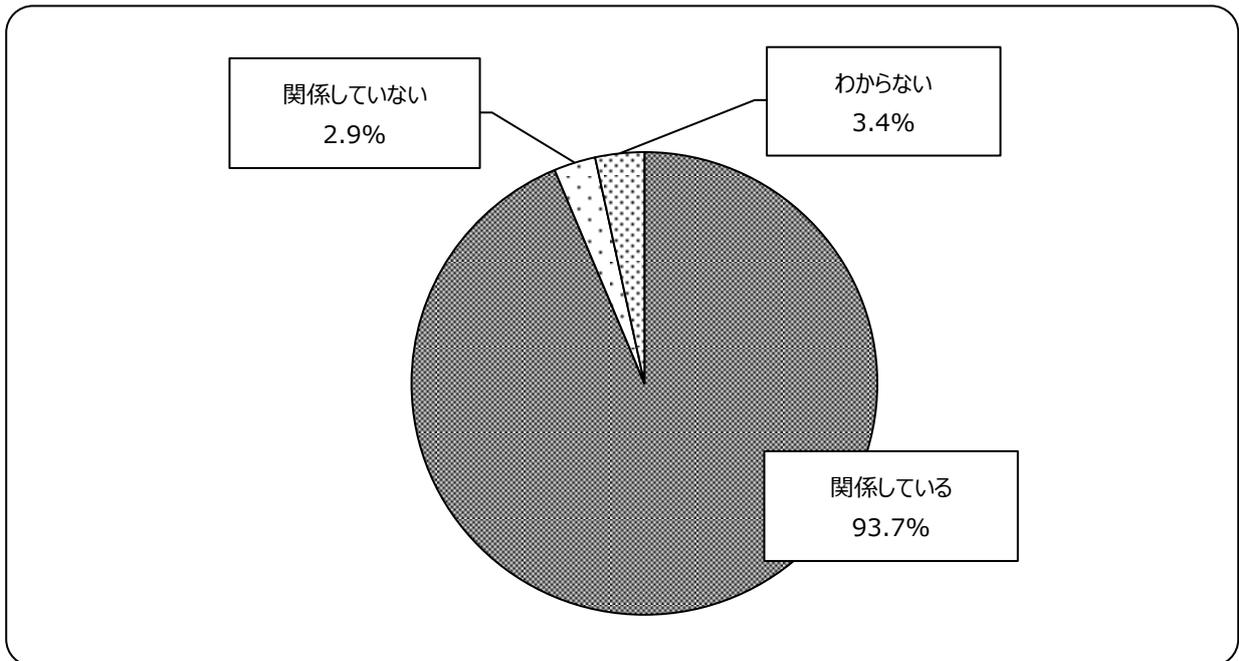
| | 選択項目 (N=482) | 回答数 | 構成比 |
|---|--------------|-----|--------|
| 1 | 意味まで知っている | 295 | 61.2% |
| 2 | 言葉だけ知っている | 148 | 30.7% |
| 3 | 知らない | 39 | 8.1% |
| | 計 (回答総数) | 482 | 100.0% |



問 30. 問 29 で「1 意味まで知っている」「2 言葉だけ知っている」と回答された方に伺います。歯や口（口腔）の健康は健康寿命と関係していると思いますか。 【1 つ選択】

「関係している」と回答した方は 93.7%であり、歯や口（口腔）の健康と健康寿命との関係を認識している方は、多い結果になった。

| | 選択項目 (N=443) | 回答数 | 構成比 |
|---|--------------|-----|--------|
| 1 | 関係している | 415 | 93.7% |
| 2 | 関係していない | 13 | 2.9% |
| 3 | わからない | 15 | 3.4% |
| | 計 (回答総数) | 443 | 100.0% |



(2) 歯や口（口腔）の健康を保つための生活習慣について

問 31. 歯みがきの方法について、どこで学んだ経験がありますか。

【複数選択可：いくつでも】

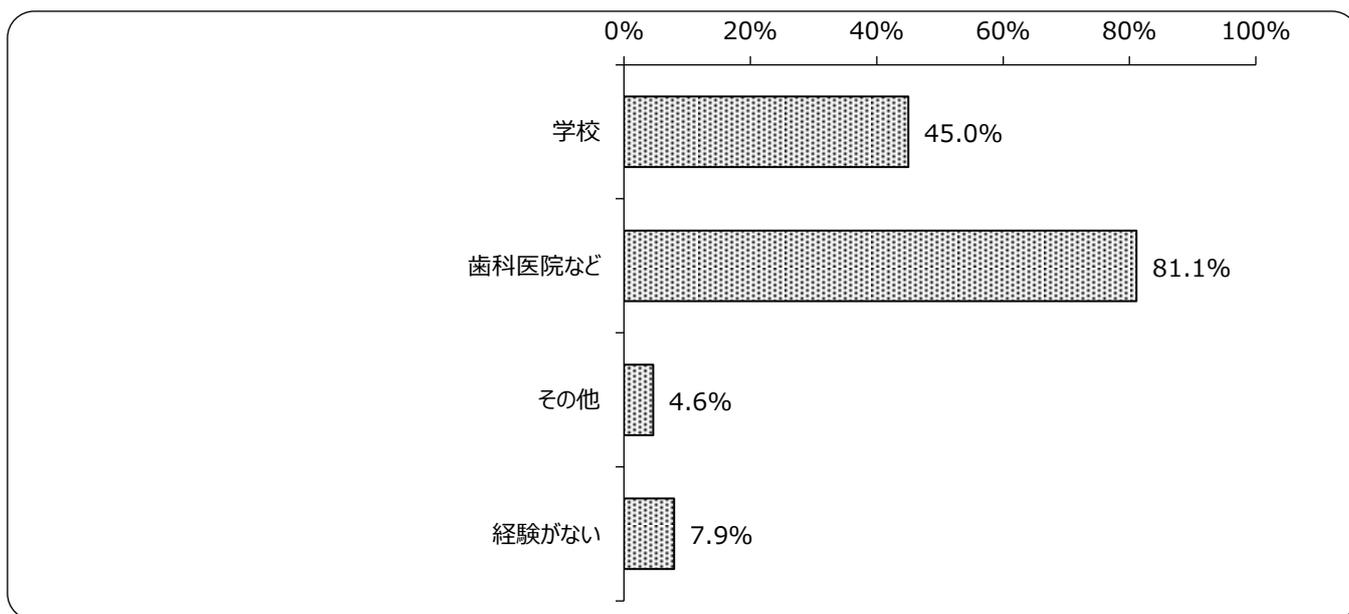
「歯科医院など」と回答した方は 81.1%と最も高くなっており、次いで、「学校」が 45.0%となっている。

| | 選択項目 (N=482) | 回答数 | 回答数/N |
|---|--------------|-----|-------|
| 1 | 学校 | 217 | 45.0% |
| 2 | 歯科医院など | 391 | 81.1% |
| 3 | その他 | 22 | 4.6% |
| 4 | 経験がない | 38 | 7.9% |

[3 その他]

【主な回答】

- 家庭
- 職場
- メディア
- 妊婦健診
- 子どもの定期検診など
- 堺市口腔センターの催し
- 保健センターの歯科検診

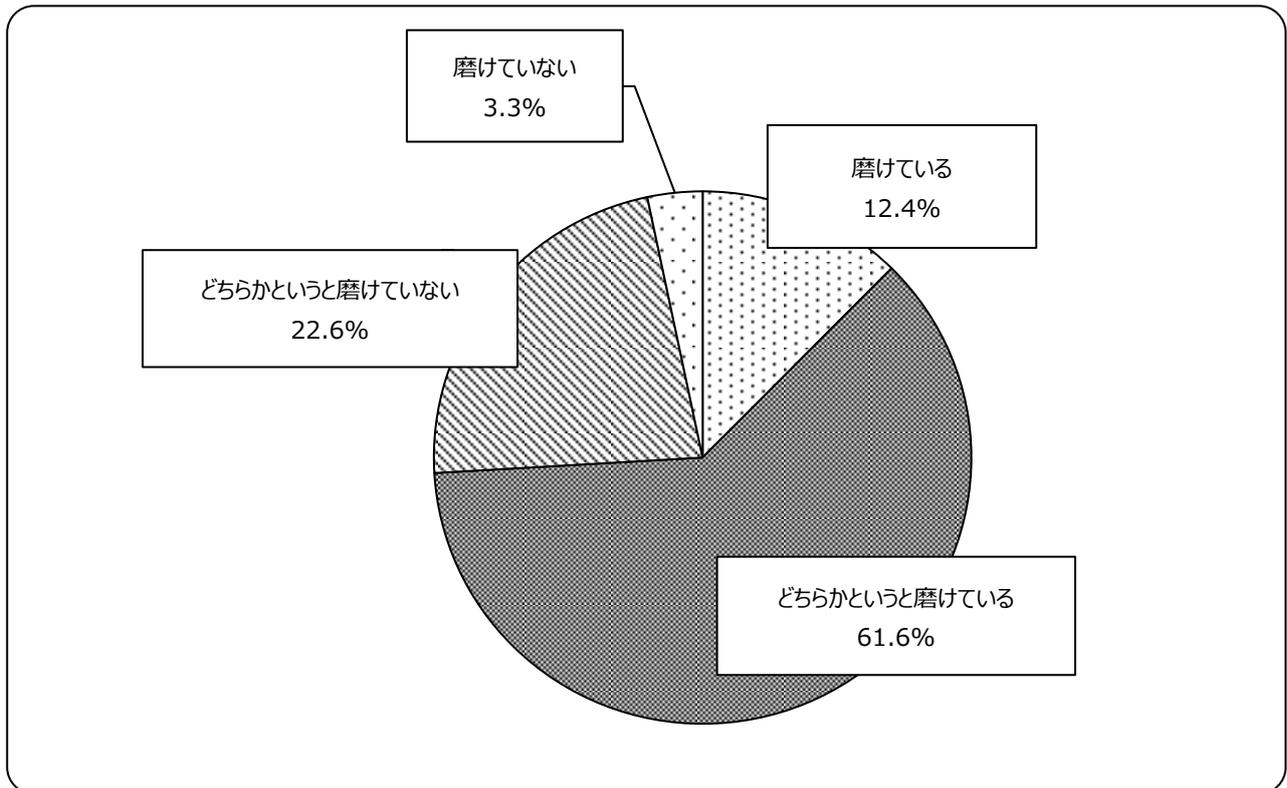


問 32. 自分の歯は、磨けていると思いますか。

【1つ選択】

「磨けている」と「どちらかという磨けている」とを合わせた回答率は 74.0%となっている。

| | 選択項目 (N=482) | 回答数 | 構成比 |
|---|---------------|-----|--------|
| 1 | 磨けている | 60 | 12.4% |
| 2 | どちらかという磨けている | 297 | 61.6% |
| 3 | どちらかという磨けていない | 109 | 22.6% |
| 4 | 磨けていない | 16 | 3.3% |
| | 計 (回答総数) | 482 | 100.0% |



問 33. 歯につまった食べものを取り除く時に使用している道具は何ですか。

【複数選択可：いくつでも】

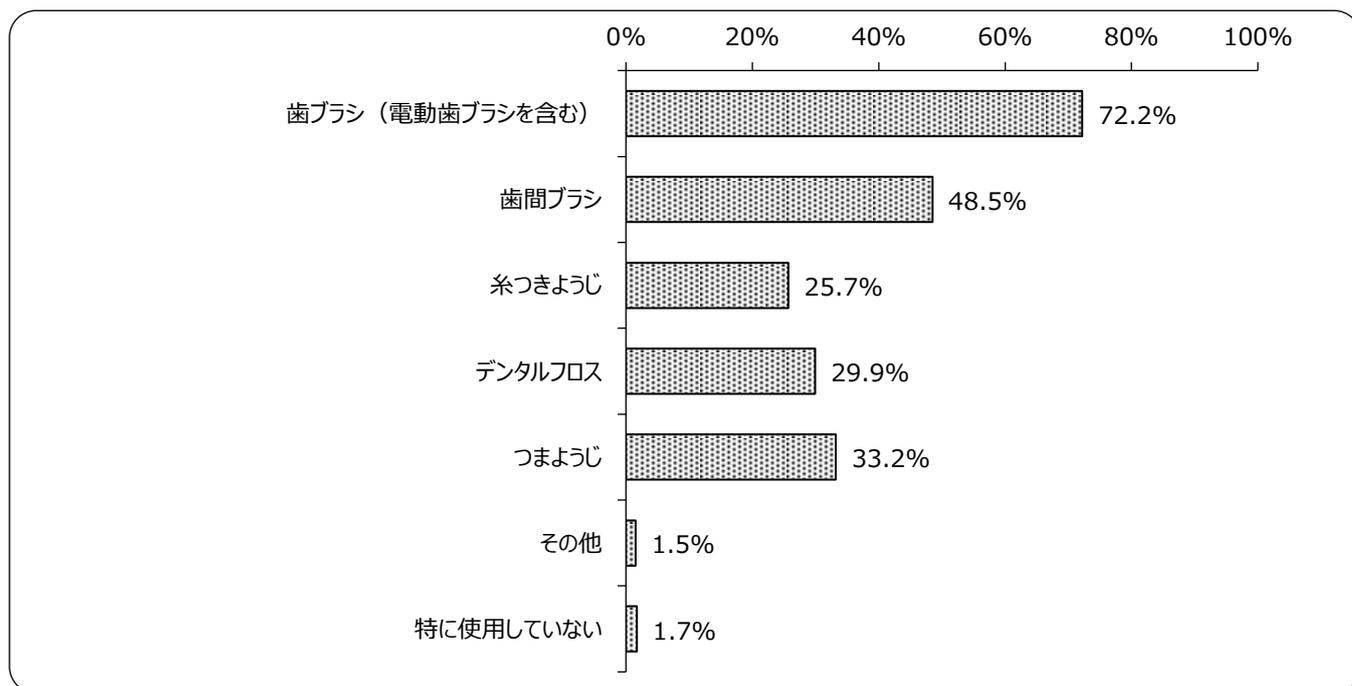
「歯ブラシ（電動歯ブラシを含む）」が 72.2%と最も多く、次いで「歯間ブラシ」が 48.5%であった。

| | 選択項目 (N=482) | 回答数 | 回答数/N |
|---|-----------------|-----|-------|
| 1 | 歯ブラシ（電動歯ブラシを含む） | 348 | 72.2% |
| 2 | 歯間ブラシ | 234 | 48.5% |
| 3 | 糸つきようじ | 124 | 25.7% |
| 4 | デンタルフロス | 144 | 29.9% |
| 5 | つまようじ | 160 | 33.2% |
| 6 | その他 | 7 | 1.5% |
| 7 | 特に使用していない | 8 | 1.7% |

[6 その他]

【主な回答】

- ワンタフトブラシ
- 口腔洗浄器
- 超音波洗浄機
- 舌先でこすり落とす。
- 爪



問 34. 治療目的以外の歯科検診（職場や歯科医院での定期的な歯科検診）を受けていますか。 【1つ選択】

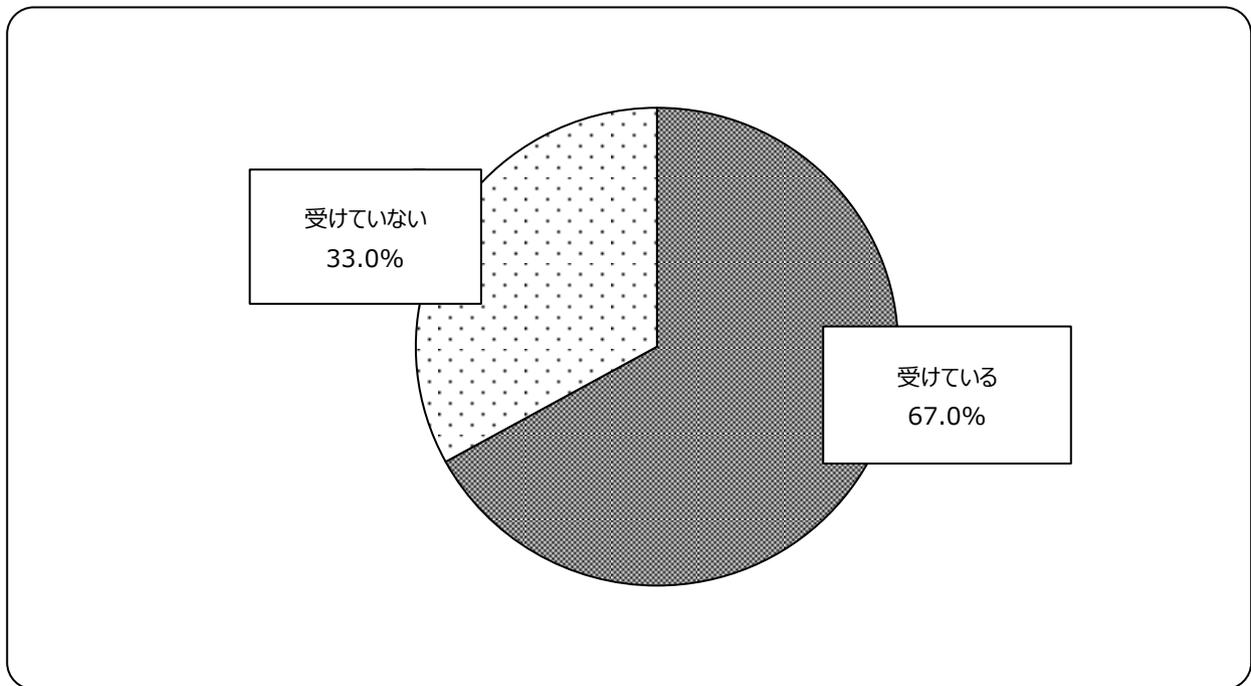
「受けている」と回答した者は 67.0%となっている。

| | 選択項目 (N=482) | 回答数 | 構成比 |
|---|--------------|-----|--------|
| 1 | 受けている | 323 | 67.0% |
| 2 | 受けていない | 159 | 33.0% |
| | 計 (回答総数) | 482 | 100.0% |

[2 受けていないの理由]

【主な回答】

- 診察代がかかるため
- きっかけがない。
- 時間がない。
- 歯痛などの自覚がないと行く動機がない。
- 歯医者は苦手
- 定期的に歯科医院に受診しているから



問 35. どのような要因があれば定期的に歯科検診を受診したくなりますか。

【複数選択可：いつでも】

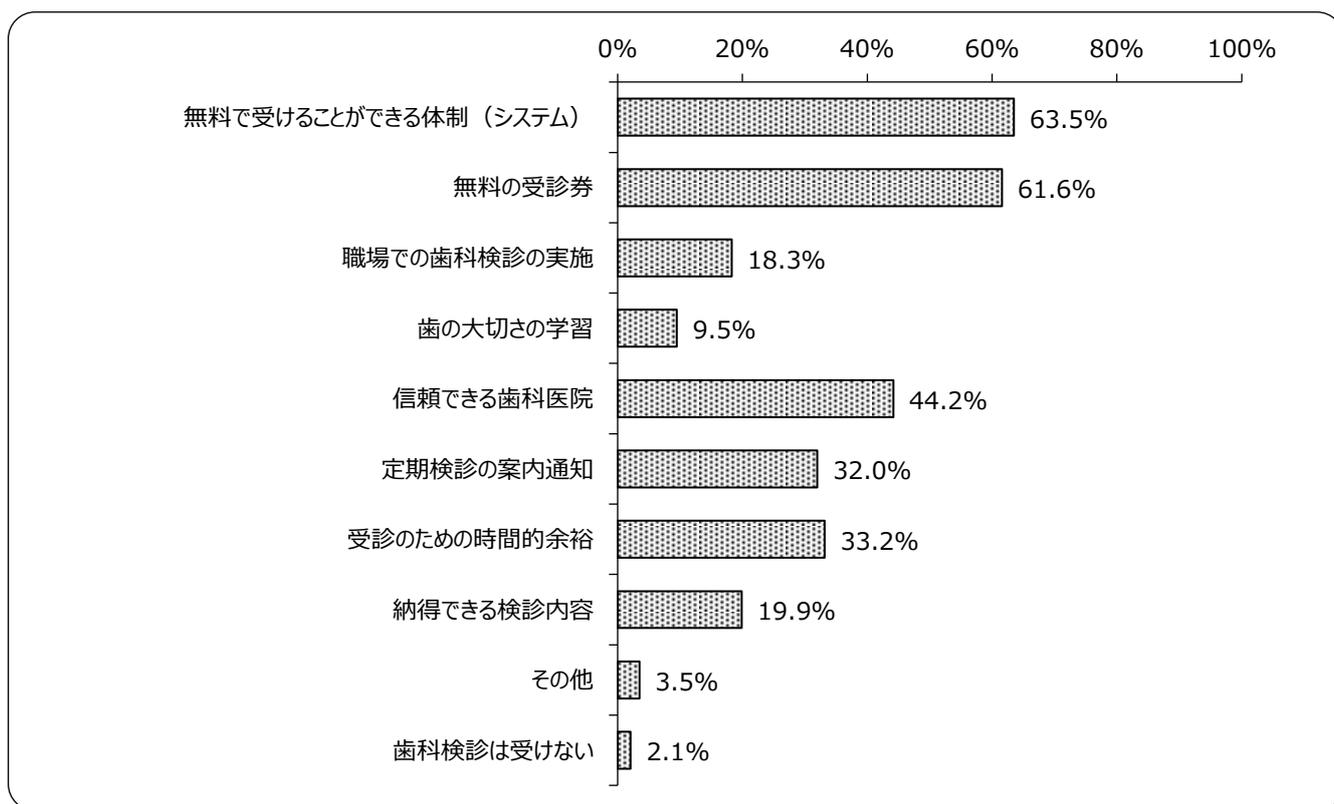
「無料で受けることができる体制（システム）」が63.5%と最も多く、次いで「無料の受診券」が61.6%であった。

| | 選択項目 (N=482) | 回答数 | 回答数/N |
|----|----------------------|-----|-------|
| 1 | 無料で受けることができる体制（システム） | 306 | 63.5% |
| 2 | 無料の受診券 | 297 | 61.6% |
| 3 | 職場での歯科検診の実施 | 88 | 18.3% |
| 4 | 歯の大切さの学習 | 46 | 9.5% |
| 5 | 信頼できる歯科医院 | 213 | 44.2% |
| 6 | 定期検診の案内通知 | 154 | 32.0% |
| 7 | 受診のための時間的余裕 | 160 | 33.2% |
| 8 | 納得できる検診内容 | 96 | 19.9% |
| 9 | その他 | 17 | 3.5% |
| 10 | 歯科検診は受けない | 10 | 2.1% |

[9 その他]

【主な回答】

- 託児サービス
- 行きたいときにすぐに予約が取れる。
- 割引やポイントなどの何らかの訴求力がある策がほしい。
- 歯科検診のみ実施してくれる会場があれば受ける。

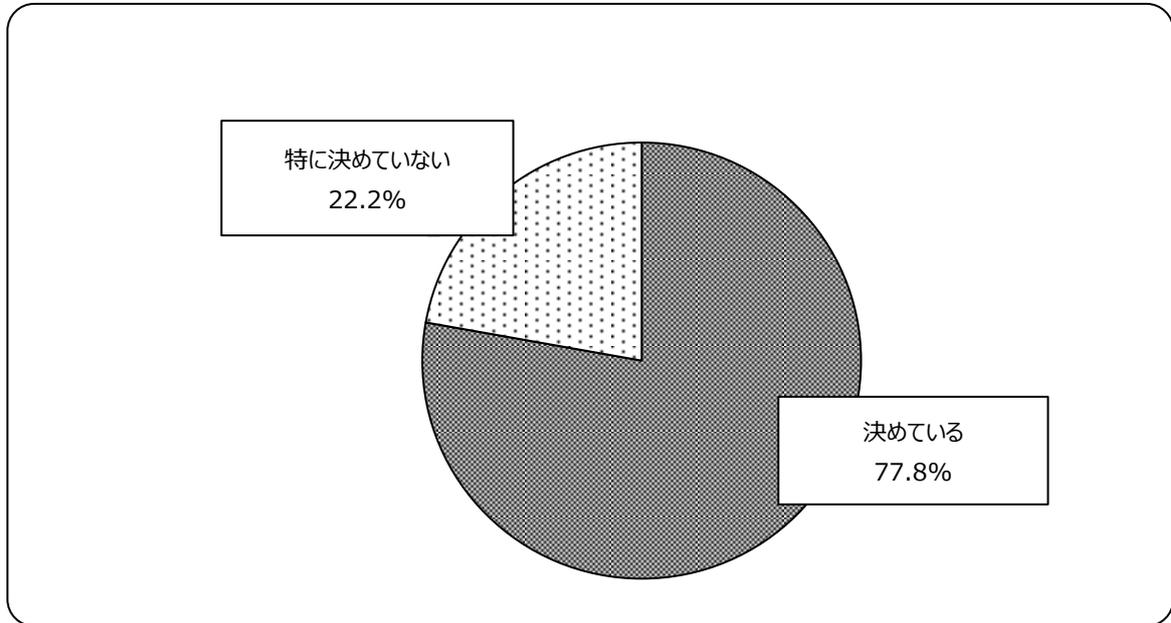


問 36. かかりつけの歯科医院を決めていますか。

【1つ選択】

「決めている」と回答した方が 77.8%となっている。

| | 選択項目 (N=482) | 回答数 | 構成比 |
|---|--------------|-----|--------|
| 1 | 決めている | 375 | 77.8% |
| 2 | 特に決めていない | 107 | 22.2% |
| | 計 (回答総数) | 482 | 100.0% |



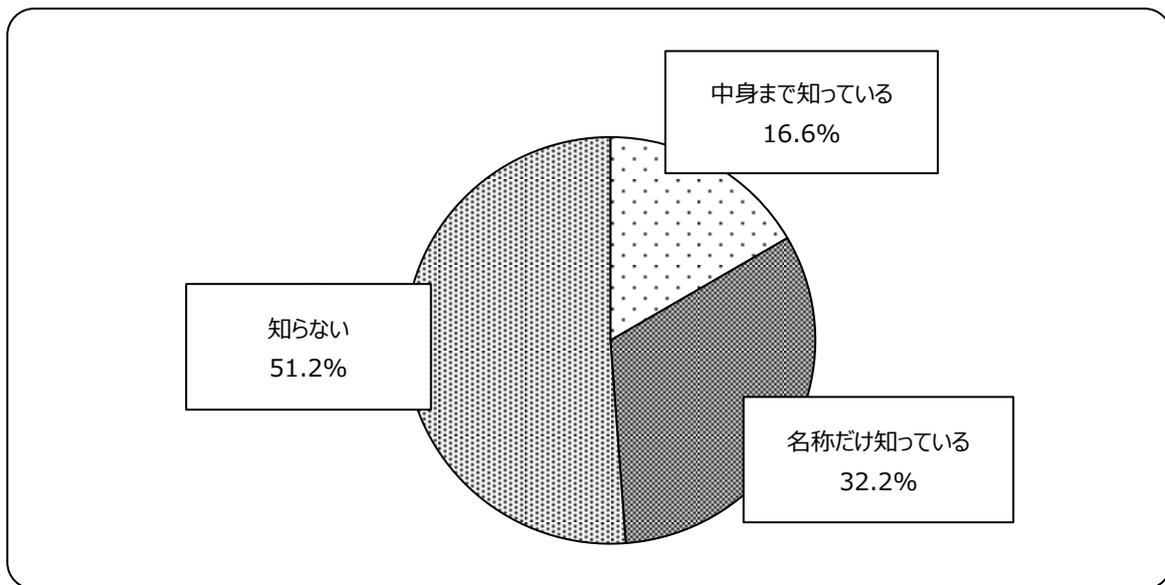
(3) 市の取組について

問 37. 「堺市成人歯科検診」を知っていますか。

【1つ選択】

「中身まで知っている」と回答した方は 16.6%であり、「名称だけ知っている」を含めた回答率は 48.8%と、半数を下回っている。

| | 選択項目 (N=482) | 回答数 | 構成比 |
|---|--------------|-----|--------|
| 1 | 中身まで知っている | 80 | 16.6% |
| 2 | 名称だけ知っている | 155 | 32.2% |
| 3 | 知らない | 247 | 51.2% |
| | 計 (回答総数) | 482 | 100.0% |

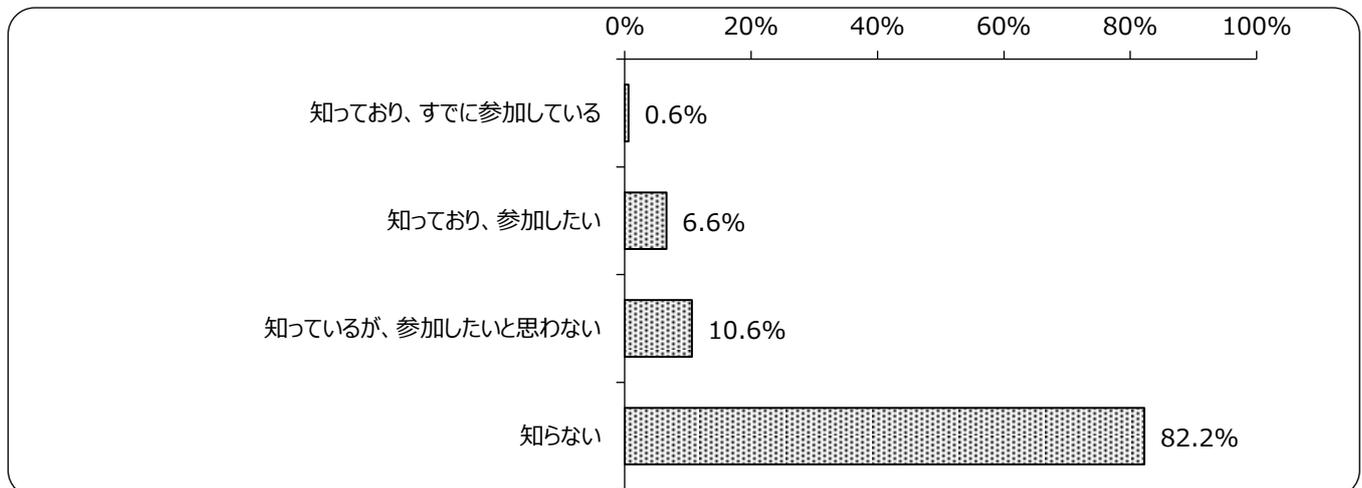


問 38. 歯と口の健康づくりボランティアグループ「堺市 8020 メイト」を知っていますか。

【1 つ選択】

「知らない」と回答した方は 82.2%となっている。

| | 選択項目 (N=482) | 回答数 | 構成比 |
|---|-------------------|-----|--------|
| 1 | 知っており、すでに参加している | 3 | 0.6% |
| 2 | 知っており、参加したい | 32 | 6.6% |
| 3 | 知っているが、参加したいと思わない | 51 | 10.6% |
| 4 | 知らない | 396 | 82.2% |
| | 計 (回答総数) | 482 | 100.0% |



(4) 歯や口（口腔）の健康を保つための取組について

問 39. 歯や口（口腔）の疾患に歯周病があります。歯周病と関係していると思うものを選んでください。

【複数選択可：いくつでも】

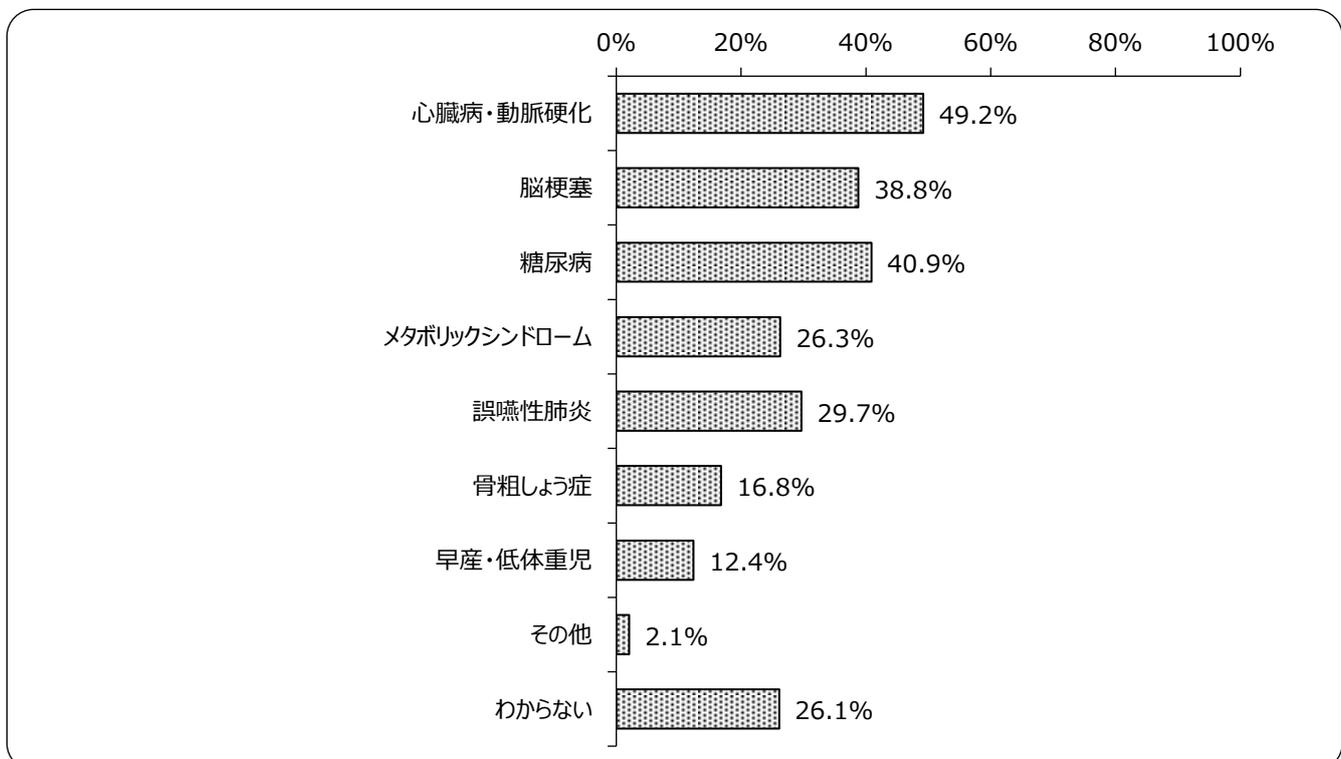
「心臓病・動脈硬化」が 49.2%と最も多く、次いで「糖尿病」が 40.9%である。また、「わからない」が 26.1%となっている。

| | 選択項目 (N=482) | 回答数 | 回答数/N |
|---|--------------|-----|-------|
| 1 | 心臓病・動脈硬化 | 237 | 49.2% |
| 2 | 脳梗塞 | 187 | 38.8% |
| 3 | 糖尿病 | 197 | 40.9% |
| 4 | メタボリックシンドローム | 127 | 26.3% |
| 5 | 誤嚥性肺炎 | 143 | 29.7% |
| 6 | 骨粗しょう症 | 81 | 16.8% |
| 7 | 早産・低体重児 | 60 | 12.4% |
| 8 | その他 | 10 | 2.1% |
| 9 | わからない | 126 | 26.1% |

[8 その他]

【主な回答】

- 腸内環境
- 大腸疾患
- 認知症
- 栄養失調

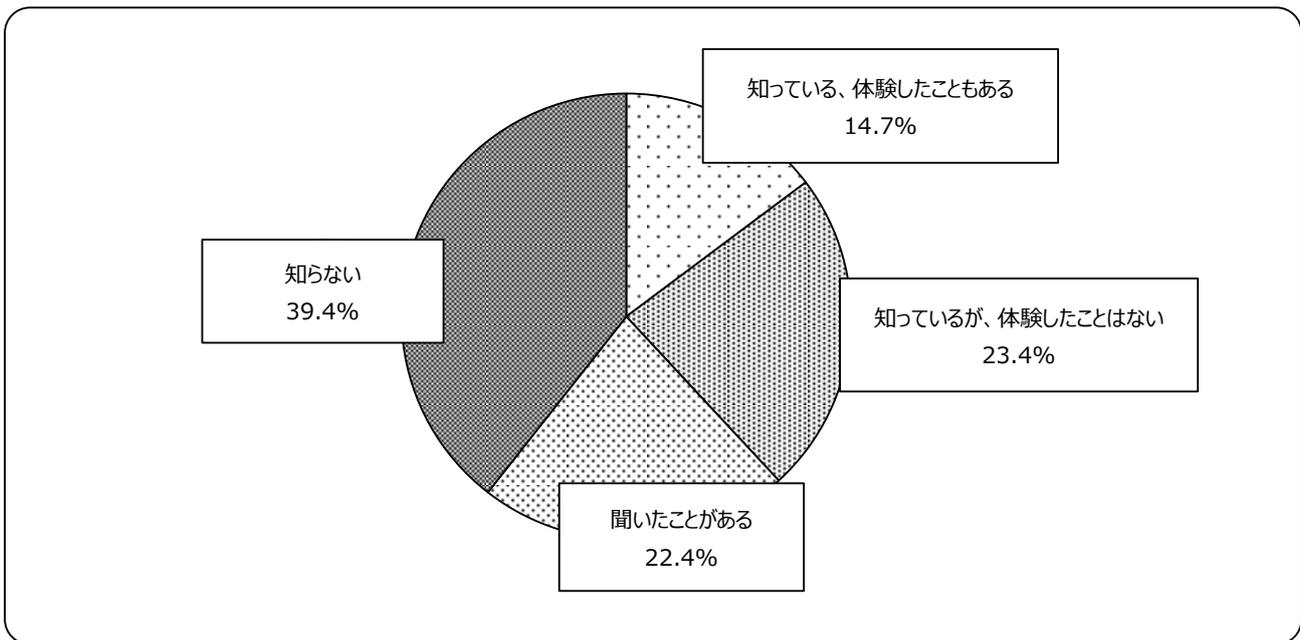


問 40. 年齢とともに、食べ物がかみにくい、口が乾く、むせる、飲み込む力が衰えるなど口腔の機能が低下します。口腔の機能を維持する方法として、「お口の体操」をすることが挙げられます。「お口の体操」を知っていますか。

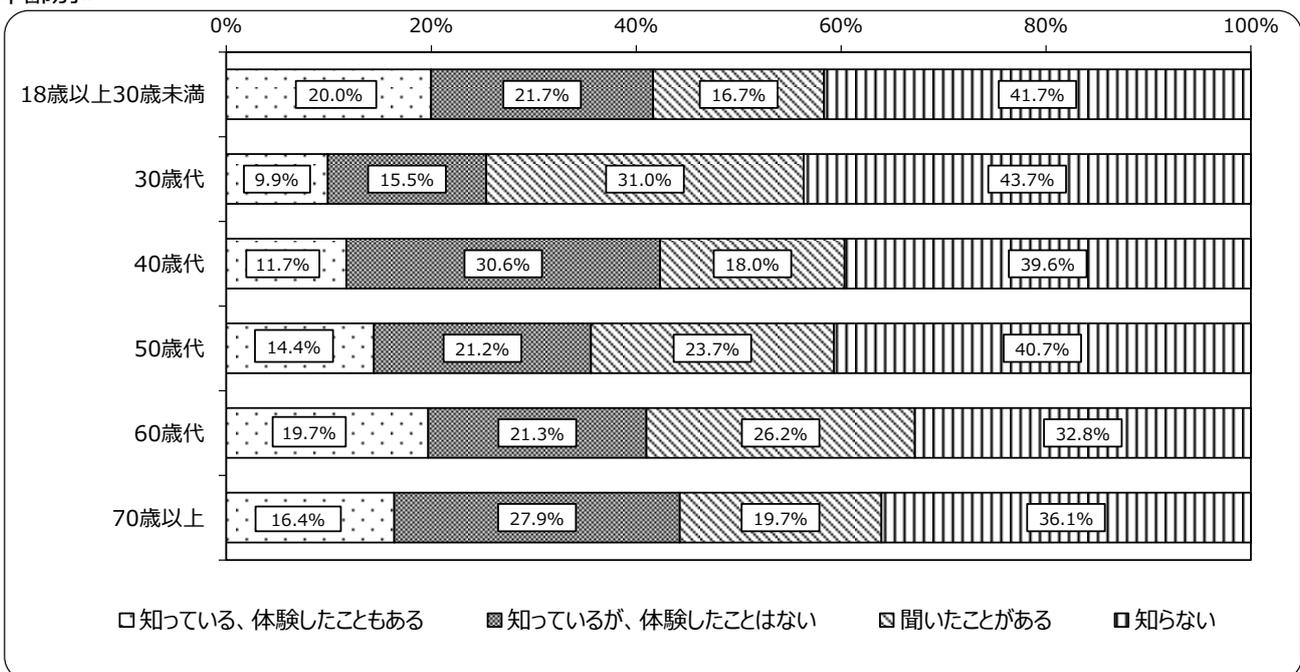
【1つ選択】

「知っている、体験したこともある」と「知っているが、体験したことはない」を合わせた回答率は 38.1%であり、「聞いたことがある」を含めると 60.5%と過半数である。

| | 選択項目 (N=482) | 回答数 | 構成比 |
|---|------------------|-----|--------|
| 1 | 知っている、体験したこともある | 71 | 14.7% |
| 2 | 知っているが、体験したことはない | 113 | 23.4% |
| 3 | 聞いたことがある | 108 | 22.4% |
| 4 | 知らない | 190 | 39.4% |
| | 計 (回答総数) | 482 | 100.0% |



《年齢別》



問 41. 歯や口（口腔）の健康について、必要と思うことは何ですか。

【複数選択可：いくつでも】

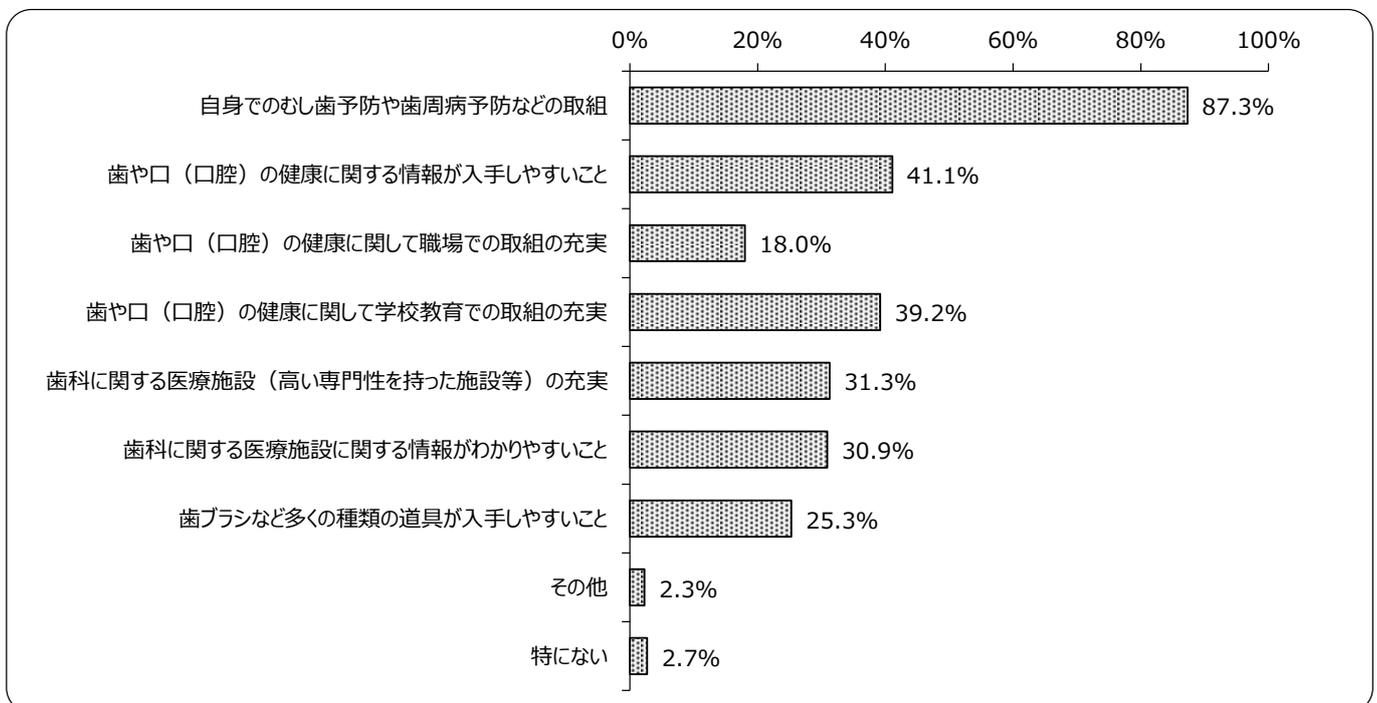
「自身でのむし歯予防や歯周病予防などの取組」が87.3%と最も高い。次いで「歯や口（口腔）の健康に関する情報が入手しやすいこと」は41.1%となっている。

| | 選択項目 (N=482) | 回答数 | 回答数/N |
|---|-----------------------------|-----|-------|
| 1 | 自身でのむし歯予防や歯周病予防などの取組 | 421 | 87.3% |
| 2 | 歯や口（口腔）の健康に関する情報が入手しやすいこと | 198 | 41.1% |
| 3 | 歯や口（口腔）の健康に関して職場での取組の充実 | 87 | 18.0% |
| 4 | 歯や口（口腔）の健康に関して学校教育での取組の充実 | 189 | 39.2% |
| 5 | 歯科に関する医療施設（高い専門性を持った施設等）の充実 | 151 | 31.3% |
| 6 | 歯科に関する医療施設に関する情報がわかりやすいこと | 149 | 30.9% |
| 7 | 歯ブラシなど多くの種類の道具が入手しやすいこと | 122 | 25.3% |
| 8 | その他 | 11 | 2.3% |
| 9 | 特にない | 13 | 2.7% |

[8 その他]

【主な回答】

- 保険診療範囲の拡大
- 病院との連携
- 家庭で指導
- 歯科の予約しやすさ
- 歯磨きがしやすい環境



4. 本市のこころの健康に関する活動について（自殺対策、依存症対策）

調査結果の概要

| | |
|---------------------------|--|
| テーマ | 本市のこころの健康に関する活動について（自殺対策、依存症対策） |
| 担当課 | 健康福祉局 健康部 精神保健課 |
| 設問数 | 15 問 |
| 趣旨・目的 | <p>本市では、平成 21 年に自殺対策推進計画、令和 4 年に依存症地域支援計画を策定し、自殺対策及び依存症対策に取り組んでいます。</p> <p>今回のアンケートは、市民のこころの健康に関する状況を明らかにし、自殺対策及び依存症対策の施策への評価と、対策をより効果的に行うための基礎資料とするために実施するものです。</p> |
| 調査結果 | 各設問のページをご覧ください。 |
| 調査結果に係る 担当課の所見 | <ul style="list-style-type: none"> ・問 45、54 では、相談機関を知ったきっかけは年齢層によって異なるため、今後も広報さかいやインターネット媒体等を活用した広報を実施します。 ・問 48 では、ゲートキーパーの認知度が低い状況でした。また、「死にたい」と打ち明けられた場合の対応について、『「そんなことを考えるな」と説得する」、「話題を変える」、「「がんばって生きよう」と励ます』の各項目は 1 割程度の回答があり、望ましい対応に関する誤解(※)があるため、引き続きゲートキーパーについての広報と、自殺の危険を示すサインに気づき、適切に対応をすることができる人を増やすためのゲートキーパー研修を実施します。 <p>※説得や励まし、話題を変えること等は、「しんどさを感じている自分を否定された」「しんどさをわかってもらえなかった」といった思いに繋がることもあり、一般的には「望ましい対応」とは考えられていません。</p> |

自殺対策について

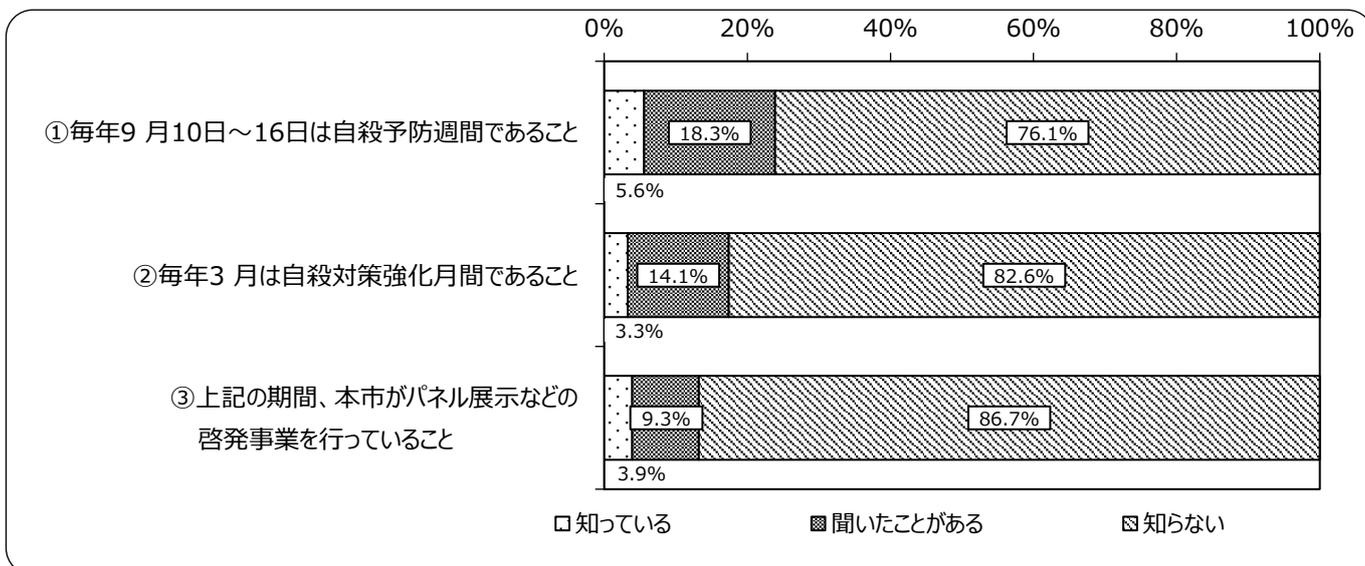
(1) 自殺問題に関する理解度について

問 42 以下の項目を知っていますか。

【各項目：1つ選択】

各項目において、「知らない」と回答した方が 70%代～80%代を占めた。(令和4年度①74.3%、②81.5%、③85.1%)

| 選択項目(N=482) | 知っている | 聞いたことがある | 知らない | 計 (回答総数) |
|--------------------------------|------------|-------------|--------------|---------------|
| ①毎年9月10日～16日は自殺予防週間であること | 27 5.6% | 88 18.3% | 367 76.1% | 482 100.0% |
| ②毎年3月は自殺対策強化月間であること | 16 3.3% | 68 14.1% | 398 82.6% | 482 100.0% |
| ③上記の期間、本市はパネル展示などの啓発事業を行っていること | 19 3.9% | 45 9.3% | 418 86.7% | 482 100.0% |

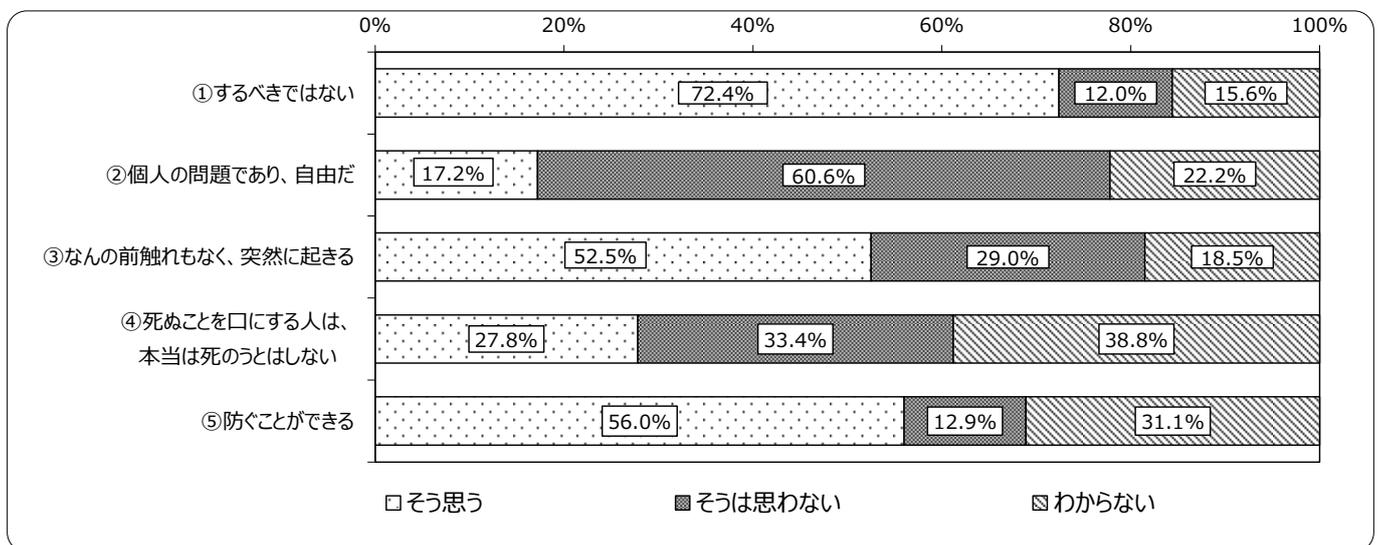


問 43 自殺（自死）についてのあなたの考えに最も近いものをお答えください。

【各項目：1つ選択】

「⑤防ぐことができる」の問いに対して、「そう思う」と回答した方は半数を占め、令和4年度と同じく56.0%となっている。

| 選択項目(N=482) | そう思う | そうは思わない | わからない | 計(回答総数) |
|--------------------------|--------------|--------------|--------------|---------------|
| ①すべきではない | 349 72.4% | 58 12.0% | 75 15.6% | 482 100.0% |
| ②個人の問題であり、自由だ | 83 17.2% | 292 60.6% | 107 22.2% | 482 100.0% |
| ③なんの前触れもなく、突然に起きる | 253 52.5% | 140 29.0% | 89 18.5% | 482 100.0% |
| ④死ぬことを口にする人は、本当は死のうとはしない | 134 27.8% | 161 33.4% | 187 38.8% | 482 100.0% |
| ⑤防ぐことができる | 270 56.0% | 62 12.9% | 150 31.1% | 482 100.0% |



(2) 自殺対策に関する相談窓口の認知度について

問 44. あなたは、次の相談機関を知っていますか。

【複数選択可：いくつでも】

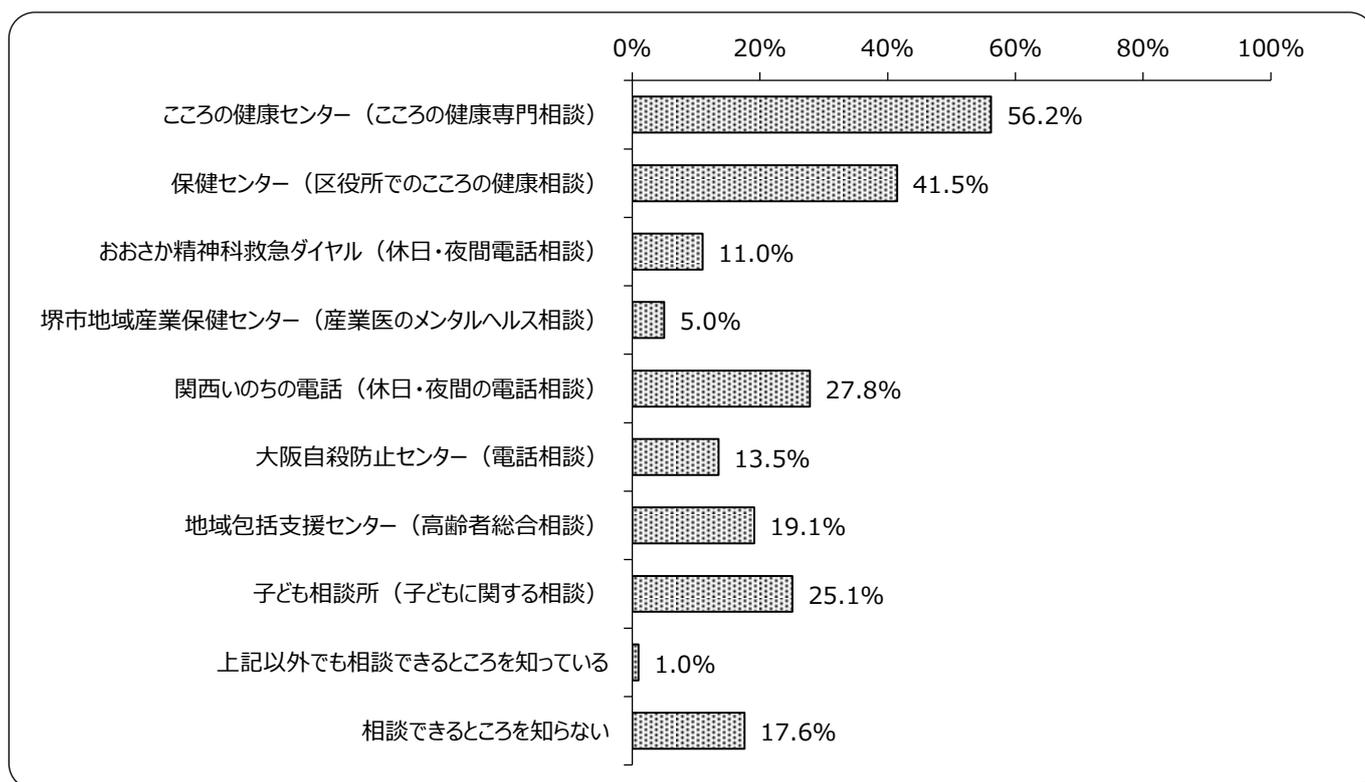
「相談できるところを知らない」と回答した方は 17.6%であり、令和 4 年度の 19.5%から減少した。

| | 選択項目 (N=482) | 回答数 | 回答数/N |
|----|------------------------------|-----|-------|
| 1 | こころの健康センター (こころの健康専門相談) | 271 | 56.2% |
| 2 | 保健センター (区役所でのこころの健康相談) | 200 | 41.5% |
| 3 | おおさか精神科救急ダイヤル (休日・夜間電話相談) | 53 | 11.0% |
| 4 | 堺市地域産業保健センター (産業医のメンタルヘルス相談) | 24 | 5.0% |
| 5 | 関西いのちの電話 (休日・夜間の電話相談) | 134 | 27.8% |
| 6 | 大阪自殺防止センター (電話相談) | 65 | 13.5% |
| 7 | 地域包括支援センター (高齢者総合相談) | 92 | 19.1% |
| 8 | 子ども相談所 (子どもに関する相談) | 121 | 25.1% |
| 9 | 上記以外でも相談できるところを知っている | 5 | 1.0% |
| 10 | 相談できるところを知らない | 85 | 17.6% |

[9 その他]

【主な回答】

- 男女共同参画センター
- 生きづらビット



問 45. 問 44 で 1～9 と回答された方に伺います。あなたが相談機関を知ったきっかけについて、あてはまるものをお答えください。 【複数選択可：いくつでも】

「広報さかい」と回答した方の割合は 70 歳以上で一番多く、18 歳以上 30 歳未満で一番少なかった。
「SNS」と回答した方の割合は 18 歳以上 30 歳未満で一番多く、70 歳以上は 0 人であった。

| | 選択項目 (N=397) | 回答数 | 回答数/N |
|----|-----------------|-----|-------|
| 1 | 広報さかい | 228 | 57.4% |
| 2 | テレビ・ラジオ | 167 | 42.1% |
| 3 | 新聞・雑誌 | 76 | 19.1% |
| 4 | イベント・セミナー | 19 | 4.8% |
| 5 | パンフレット・ポスター・チラシ | 68 | 17.1% |
| 6 | ホームページ・インターネット | 105 | 26.4% |
| 7 | SNS | 12 | 3.0% |
| 8 | 家族・友人・知人 | 33 | 8.3% |
| 9 | 職場・学校 | 50 | 12.6% |
| 10 | その他 | 7 | 1.8% |

[7 SNS 具体的に]

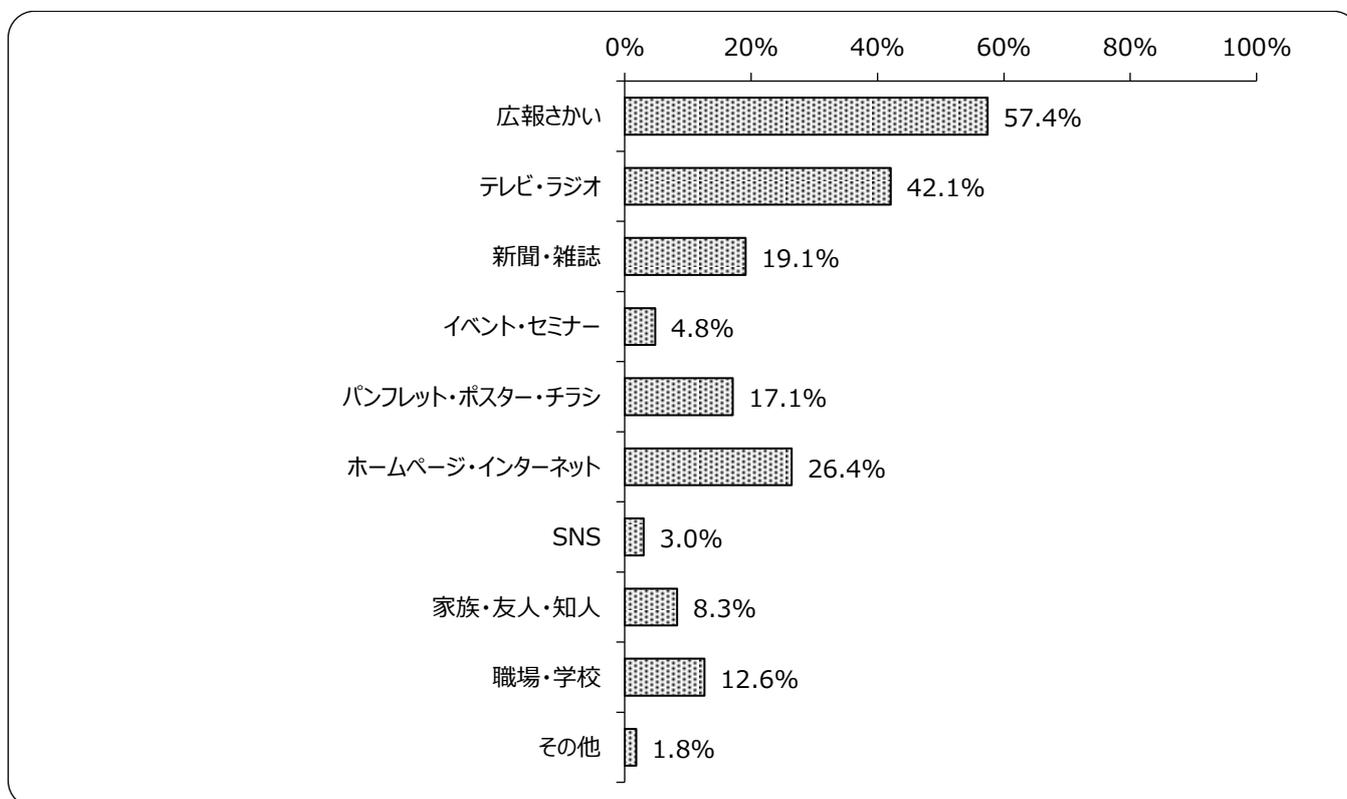
【主な回答】

- LINE
- X (旧 Twitter)
- Instagram
- さかい子育て応援アプリ

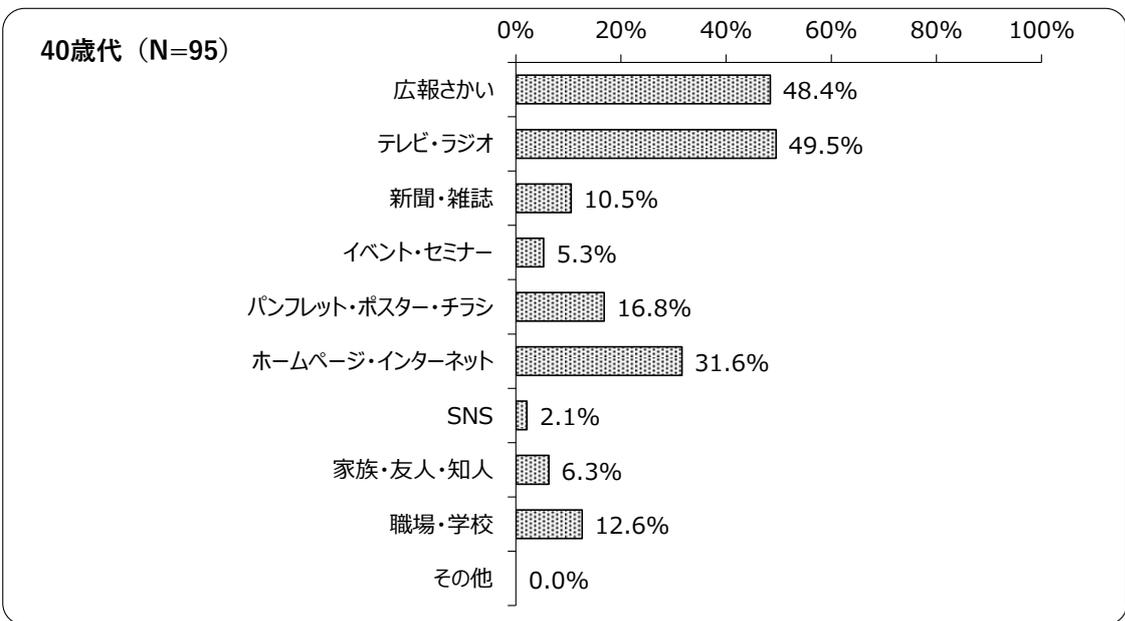
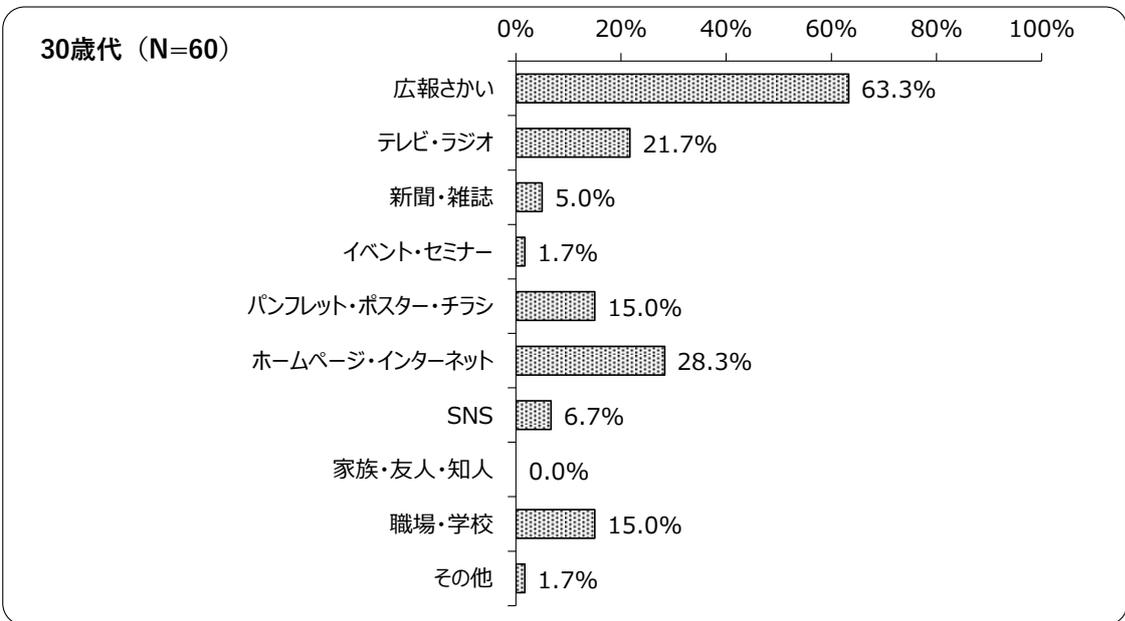
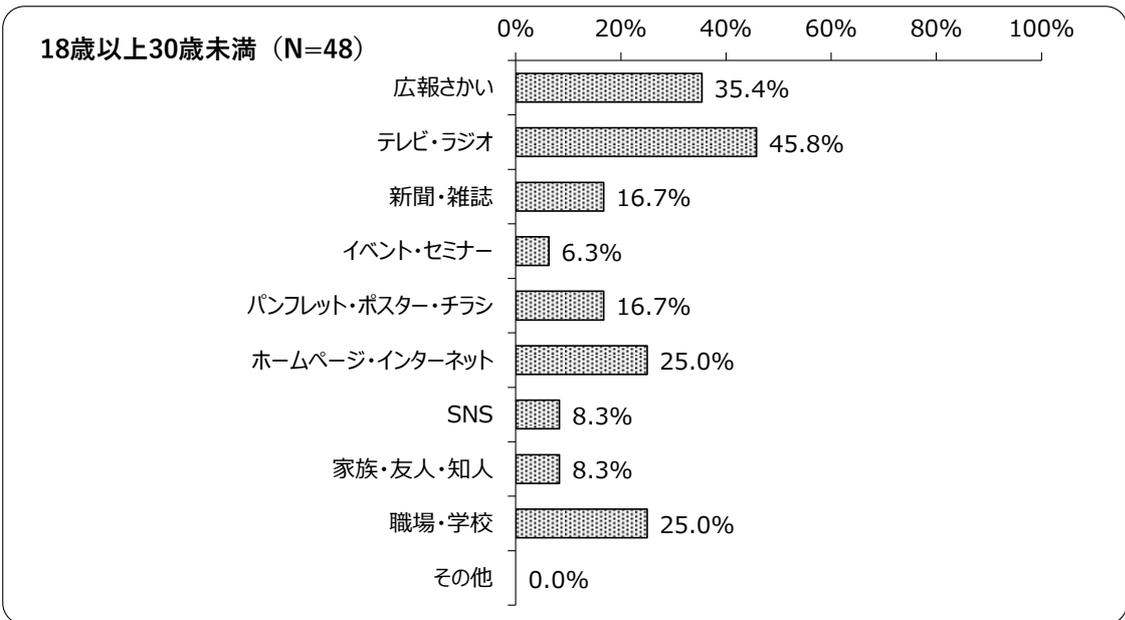
[10 その他]

【主な回答】

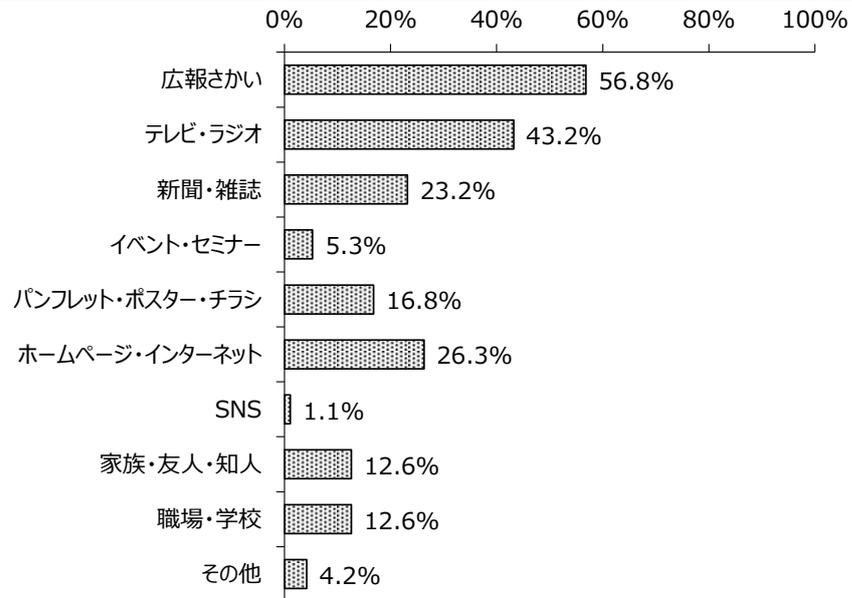
- 医療機関



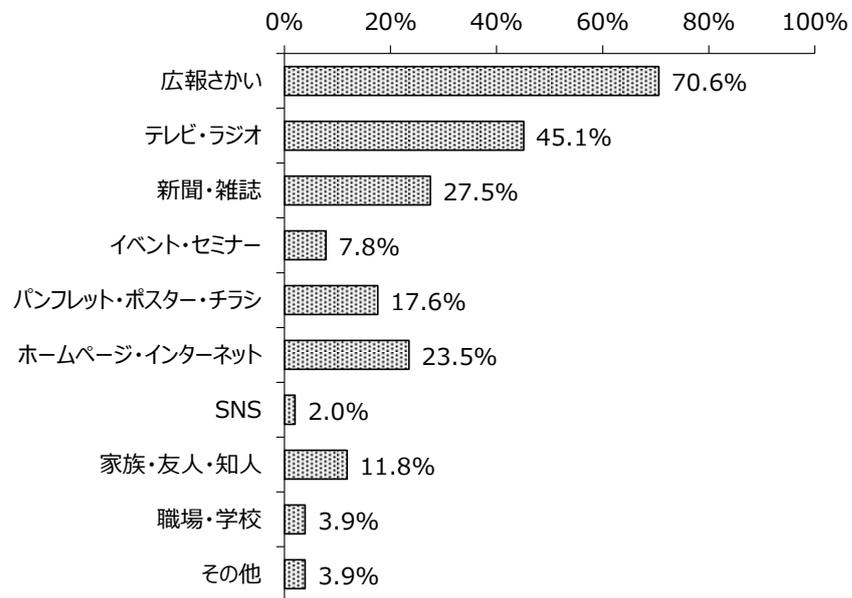
《年齢別》



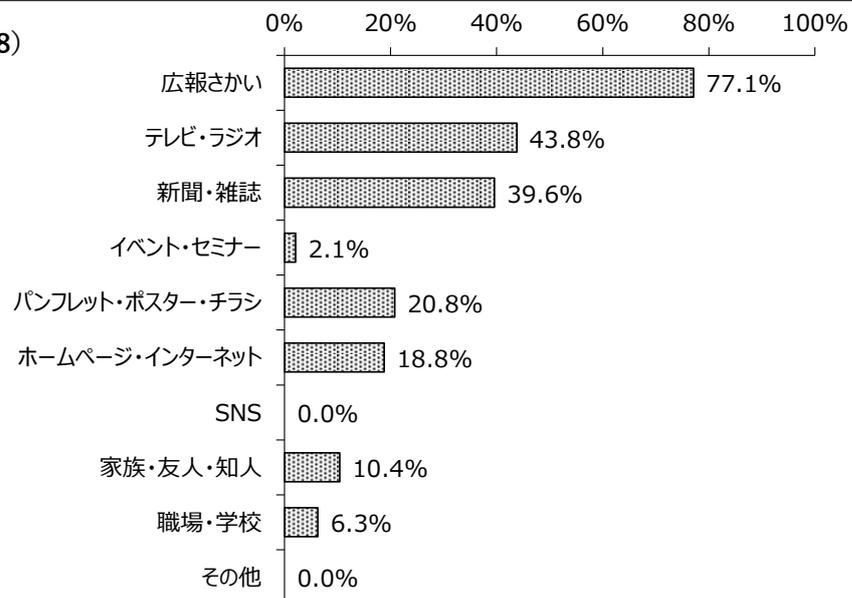
50歳代 (N=95)



60歳代 (N=51)



70歳以上 (N=48)



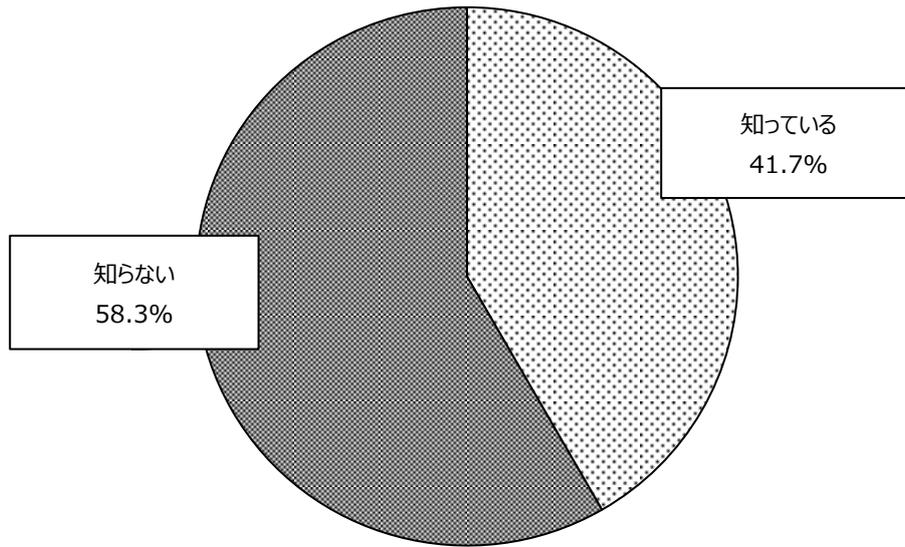
(3) 「相談機関一覧」について

問 46. 本市がホームページなどに掲載している「相談機関一覧」を知っていますか。

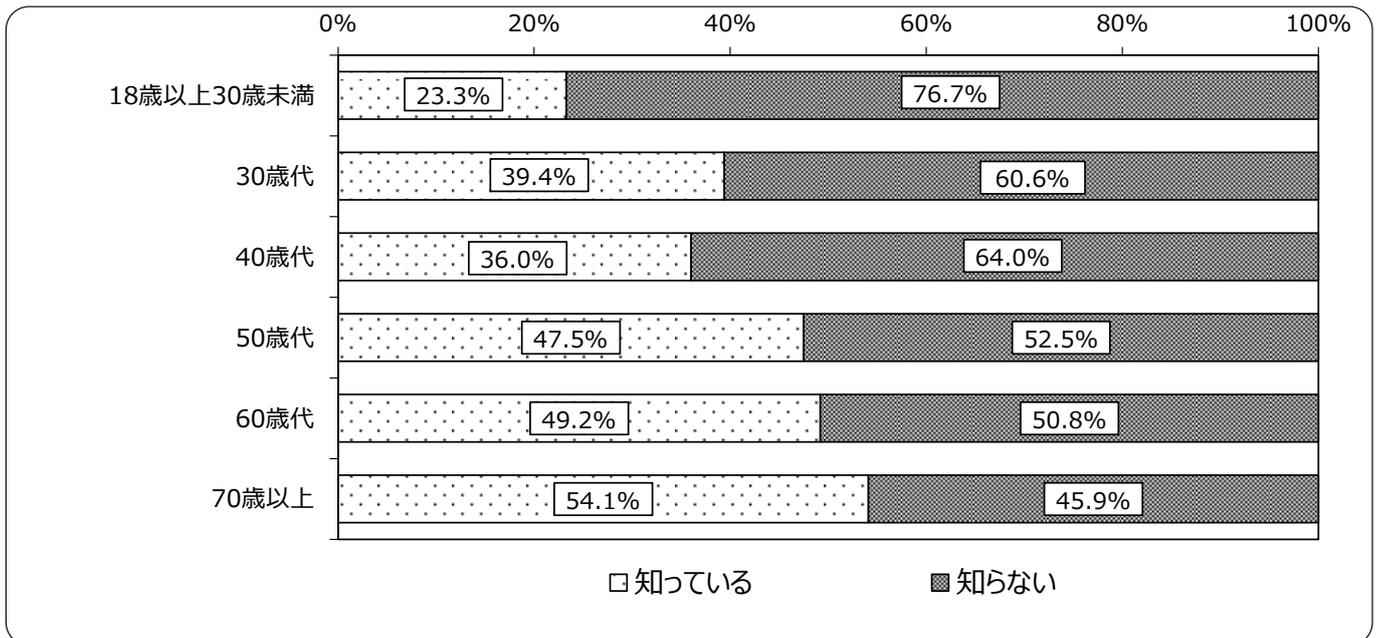
【1つ選択】

「知っている」と回答した方の割合は70歳以上で一番多く、18歳以上30歳未満で一番少なかった。

| | 選択項目 (N=482) | 回答数 | 構成比 |
|---|--------------|-----|--------|
| 1 | 知っている | 201 | 41.7% |
| 2 | 知らない | 281 | 58.3% |
| | 計 (回答総数) | 482 | 100.0% |



《年齢別》



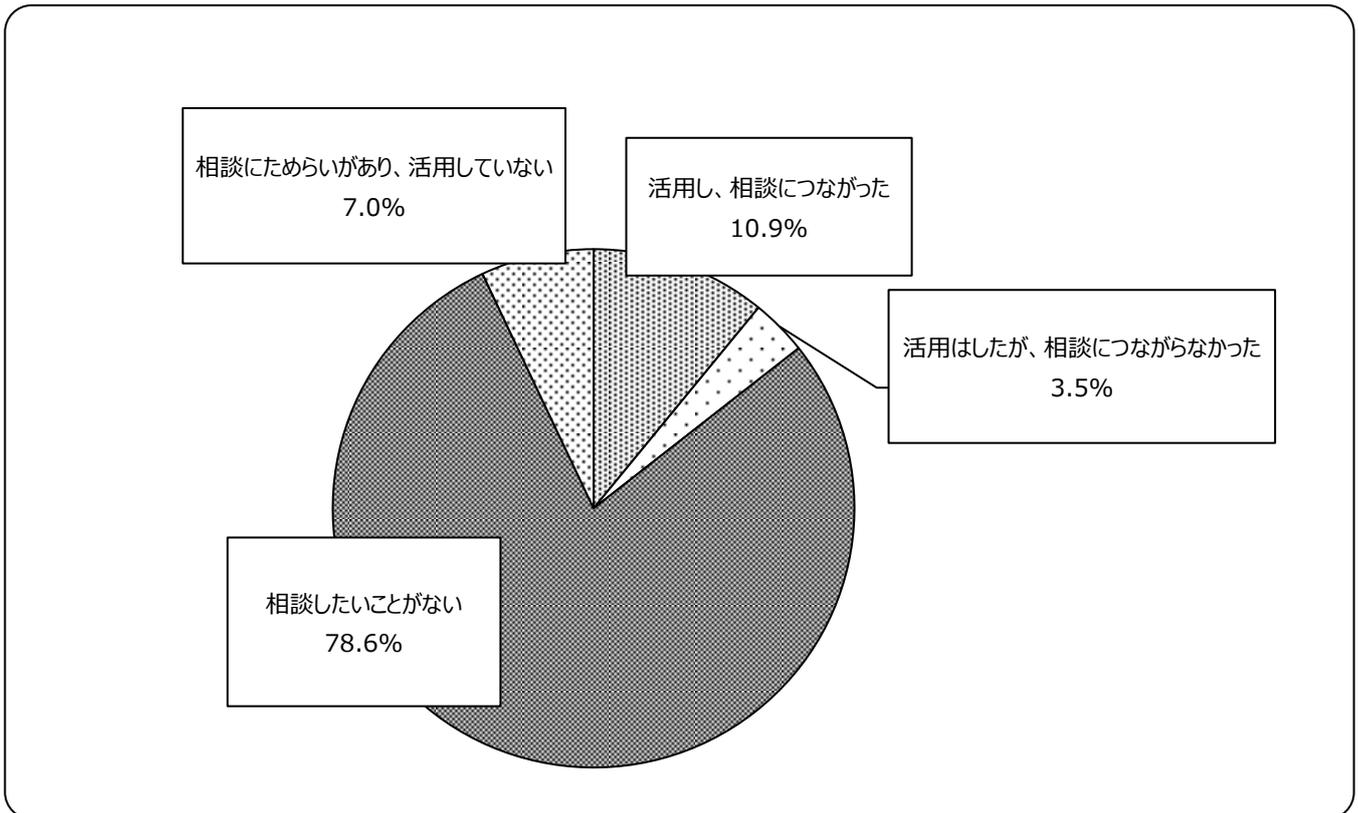
問 47. 問 46 で「1 知っている」と回答された方にお伺います。

「相談機関一覧」を活用して相談につながったことがありますか。

【1 つ選択】

「活用し、相談につながった」が 10.9%だった。（令和 4 年度 18.3%）

| | 選択項目 (N=201) | 回答数 | 構成比 |
|---|--------------------|-----|--------|
| 1 | 活用し、相談につながった | 22 | 10.9% |
| 2 | 活用はしたが、相談につながらなかった | 7 | 3.5% |
| 3 | 相談したいことがない | 158 | 78.6% |
| 4 | 相談にためらいがあり、活用していない | 14 | 7.0% |
| | 計 (回答総数) | 201 | 100.0% |



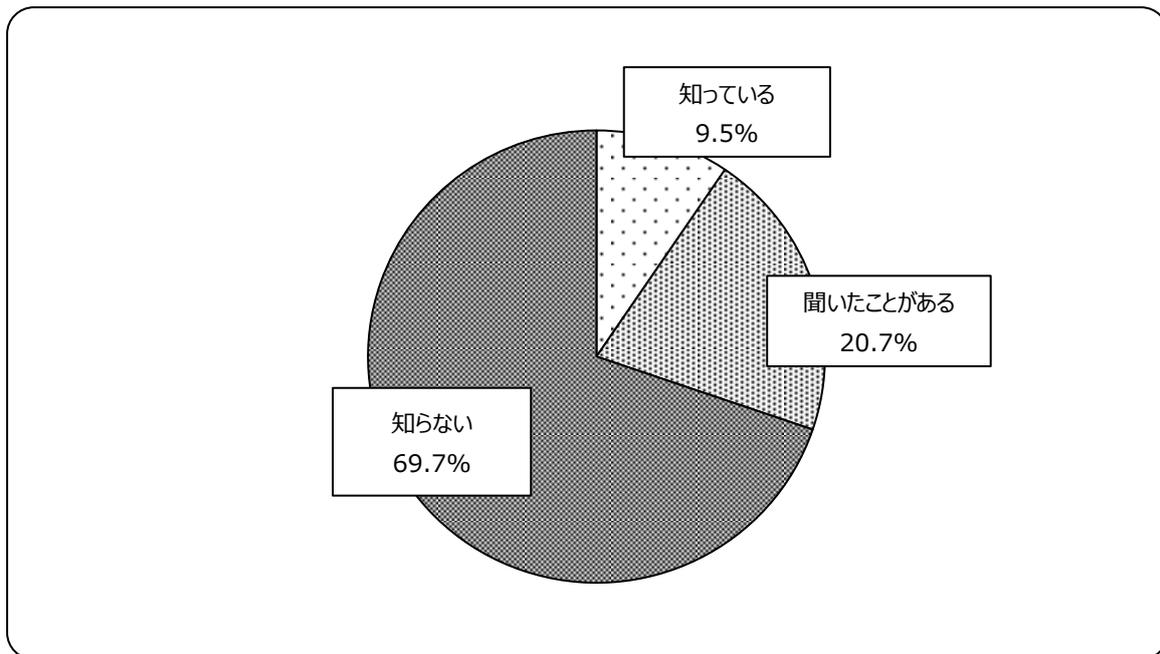
(4) ゲートキーパー※について

問 48. 自殺対策における「ゲートキーパー」を知っていますか。

※「ゲートキーパー」とは、悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聴いて、必要な支援につなげ、見守る人です。様々な問題に悩み自殺に考えが及んでしまう時、誰にも相談できず、一人で悩んでいたります。身近な人のちょっとした関わりがとても助けになります。 【1つ選択】

「知らない」と回答した方は 69.7%であり、令和 4 年度の 75.1%から減少した。

| | 選択項目 (N=482) | 回答数 | 構成比 |
|---|--------------|-----|--------|
| 1 | 知っている | 46 | 9.5% |
| 2 | 聞いたことがある | 100 | 20.7% |
| 3 | 知らない | 336 | 69.7% |
| | 計 (回答総数) | 482 | 100.0% |

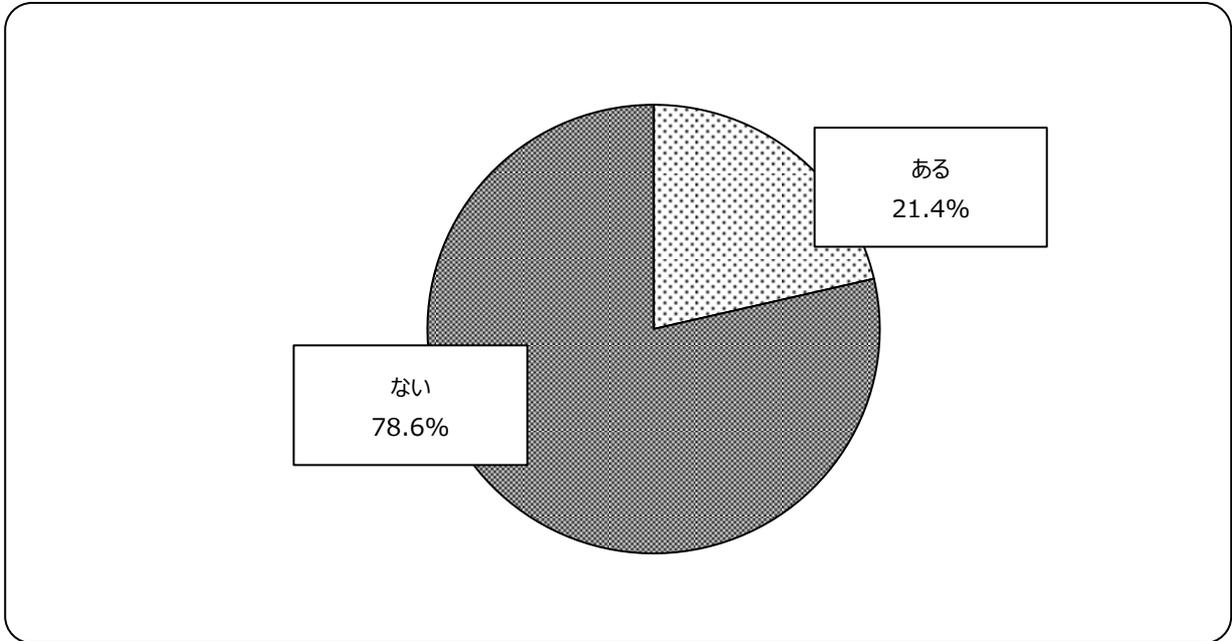


問 49. 今まで周りから「死にたい」と打ち明けられたことがありますか。

【1つ選択】

「ある」と回答した方は 21.4%であった。(令和4年度 24.1%)

| | 選択項目 (N=482) | 回答数 | 構成比 |
|---|--------------|-----|--------|
| 1 | ある | 103 | 21.4% |
| 2 | ない | 379 | 78.6% |
| | 計 (回答総数) | 482 | 100.0% |



問 50. もしも身近な人から「死にたい」と打ち明けられたら、まずどのような対応をしますか。【複数選択可：いくつでも】

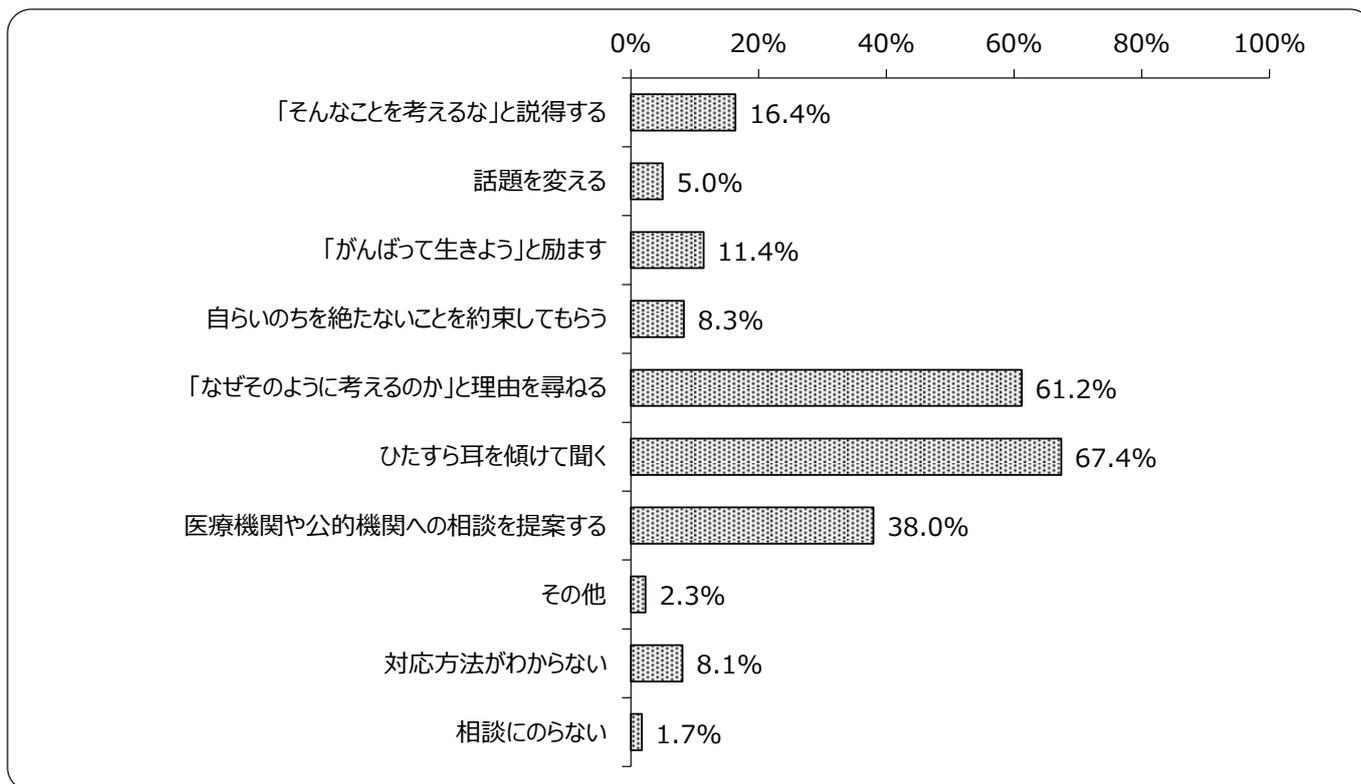
「そんなことを考えるな」と説得する」「話題を変える」「がんばって生きよう」と励ます」の各項目は令和4年度と同様に1割程度の回答があった。

| | 選択項目 (N=482) | 回答数 | 回答数/N |
|----|-----------------------|-----|-------|
| 1 | 「そんなことを考えるな」と説得する | 79 | 16.4% |
| 2 | 話題を変える | 24 | 5.0% |
| 3 | 「がんばって生きよう」と励ます | 55 | 11.4% |
| 4 | 自らののちを絶たないことを約束してもらう | 40 | 8.3% |
| 5 | 「なぜそのように考えるのか」と理由を尋ねる | 295 | 61.2% |
| 6 | ひたすら耳を傾けて聞く | 325 | 67.4% |
| 7 | 医療機関や公的機関への相談を提案する | 183 | 38.0% |
| 8 | その他 | 11 | 2.3% |
| 9 | 対応方法がわからない | 39 | 8.1% |
| 10 | 相談にのらない | 8 | 1.7% |

[8 その他]

【主な回答】

- 定期的に声をかけて、関わりをもつ。
- 解決方法を思いつく限り考える。
- 好きそうな所に連れて行く。
- 一人ぼっちじゃないことを伝える。



依存症対策について

(1) 依存症に関する理解について

問 51. 依存症は、社会的に偏見や誤解があると言われてています。依存症に対し、どのようなイメージ（考え）をお持ちですか。 【複数選択可：いくつでも】

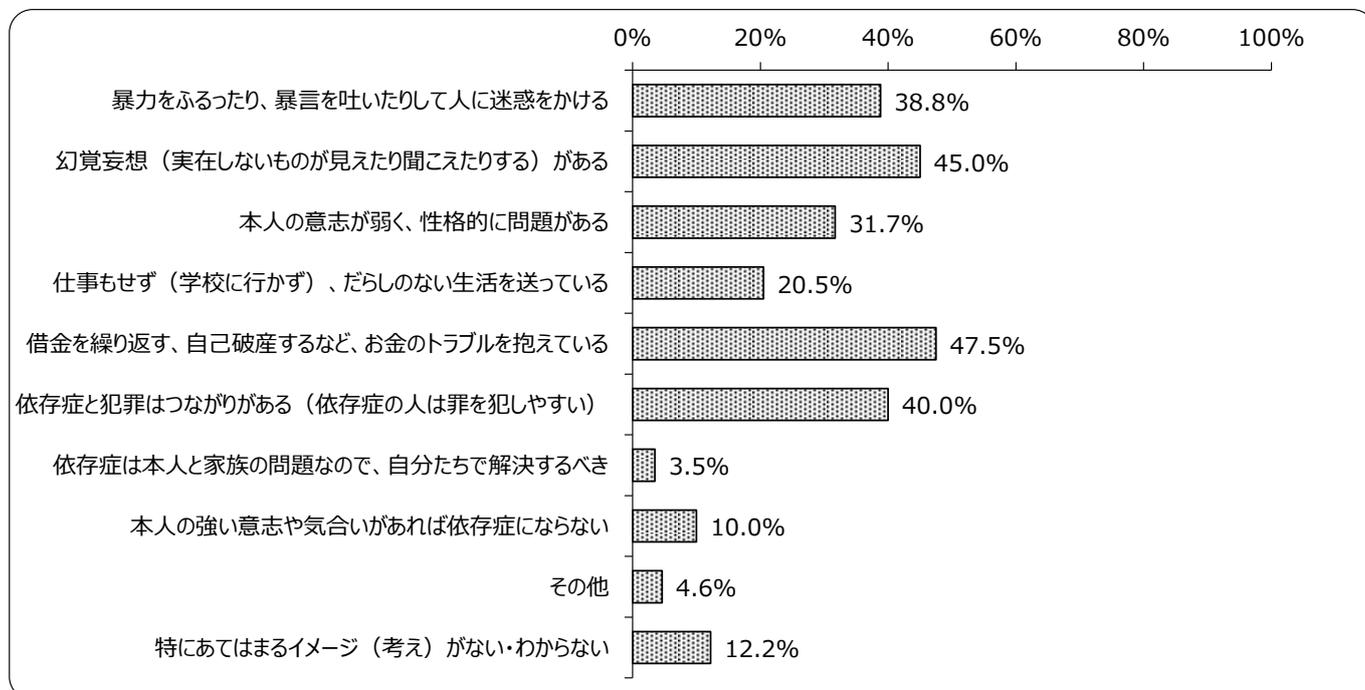
「特にあてはまるイメージ（考え）がない・わからない」と回答した方の割合は 70 歳以上で一番多く、18 歳以上 30 歳未満で一番少なかった。

| | 選択項目 (N=482) | 回答数 | 回答数/N |
|----|--------------------------------|-----|-------|
| 1 | 暴力をふるったり、暴言を吐いたりして人に迷惑をかける | 187 | 38.8% |
| 2 | 幻覚妄想（実在しないものが見えたり聞こえたりする）がある | 217 | 45.0% |
| 3 | 本人の意志が弱く、性格的に問題がある | 153 | 31.7% |
| 4 | 仕事もせず（学校に行かず）、だらしない生活を送っている | 99 | 20.5% |
| 5 | 借金を繰り返す、自己破産するなど、お金のトラブルを抱えている | 229 | 47.5% |
| 6 | 依存症と犯罪はつながりがある（依存症の人は罪を犯しやすい） | 193 | 40.0% |
| 7 | 依存症は本人と家族の問題なので、自分たちで解決するべき | 17 | 3.5% |
| 8 | 本人の強い意志や気合いがあれば依存症にならない | 48 | 10.0% |
| 9 | その他 | 22 | 4.6% |
| 10 | 特にあてはまるイメージ（考え）がない・わからない | 59 | 12.2% |

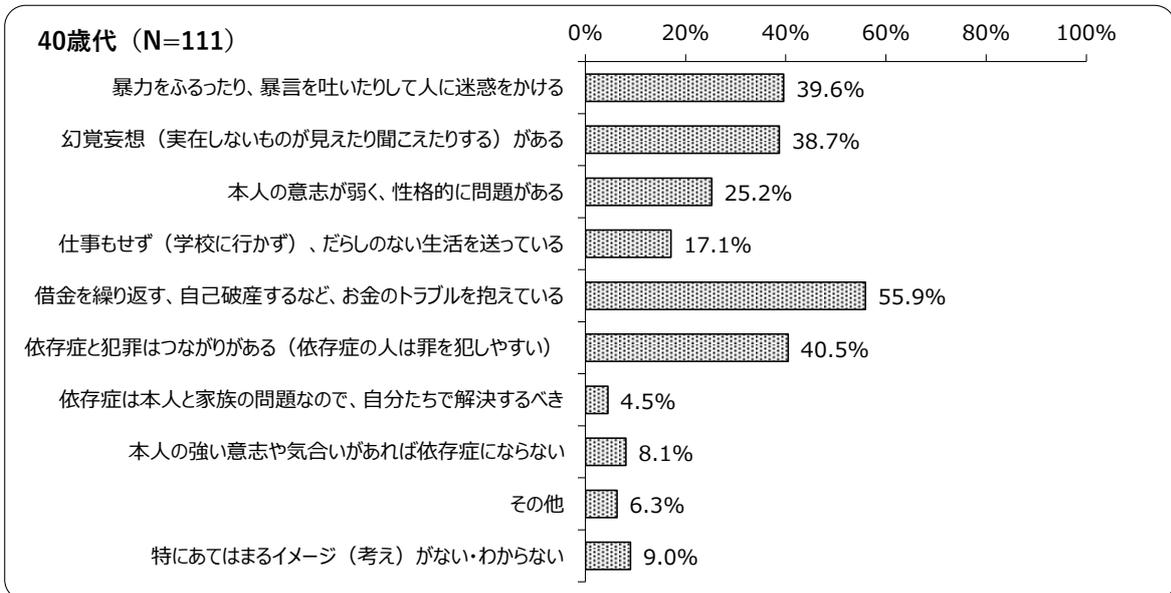
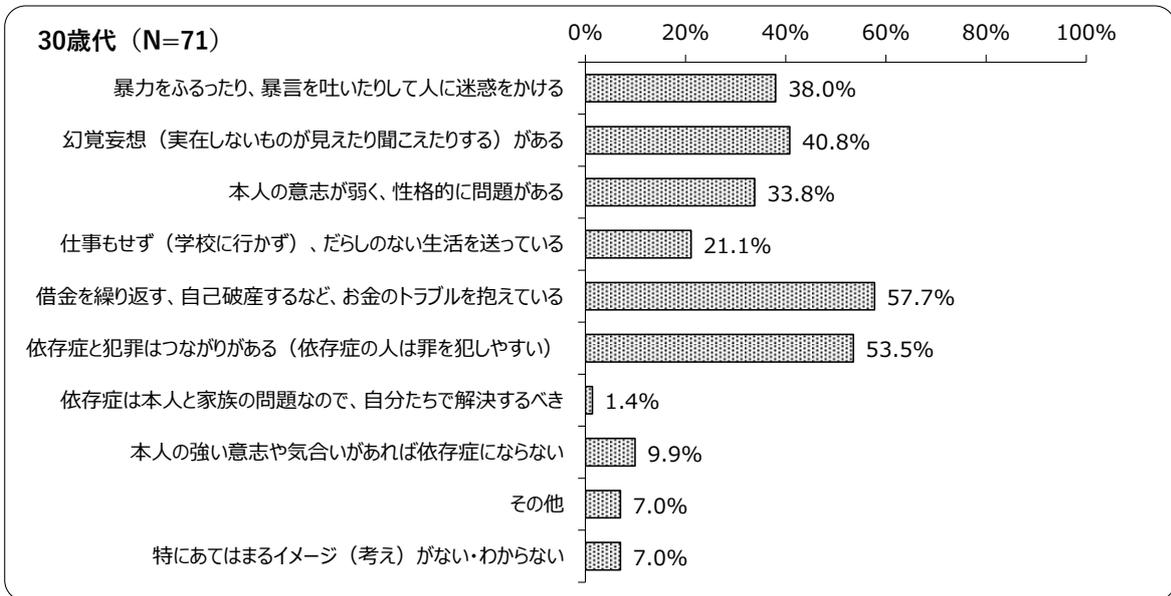
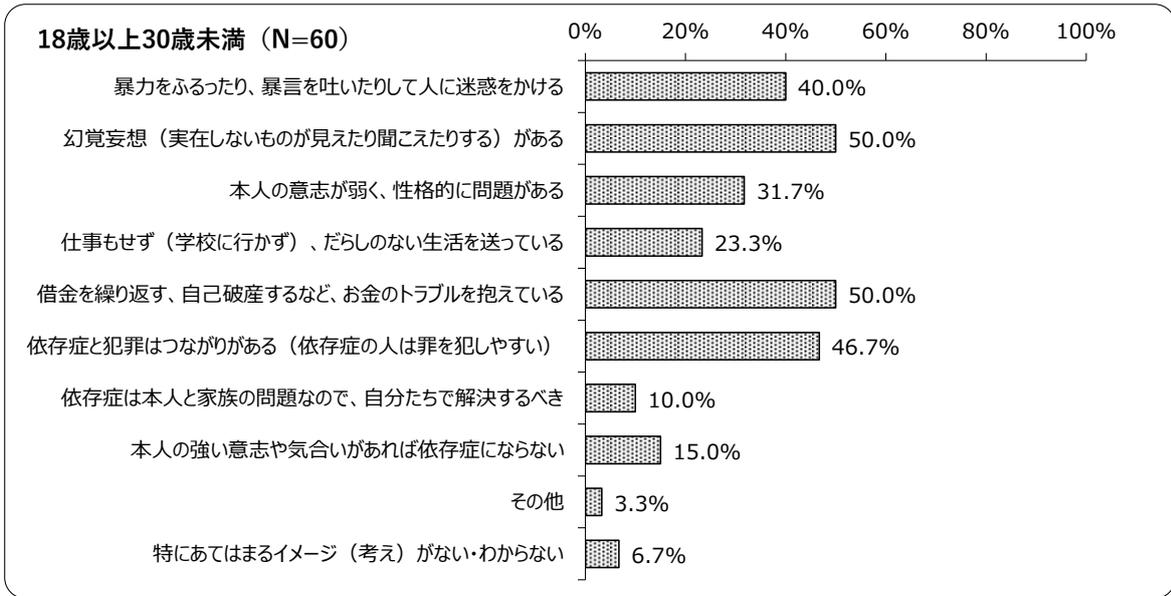
[9 その他]

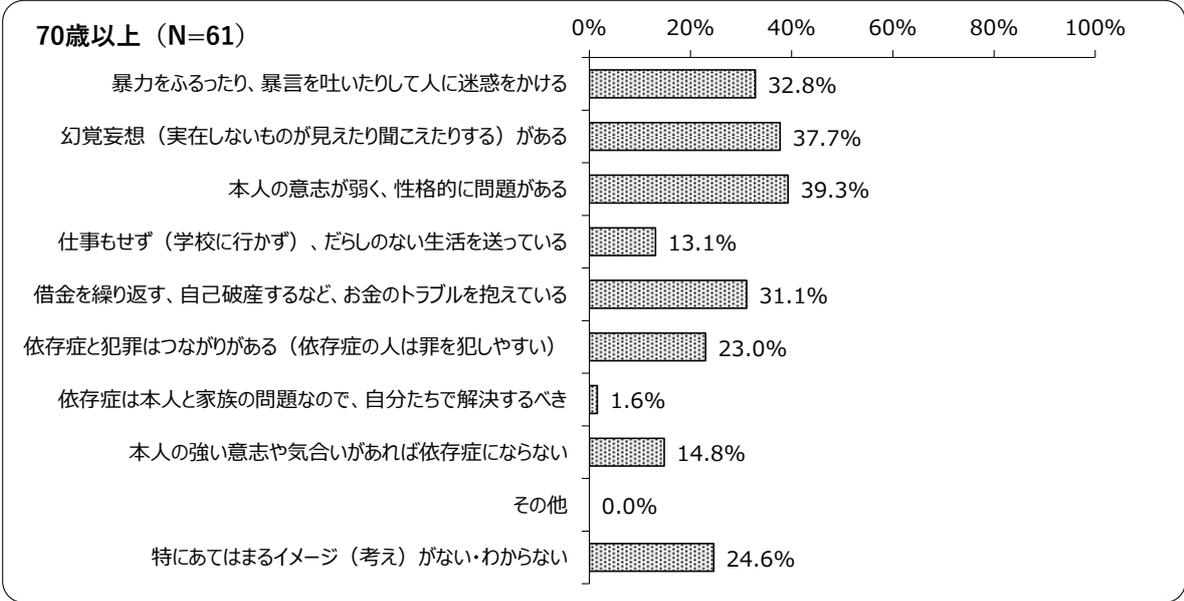
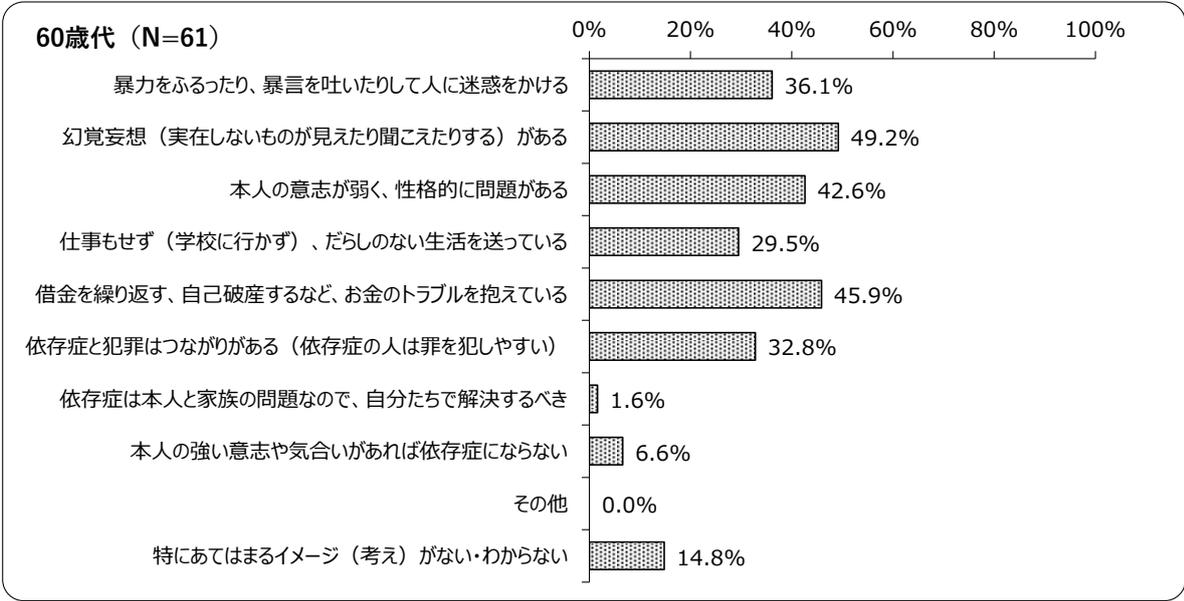
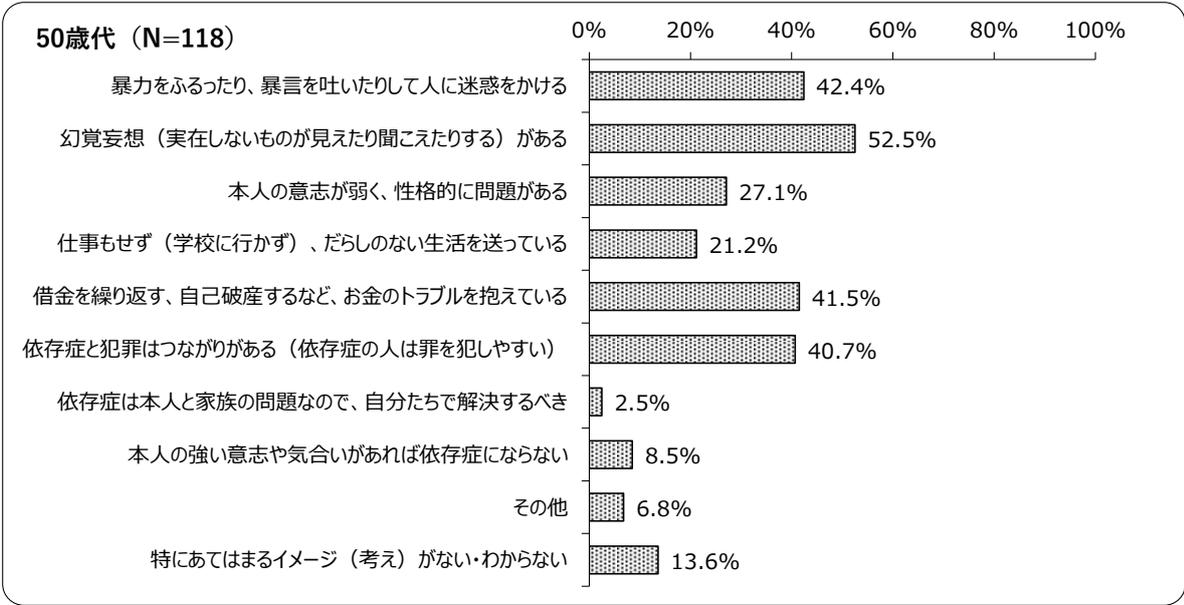
【主な回答】

- 家庭環境に問題を抱えている。
- 心の病気、専門医が必要
- 悩みを抱えている。
- 誰でもなりうる病気で、自分自身でコントロールできない。



《年齢別》





問 52. 依存症について、次のうち知っているものをお答えください。

【複数選択可：いくつでも】

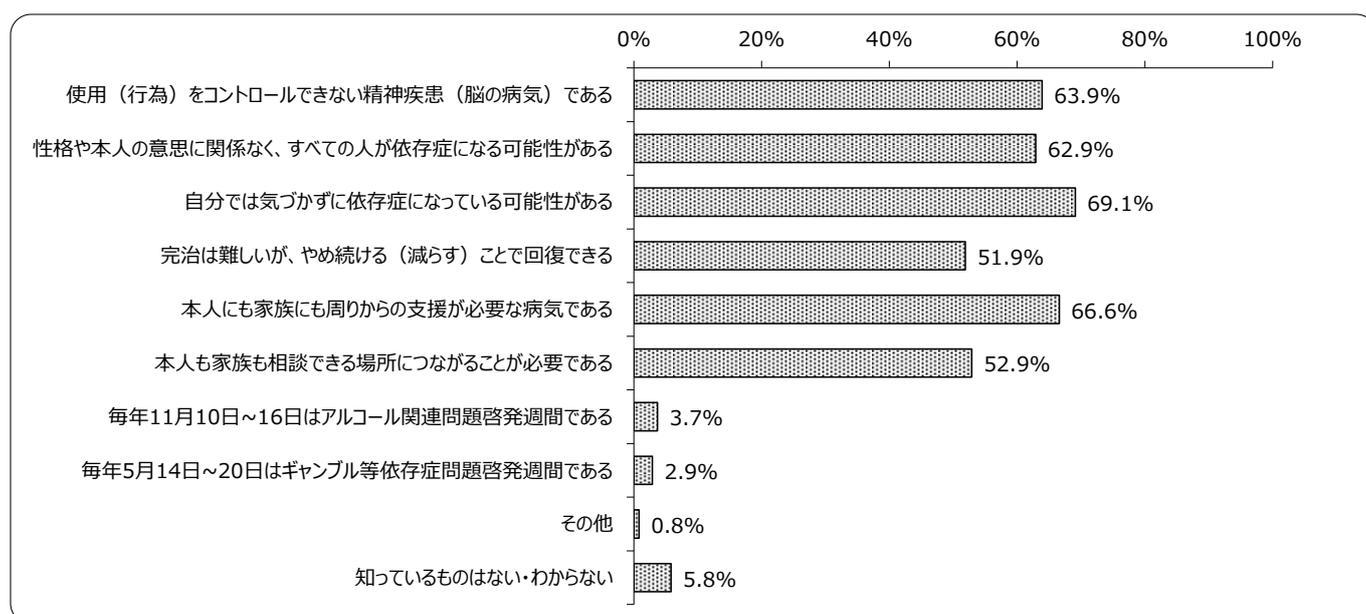
「知っているものはない・わからない」と回答した方は 5.8%であり、令和 4 年度の 8.1%から減少した。

| | 選択項目 (N=482) | 回答数 | 回答数/N |
|----|----------------------------------|-----|-------|
| 1 | 使用（行為）をコントロールできない精神疾患（脳の病気）である | 308 | 63.9% |
| 2 | 性格や本人の意思に関係なく、すべての人が依存症になる可能性がある | 303 | 62.9% |
| 3 | 自分では気づかずに依存症になっている可能性がある | 333 | 69.1% |
| 4 | 完治は難しいが、やめ続ける（減らす）ことで回復できる | 250 | 51.9% |
| 5 | 本人にも家族にも周りからの支援が必要な病気である | 321 | 66.6% |
| 6 | 本人も家族も相談できる場所につながる必要がある | 255 | 52.9% |
| 7 | 毎年11月10日～16日はアルコール関連問題啓発週間である | 18 | 3.7% |
| 8 | 毎年5月14日～20日はギャンブル等依存症問題啓発週間である | 14 | 2.9% |
| 9 | その他 | 4 | 0.8% |
| 10 | 知っているものはない・わからない | 28 | 5.8% |

[9 その他]

【主な回答】

- 根気強く取り組みばだいたい克服できる。
- 自分で突然気づいて辞められることもある。
- 周りの偏見が大きいと、本人や家族の負担が大きく、そこに対する理解を深める情報発信がまず必要だと感じる。



(2) 依存症対策に関する相談窓口及び支援機関の認知度について

問 53. 依存症について、本人や家族が相談できる場所（相談機関）として次のうち知っているものをお答えください。
【複数選択可：いくつでも】

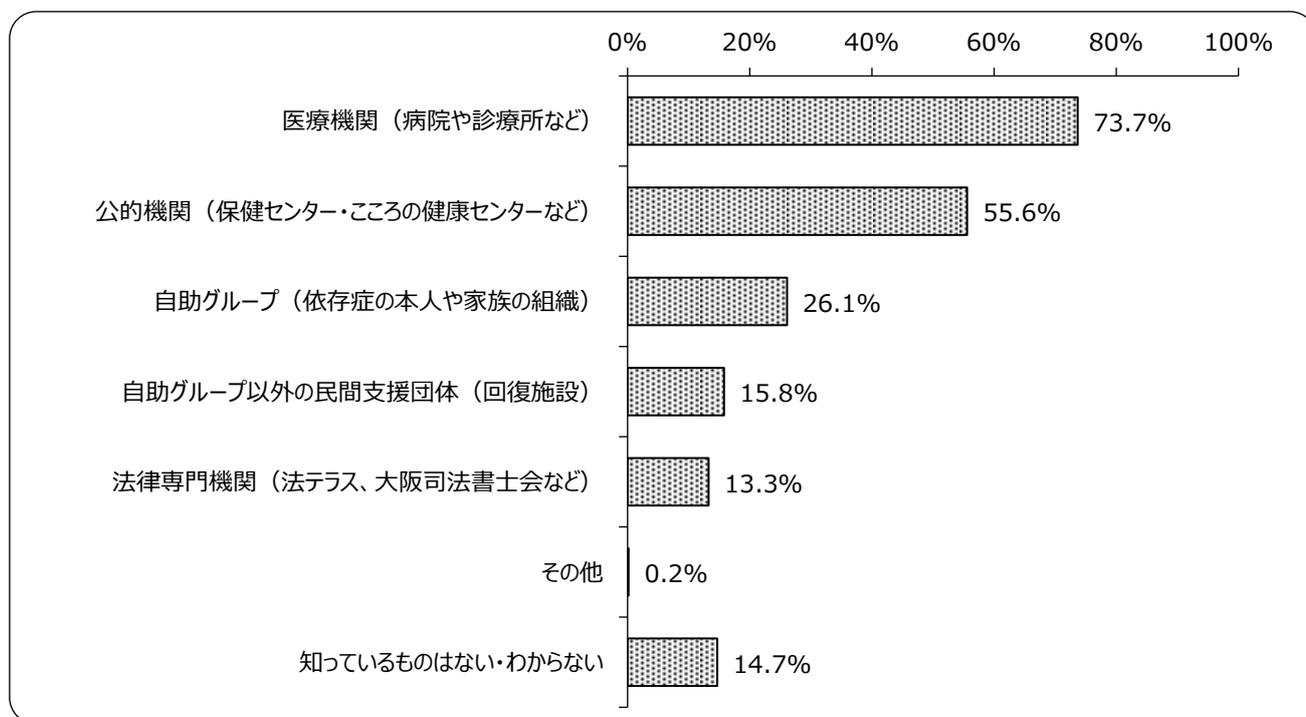
「知っているものはない・わからない」と回答した方は 14.7%であり、令和 4 年度の 22.6%から減少した。

| | 選択項目 (N=482) | 回答数 | 回答数/N |
|---|---------------------------|-----|-------|
| 1 | 医療機関（病院や診療所など） | 355 | 73.7% |
| 2 | 公的機関（保健センター・こころの健康センターなど） | 268 | 55.6% |
| 3 | 自助グループ（依存症の本人や家族の組織） | 126 | 26.1% |
| 4 | 自助グループ以外の民間支援団体（回復施設） | 76 | 15.8% |
| 5 | 法律専門機関（法テラス、大阪司法書士会など） | 64 | 13.3% |
| 6 | その他 | 1 | 0.2% |
| 7 | 知っているものはない・わからない | 71 | 14.7% |

[6 その他]

【主な回答】

- 友人・知人



問 54. 問 53 で 1～6 と回答された方に伺います。

あなたが依存症の相談機関を知ったきっかけについて、あてはまるものをお答えください。

【複数選択可：いくつでも】

「広報さかい」と回答した方の割合は 60 歳代で一番多く、18 歳以上 30 歳未満で一番少なかった。

「SNS」と回答した方の割合は 18 歳以上 30 歳未満で一番多く、70 歳以上は 0 人であった。

| | 選択項目 (N=411) | 回答数 | 回答数/N |
|----|-----------------|-----|-------|
| 1 | 広報さかい | 170 | 41.4% |
| 2 | テレビ・ラジオ | 207 | 50.4% |
| 3 | 新聞・雑誌 | 93 | 22.6% |
| 4 | イベント・セミナー | 33 | 8.0% |
| 5 | パンフレット・ポスター・チラシ | 62 | 15.1% |
| 6 | ホームページ・インターネット | 122 | 29.7% |
| 7 | SNS | 15 | 3.6% |
| 8 | 家族・友人・知人 | 50 | 12.2% |
| 9 | 職場・学校 | 46 | 11.2% |
| 10 | その他 | 15 | 3.6% |

[7 SNS 具体的に]

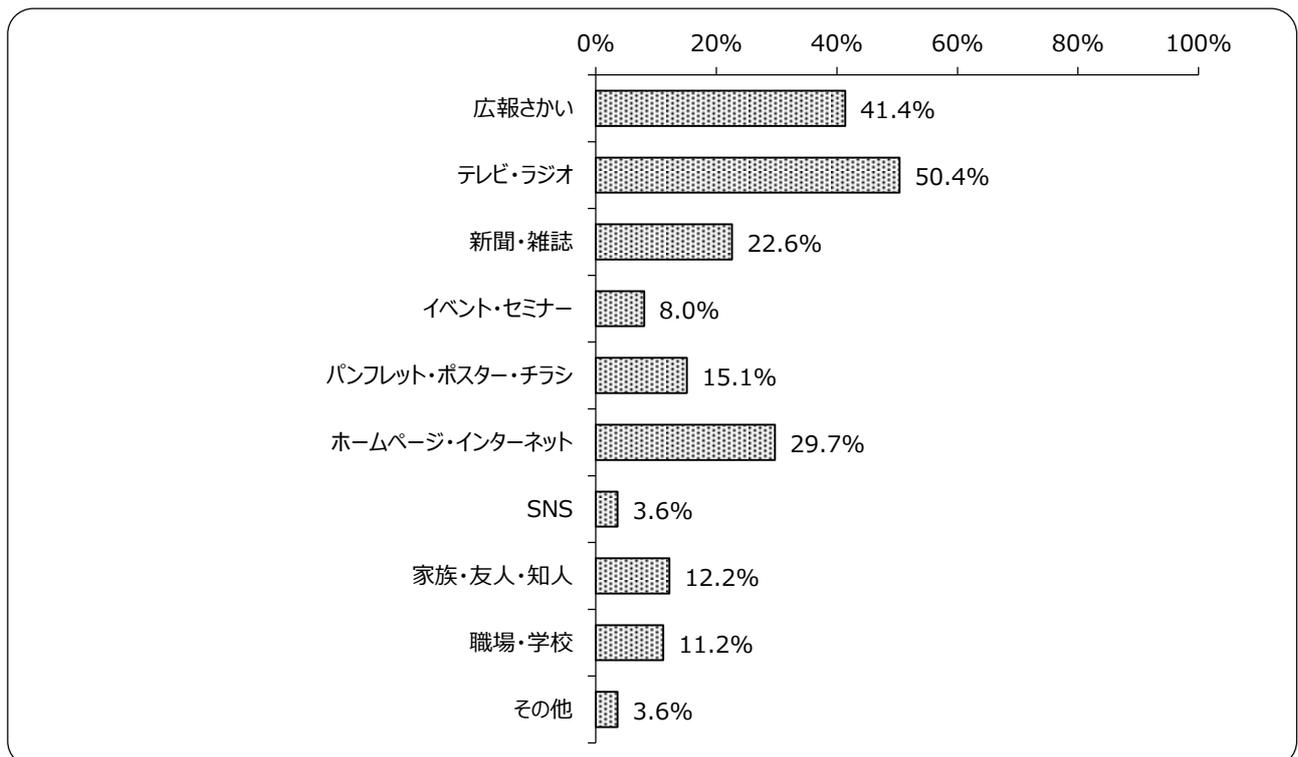
【主な回答】

- LINE
- X (旧 Twitter)
- Facebook

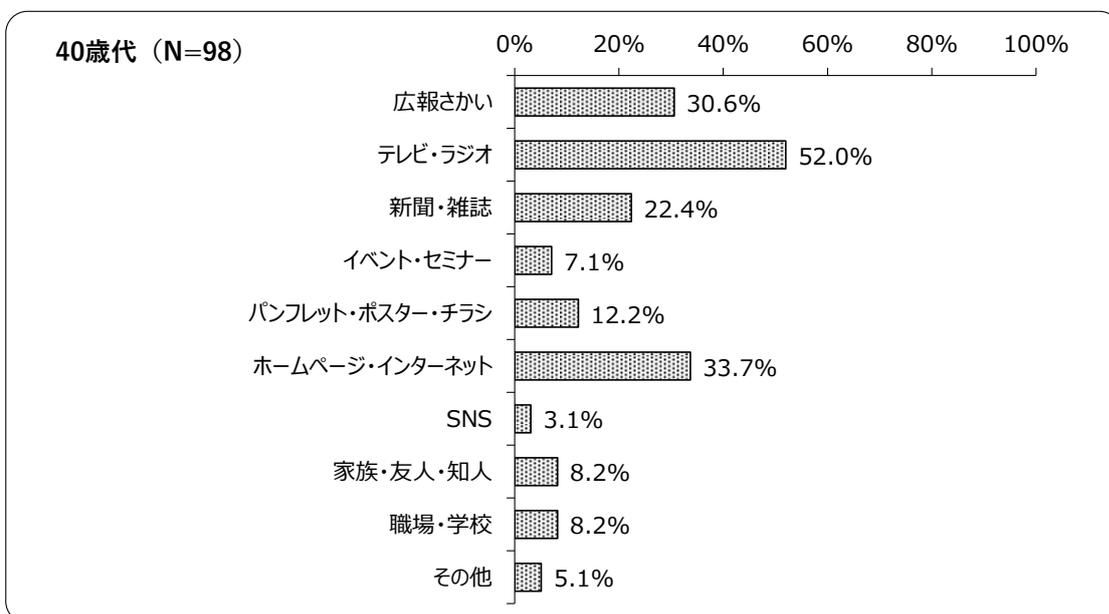
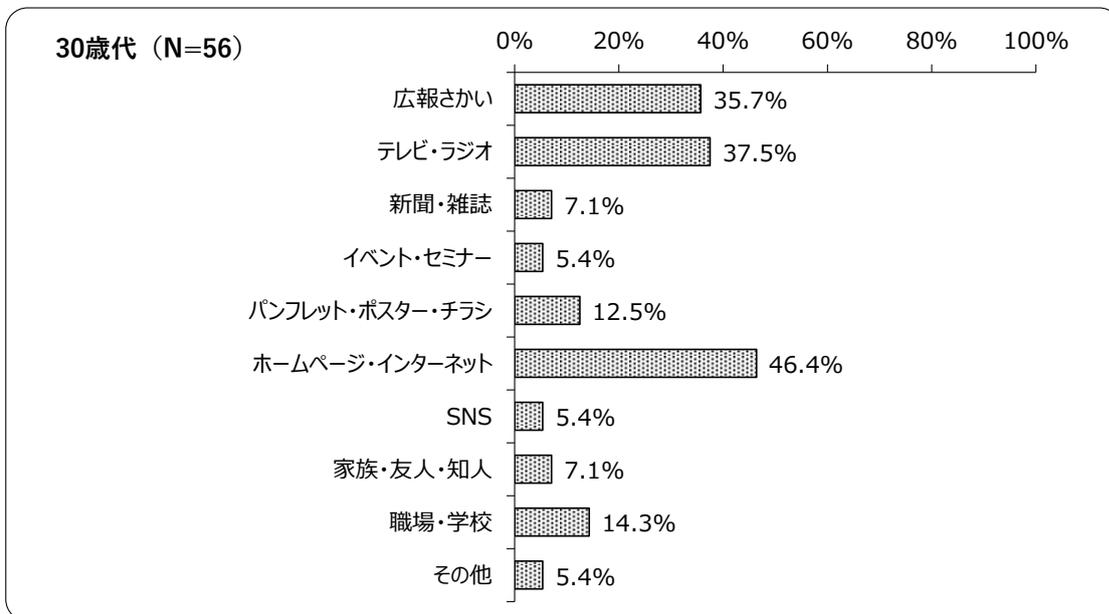
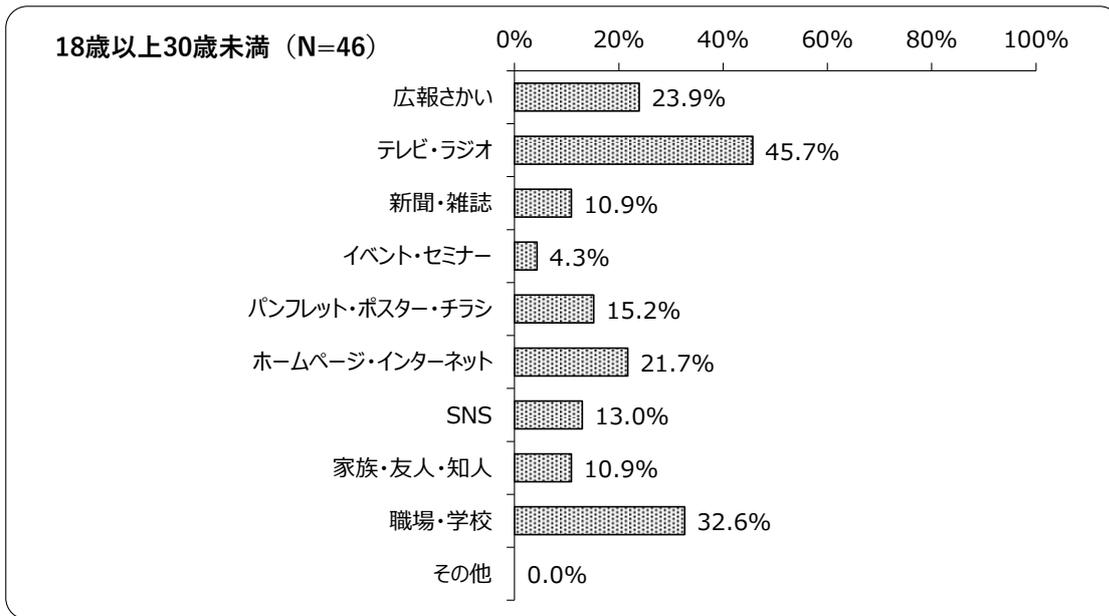
[10 その他]

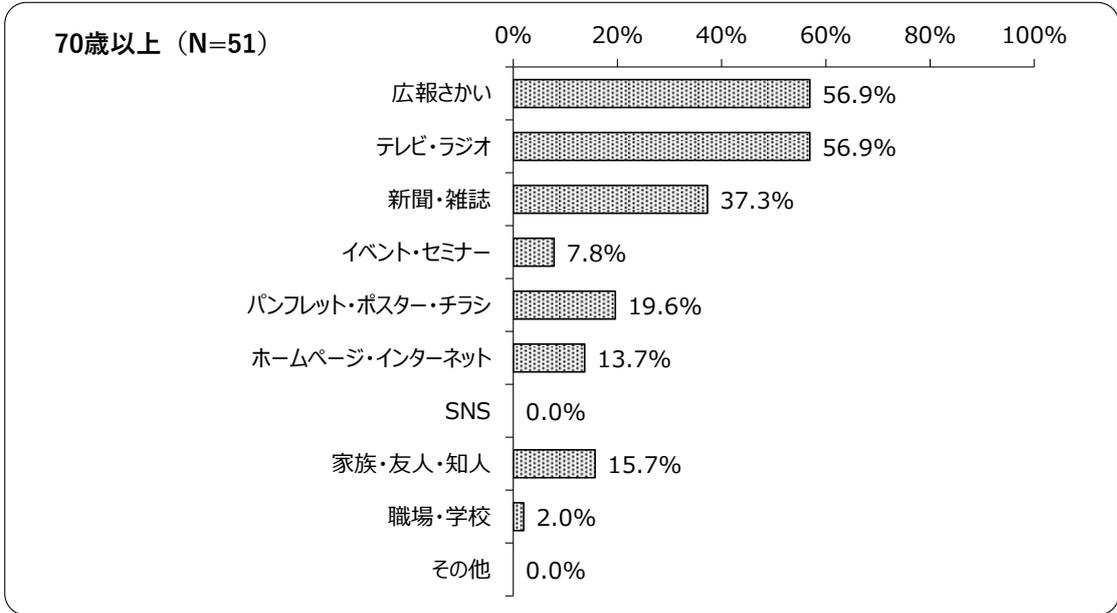
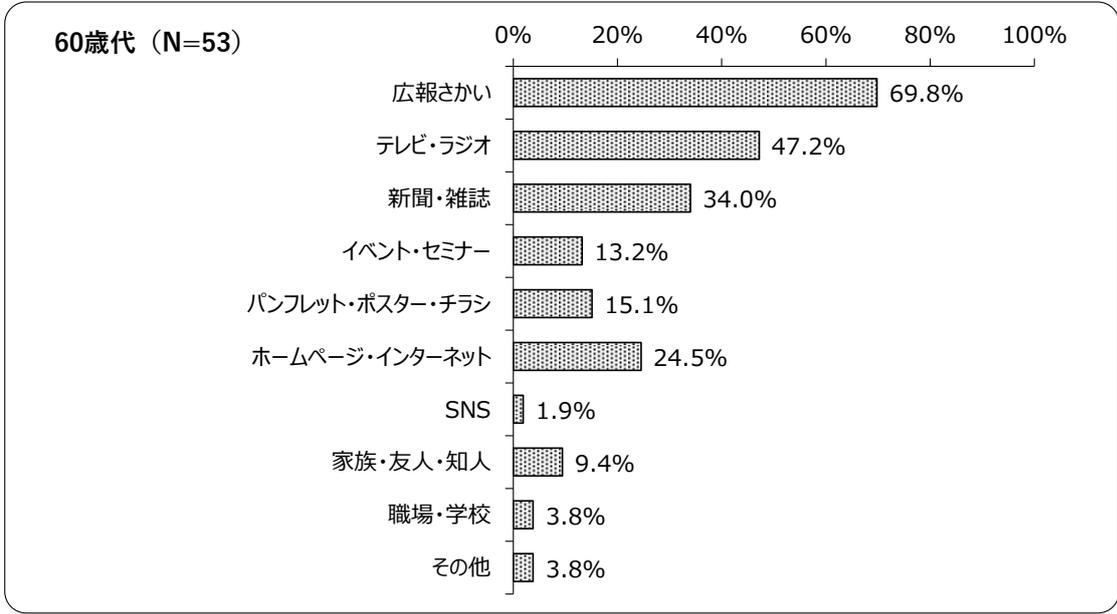
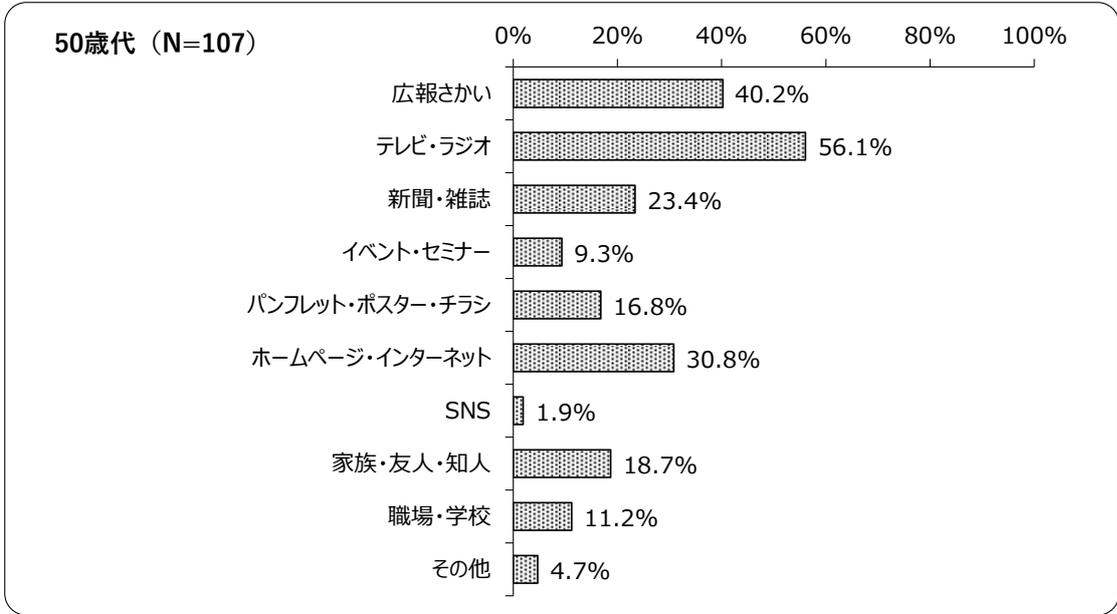
【主な回答】

- 医療機関
- 書籍、漫画
- テレビ
- 学校教育



《年齢別》





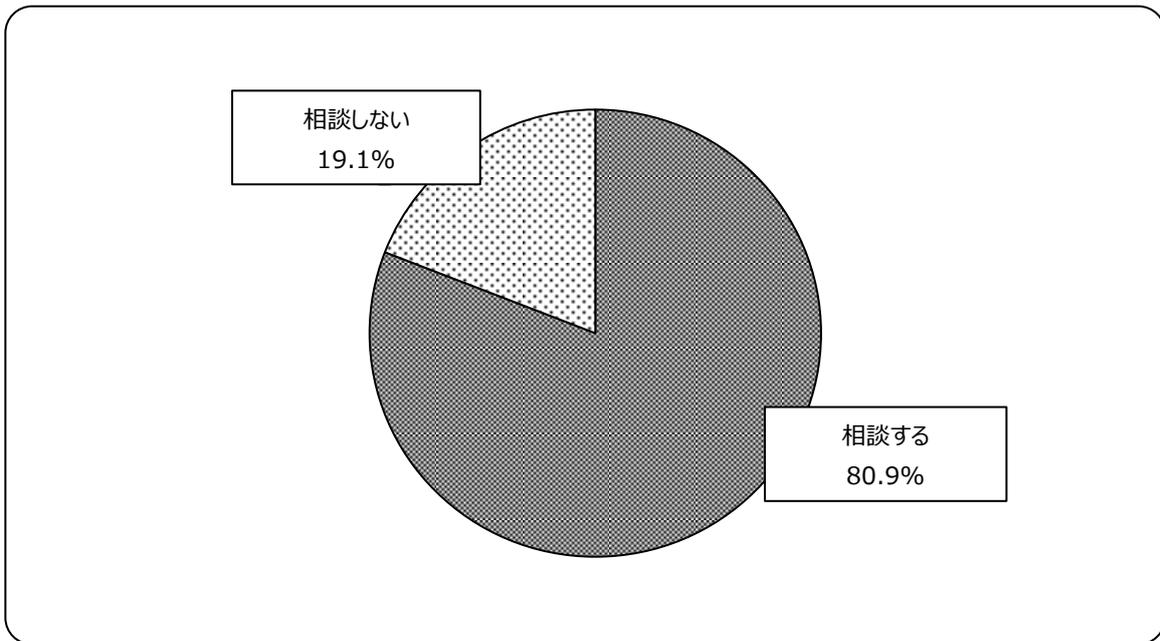
問 55. あなたやあなたの家族が依存症かもしれないと思ったとき、相談機関を知っていたら相談しますか。

【1つ選択】

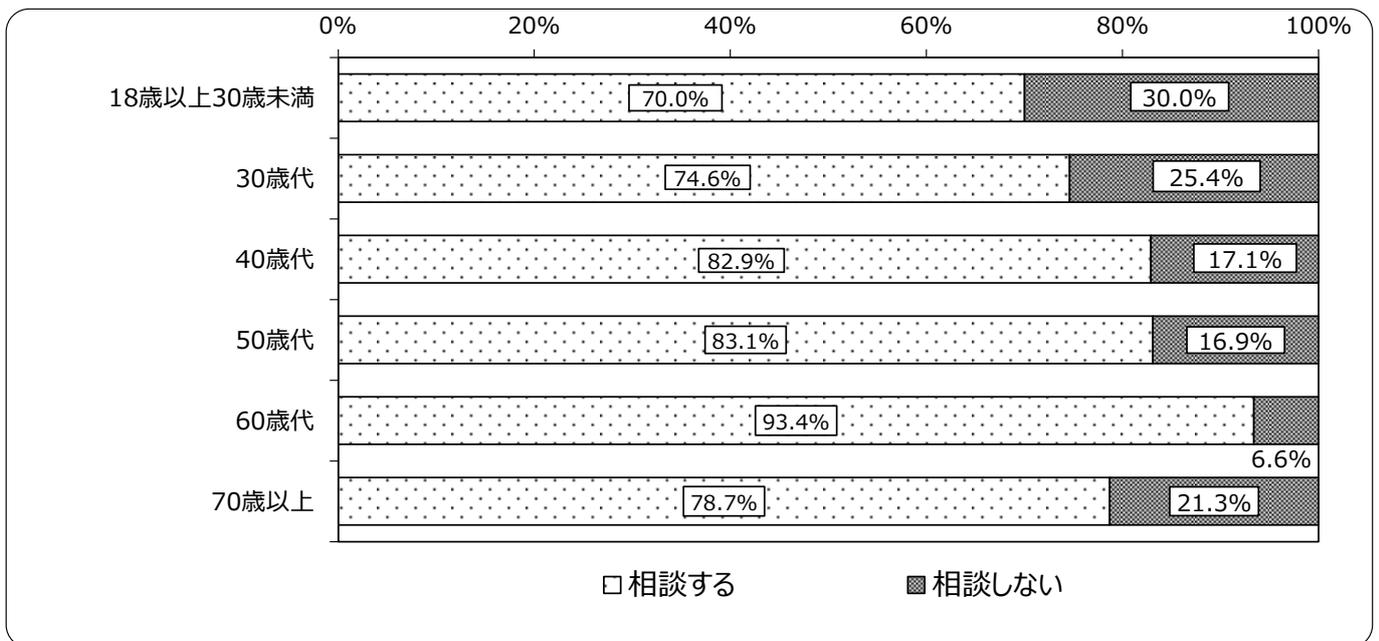
「相談する」と回答した方は 80.9%であり、令和 4 年度の 89.0%から減少した。

「相談しない」と回答した方の割合は 18 歳以上 30 歳未満で一番多く、次いで 30 歳代が多かった。

| | 選択項目 (N=482) | 回答数 | 構成比 |
|---|--------------|-----|--------|
| 1 | 相談する | 390 | 80.9% |
| 2 | 相談しない | 92 | 19.1% |
| | 計 (回答総数) | 482 | 100.0% |



《年齢別》



問 56. 問 55 で「2 相談しない」と回答された方に伺います。

相談しない理由にあてはまるものをお答えください。

【複数選択可：いくつでも】

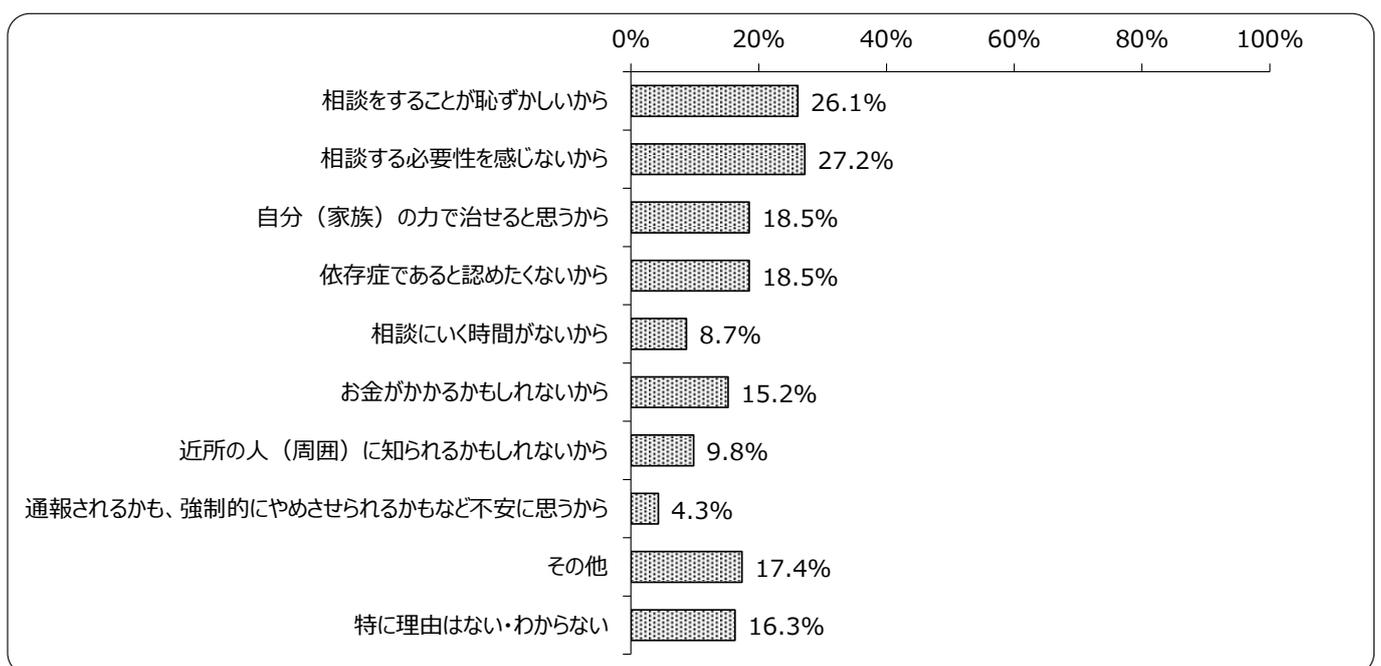
「相談する必要性を感じないから」と回答した方は 27.2%と一番多く、令和 4 年度の 15.1%から増加した。

| | 選択項目 (N=92) | 回答数 | 回答数/N |
|----|--------------------------------|-----|-------|
| 1 | 相談をすることが恥ずかしいから | 24 | 26.1% |
| 2 | 相談する必要性を感じないから | 25 | 27.2% |
| 3 | 自分（家族）の力で治せると思うから | 17 | 18.5% |
| 4 | 依存症であると認めたくないから | 17 | 18.5% |
| 5 | 相談に行く時間がないから | 8 | 8.7% |
| 6 | お金がかかるかもしれないから | 14 | 15.2% |
| 7 | 近所の人（周囲）に知られるかもしれないから | 9 | 9.8% |
| 8 | 通報されるかも、強制的にやめさせられるかもなど不安に思うから | 4 | 4.3% |
| 9 | その他 | 16 | 17.4% |
| 10 | 特に理由はない・わからない | 15 | 16.3% |

[9 その他]

【主な回答】

- 依存症になっていることに気づかない。
- 本人が自覚しないまま進めても進展しない。
- 相談先を信頼できない、効果が期待できない。



5. 広報活動について

調査結果の概要

| | |
|----------------------|---|
| テーマ | 広報活動について |
| 担当課 | 市長公室 広報戦略部 広報課 |
| 設問数 | 15 問 |
| 趣旨・目的 | <p>本市では、市民に開かれた市政、市民協働による取組を進めるため、様々な広報活動を行っています。現在、「広報さかい」「堺市ホームページ」「堺市くらしのガイドブック」「堺市の公式 SNS」などの各種媒体を使って広報活動を行い、広く市民と行政をつなぐ様々な情報の発信を行っています。</p> <p>今回のアンケートでは、本市の広報活動についての市民の皆様の意識や意見を調査し、今後の広報活動の充実に活用するものです。</p> |
| 調査結果 | 各設問のページをご覧ください。 |
| 調査結果に係る担当課の所見 | <ul style="list-style-type: none"> ・問 57 では、市政情報の入手方法として「広報さかい」、「市ホームページ」が多く使われていました。一方、「LINE」から情報を入手している方の割合が令和 4 年度から減っていました。 堺市 LINE 公式アカウントでは、欲しい項目の情報だけを選択して受け取れる「セグメント配信機能」を実装しています。堺市 LINE 公式アカウントを多くの方に使っただけよう、興味・関心にマッチした情報の発信に向けて、セグメント配信の項目の見直しを行います。 ・問 67 では、市ホームページの「パソコンでの見やすさ」について、「良い」及び「やや良い」と回答した方は合計で 70.3%でした。一方、「スマートフォンでの見やすさ」について、「良い」及び「やや良い」と回答した方は合計で 55.2%でした。このことから、各担当課でのホームページの作成・承認時におけるチェックポイントを庁内周知するなど、スマートフォンでの見やすさを向上させるための取組を行います。 |

(1) 市政情報の入手について

問 57. 堺市政に関する情報を、主にどのような方法で入手していますか。 【複数選択可：いくつでも】

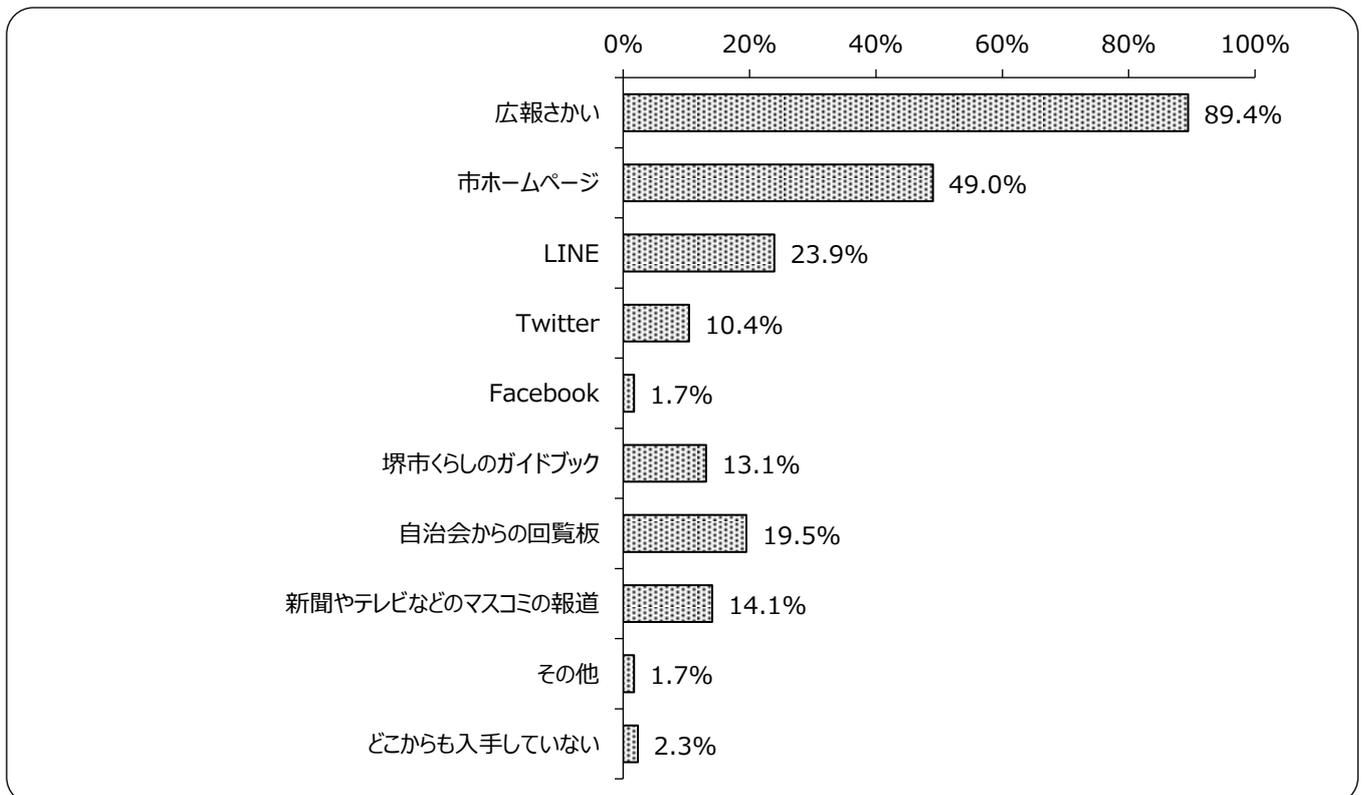
「広報さかい」が 89.4%と最も割合が高く、次いで「市ホームページ」が 49.0%となっている。
 なお、「LINE」の割合が 23.9%となっており、令和 4 年の 28.3%から減少している。

| | 選択項目 (N=482) | 回答数 | 回答数/N |
|----|------------------|-----|-------|
| 1 | 広報さかい | 431 | 89.4% |
| 2 | 市ホームページ | 236 | 49.0% |
| 3 | LINE | 115 | 23.9% |
| 4 | Twitter | 50 | 10.4% |
| 5 | Facebook | 8 | 1.7% |
| 6 | 堺市くらしのガイドブック | 63 | 13.1% |
| 7 | 自治会からの回覧板 | 94 | 19.5% |
| 8 | 新聞やテレビなどのマスコミの報道 | 68 | 14.1% |
| 9 | その他 | 8 | 1.7% |
| 10 | どこからも入手していない | 11 | 2.3% |

[9 その他]

【主な回答】

- ネットのローカルニュース
- 市政に詳しい人
- 道端にある掲示板
- 市議会議員の市政報告やチラシ
- 市議会議員と会話
- 学校のポスターや案内
- さかい子育て応援アプリ
- ニュースサイトに「堺市」を登録して引っかかるようにしている。



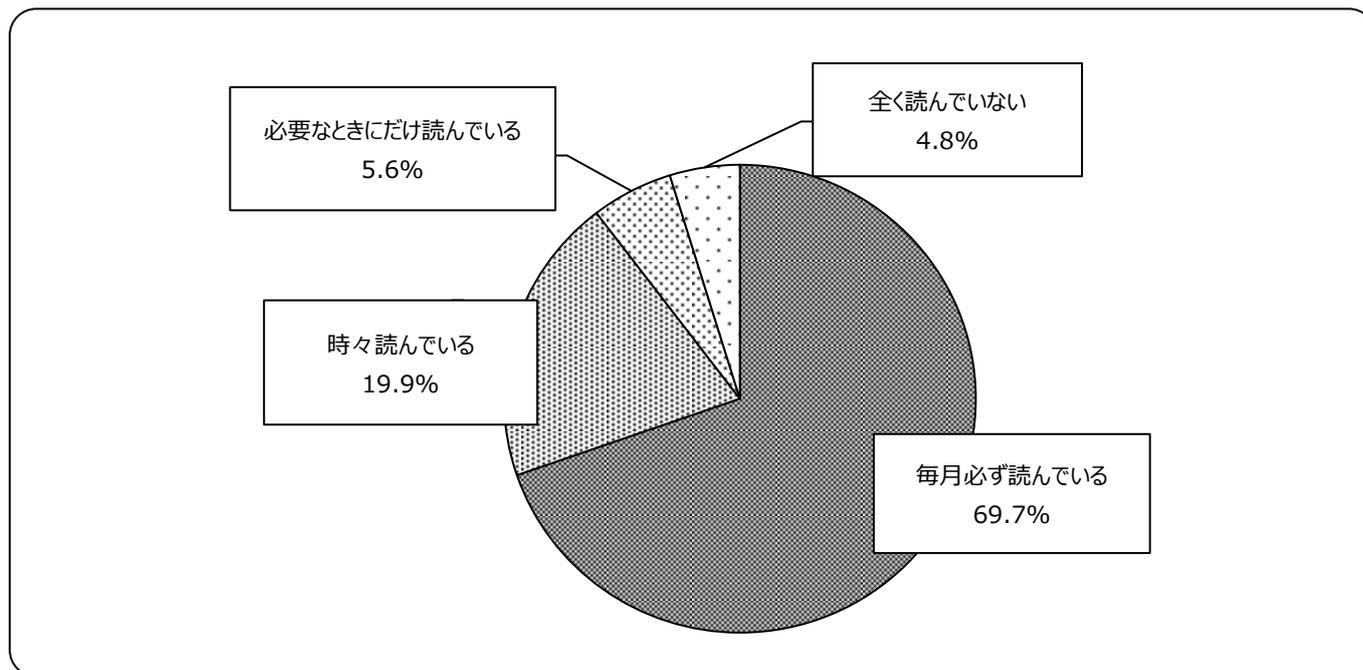
(2) 広報さかいについて

問 58. 「広報さかい」を読んだことがありますか。

【1つ選択】

「全く読んでいない」と回答した方が 4.8%となっており、令和 4 年度の 6.9%から減少している。

| | 選択項目 (N=482) | 回答数 | 構成比 |
|---|---------------|-----|--------|
| 1 | 毎月必ず読んでいる | 336 | 69.7% |
| 2 | 時々読んでいる | 96 | 19.9% |
| 3 | 必要なときにだけ読んでいる | 27 | 5.6% |
| 4 | 全く読んでいない | 23 | 4.8% |
| | 計 (回答総数) | 482 | 100.0% |



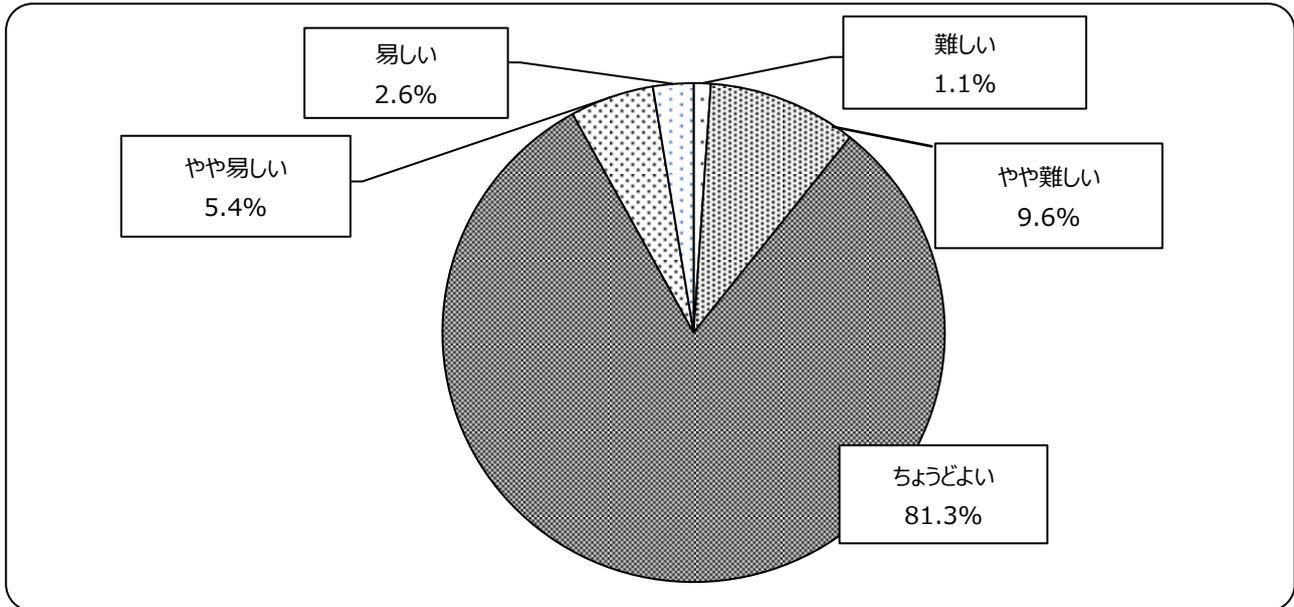
問 59. 問 58 で 1～3 と回答された方（「広報さかい」を読んでいる方）に伺います。

「広報さかい」の内容や文章表現について、どのように感じますか。

【1 つ選択】

「ちょうどよい」と回答した方が 81.3%となっており、令和 4 年度の 81.1%から増加している。

| | 選択項目 (N=459) | 回答数 | 構成比 |
|---|--------------|-----|--------|
| 1 | 難しい | 5 | 1.1% |
| 2 | やや難しい | 44 | 9.6% |
| 3 | ちょうどよい | 373 | 81.3% |
| 4 | やや易しい | 25 | 5.4% |
| 5 | 易しい | 12 | 2.6% |
| | 計 (回答総数) | 459 | 100.0% |

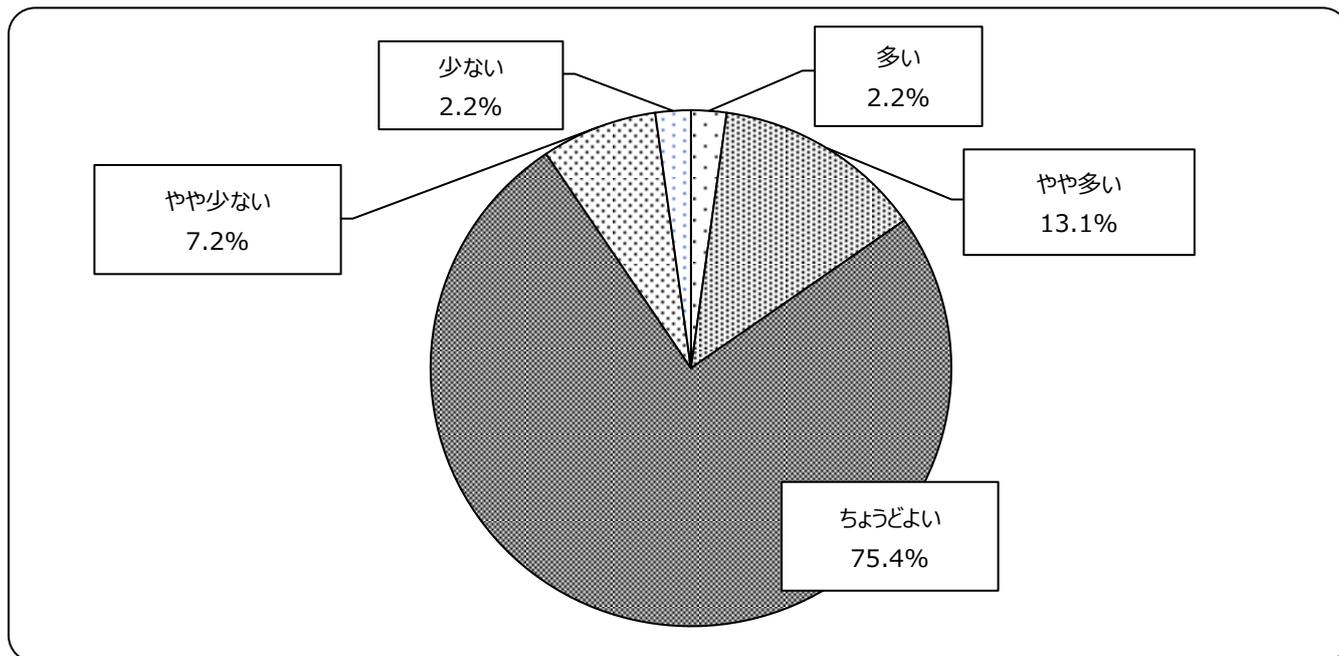


問 60. 問 58 で 1～3 と回答された方（「広報さかい」を読んでいる方）に伺います。

「広報さかい」の紙面の量（全 21 面+各区広報 3 面）について、どのように感じますか。 【1 つ選択】

「ちょうどよい」と回答した方は 75.4%であった。

| | 選択項目 (N=459) | 回答数 | 構成比 |
|---|--------------|-----|--------|
| 1 | 多い | 10 | 2.2% |
| 2 | やや多い | 60 | 13.1% |
| 3 | ちょうどよい | 346 | 75.4% |
| 4 | やや少ない | 33 | 7.2% |
| 5 | 少ない | 10 | 2.2% |
| | 計 (回答総数) | 459 | 100.0% |



問 61. 問 58 で 1～3 と回答された方（「広報さかい」を読んでいる方）に伺います。

「広報さかい」でどのような記事をよご覧になりますか。

【複数選択可：いくつでも】

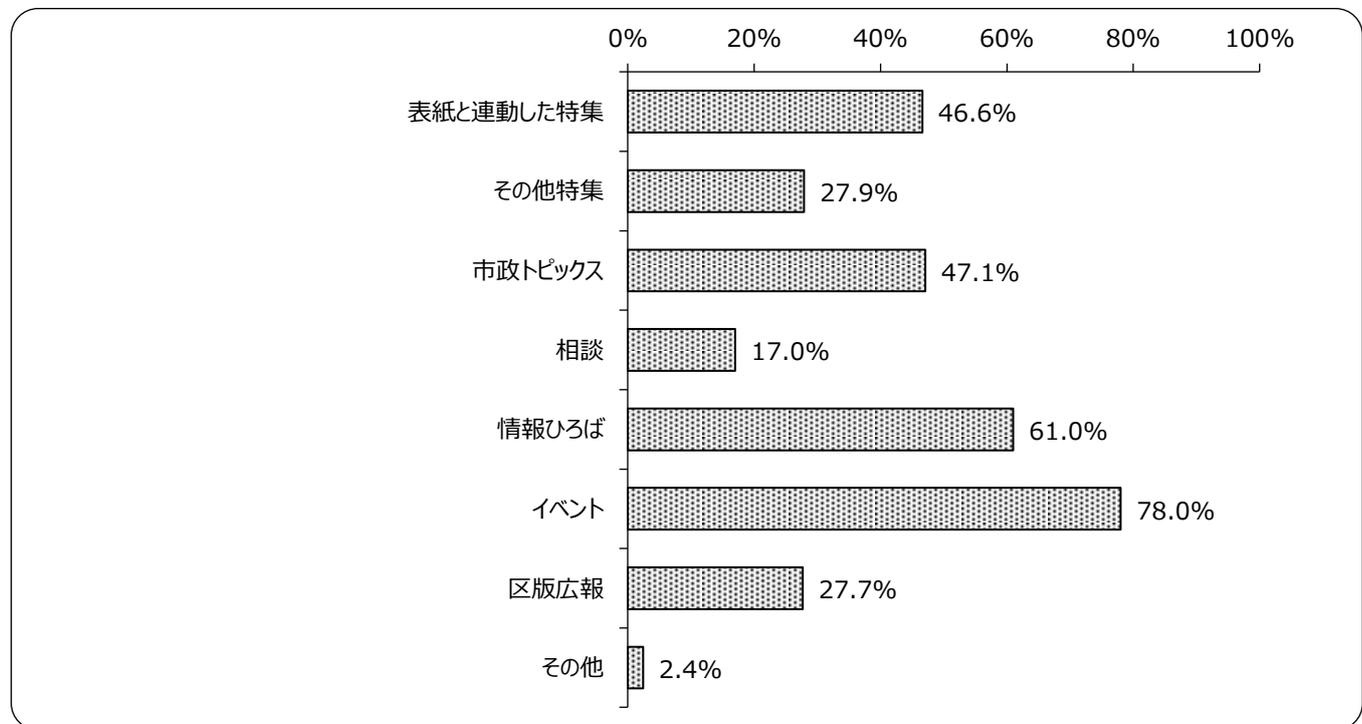
「イベント」と回答した方は 78.0%と最も多く、次いで「情報ひろば」が 61.0%、「市政トピックス」が 47.1%となっている。

| | 選択項目 (N=459) | 回答数 | 回答数/N |
|---|--------------|-----|-------|
| 1 | 表紙と連動した特集 | 214 | 46.6% |
| 2 | その他特集 | 128 | 27.9% |
| 3 | 市政トピックス | 216 | 47.1% |
| 4 | 相談 | 78 | 17.0% |
| 5 | 情報ひろば | 280 | 61.0% |
| 6 | イベント | 358 | 78.0% |
| 7 | 区版広報 | 127 | 27.7% |
| 8 | その他 | 11 | 2.4% |

[8 その他]

【主な回答】

- 全て
- 市議会
- 献血情報
- 求人案内
- 国際交流
- 年末年始のごみ収集など
- こども・子育てに関すること

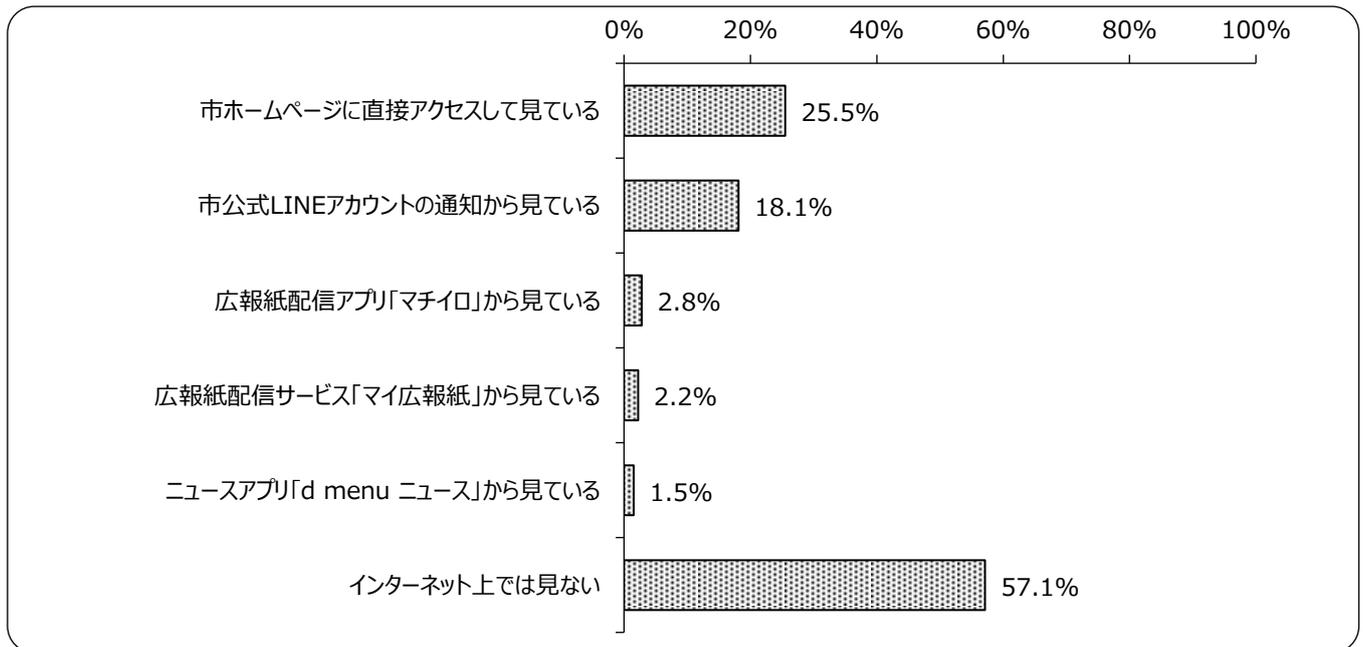


問 62. 宅配するもの以外でも「広報さかい」をご覧になれるよう、市ホームページ、スマホアプリ「マチイロ」、情報配信サイト「マイ広報紙」などでも情報を発信しています。どのような方法で「広報さかい」を見ていますか。

【複数選択可：いくつでも】

「インターネット上では見ない」と回答した方は 57.1%となっており、令和 4 年の 61.6%から減少している。

| | 選択項目 (N=459) | 回答数 | 回答数/N |
|---|----------------------------|-----|-------|
| 1 | 市ホームページに直接アクセスして見ている | 117 | 25.5% |
| 2 | 市公式LINEアカウントの通知から見ている | 83 | 18.1% |
| 3 | 広報紙配信アプリ「マチイロ」から見ている | 13 | 2.8% |
| 4 | 広報紙配信サービス「マイ広報紙」から見ている | 10 | 2.2% |
| 5 | ニュースアプリ「d menu ニュース」から見ている | 7 | 1.5% |
| 6 | インターネット上では見ない | 262 | 57.1% |



問 63. 問 58 で 4 を選択された方（「広報さかい」を読んでいない方）に伺います。

「広報さかい」を読まない理由は何ですか。

【複数選択可：いくつでも】

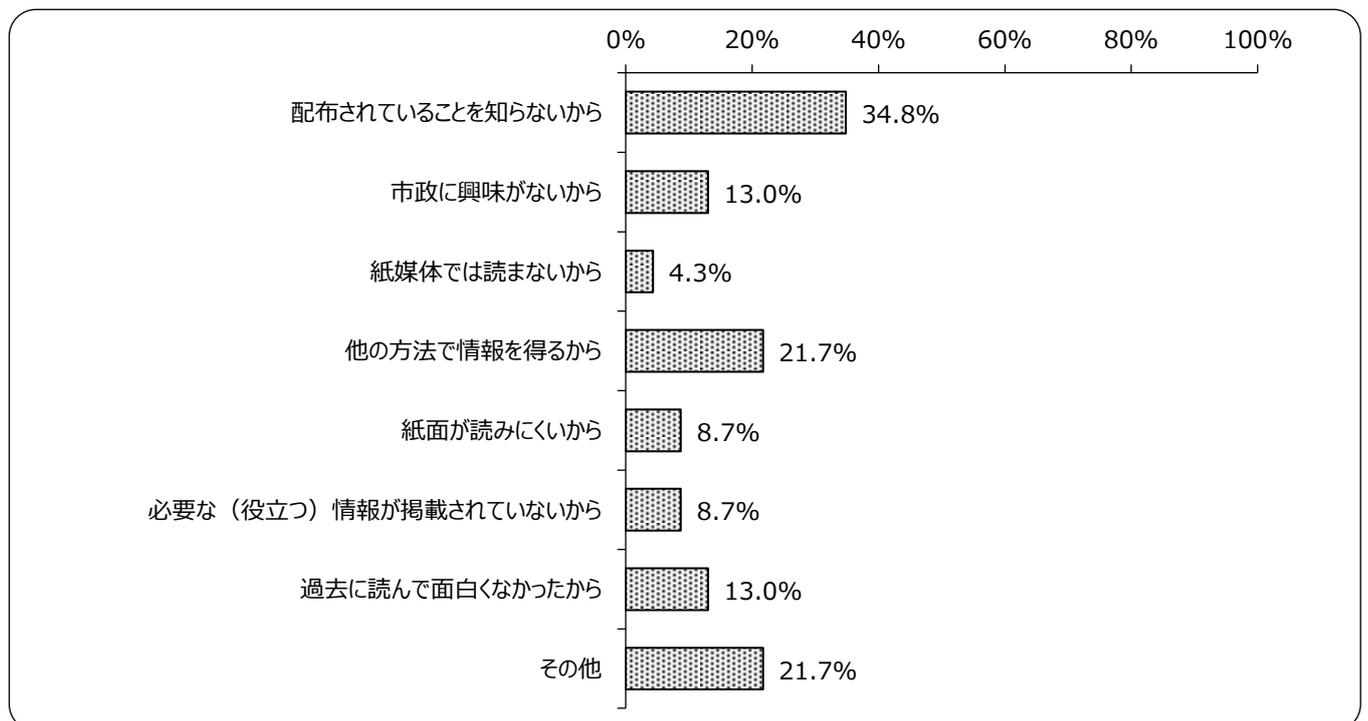
「他の方法で情報を得るから」と回答した方は 21.7%となっており、令和 4 年度の 9.4%から増加している。

| | 選択項目 (N=23) | 回答数 | 回答数/N |
|---|-----------------------|-----|-------|
| 1 | 配布されていることを知らないから | 8 | 34.8% |
| 2 | 市政に興味がないから | 3 | 13.0% |
| 3 | 紙媒体では読まないから | 1 | 4.3% |
| 4 | 他の方法で情報を得るから | 5 | 21.7% |
| 5 | 紙面が読みにくいから | 2 | 8.7% |
| 6 | 必要な（役立つ）情報が掲載されていないから | 2 | 8.7% |
| 7 | 過去に読んで面白くなかったから | 3 | 13.0% |
| 8 | その他 | 5 | 21.7% |

[8 その他]

【主な回答】

- いつ届いているか知らないから
- 堺市に住んでいるわけではないため、読む機会がなかったから
- 会社なので、広報が届かないから
- 通学でしか堺に行かないため、あまり興味がないから
- 特に知りたい情報がないから



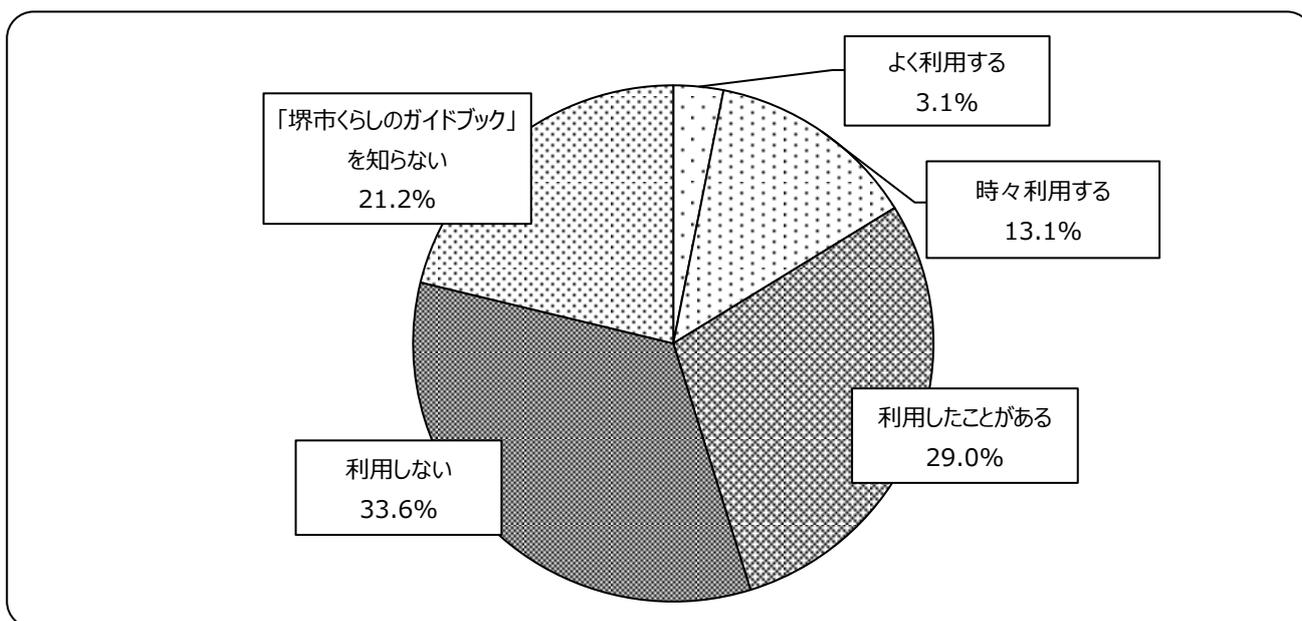
(3) 堺市くらしのガイドブックについて

問 64. 「堺市くらしのガイドブック」を利用していますか。

【1つ選択】

「利用しない」33.6%（令和4年度 36.1%）・「ガイドブックを知らない」21.2%（令和4年度 18.0%）、計54.8%（令和4年度計 54.1%）となり、半数を超える割合となった。

| | 選択項目 (N=482) | 回答数 | 構成比 |
|---|---------------------|-----|--------|
| 1 | よく利用する | 15 | 3.1% |
| 2 | 時々利用する | 63 | 13.1% |
| 3 | 利用したことがある | 140 | 29.0% |
| 4 | 利用しない | 162 | 33.6% |
| 5 | 「堺市くらしのガイドブック」を知らない | 102 | 21.2% |
| | 計 (回答総数) | 482 | 100.0% |



問 65. 問 64 で「4 利用しない」「5 知らない」と回答された方に伺います。その理由をお答えください。

【複数選択可：いくつでも】

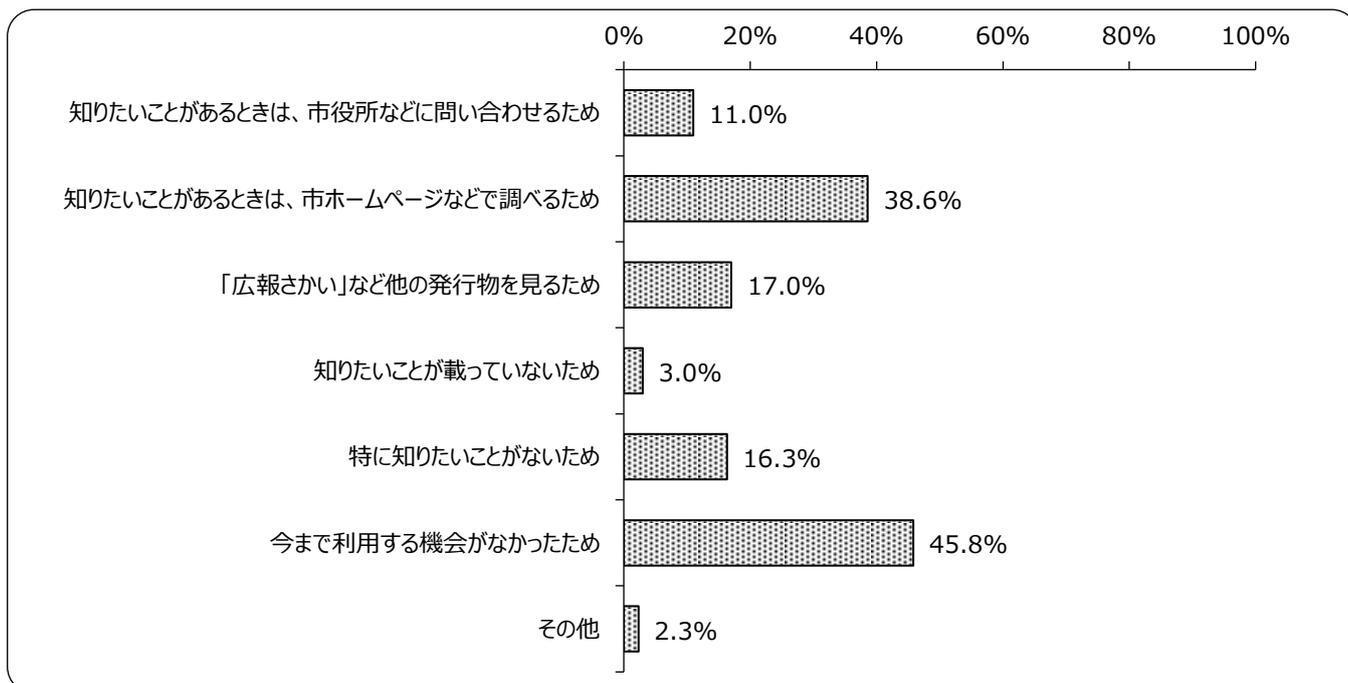
「今まで利用する機会がなかったため」と回答した方が 45.8%と最も多く、令和 4 年度の 34.5%から増加している。

| | 選択項目 (N=264) | 回答数 | 回答数/N |
|---|------------------------------|-----|-------|
| 1 | 知りたいことがあるときは、市役所などに問い合わせるため | 29 | 11.0% |
| 2 | 知りたいことがあるときは、市ホームページなどで調べるため | 102 | 38.6% |
| 3 | 「広報さかい」など他の発行物を見るため | 45 | 17.0% |
| 4 | 知りたいことが載っていないため | 8 | 3.0% |
| 5 | 特に知りたいことがないため | 43 | 16.3% |
| 6 | 今まで利用する機会がなかったため | 121 | 45.8% |
| 7 | その他 | 6 | 2.3% |

[7 その他]

【主な回答】

- 情報が多いから
- 届いていないから
- 知らなかったから
- 会社に届いているのを見たことがないから
- 何が載っているかわからないから



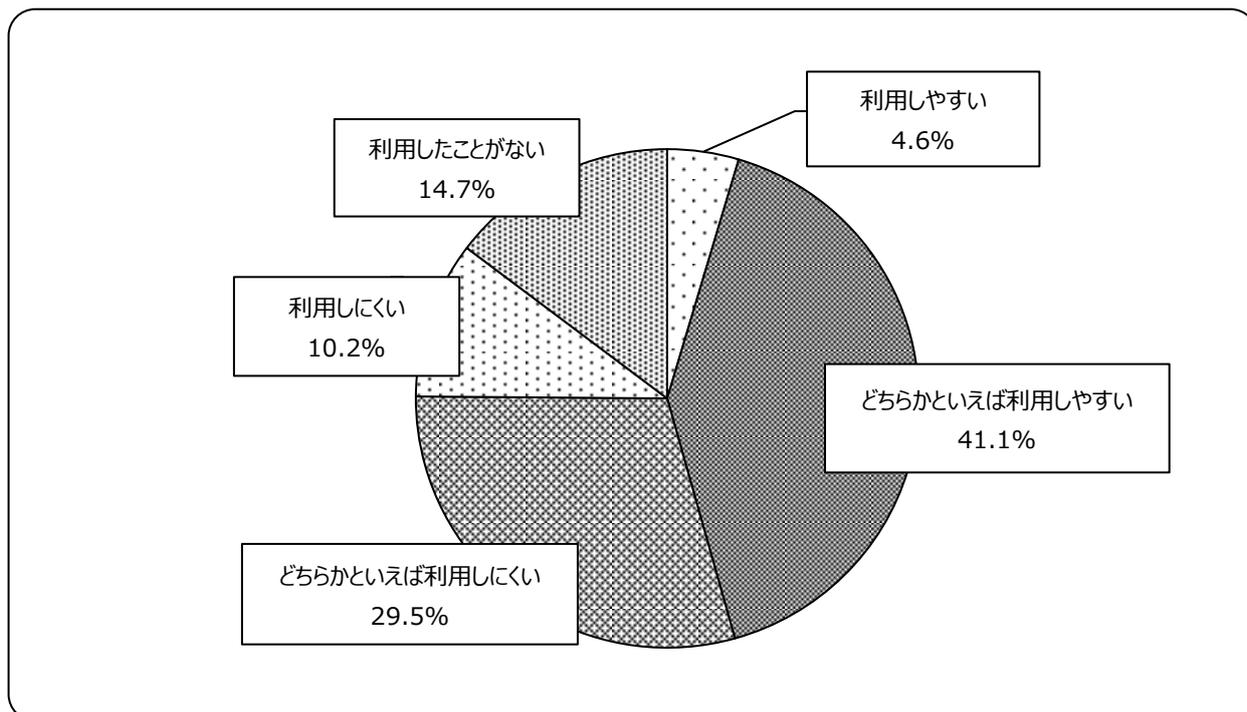
(4) 市ホームページについて

問 66. 市ホームページを利用しやすいと思いますか。

【1つ選択】

「どちらかといえば利用しやすい」と回答した方が 41.1%と最も多いが、令和 4 年度の 45.3%からは減少している。

| | 選択項目 (N=482) | 回答数 | 構成比 |
|---|----------------|-----|--------|
| 1 | 利用しやすい | 22 | 4.6% |
| 2 | どちらかといえば利用しやすい | 198 | 41.1% |
| 3 | どちらかといえば利用しにくい | 142 | 29.5% |
| 4 | 利用しにくい | 49 | 10.2% |
| 5 | 利用したことがない | 71 | 14.7% |
| | 計 (回答総数) | 482 | 100.0% |



問 67. 市ホームページについて、以下の項目に対してどのように感じますか。

【各項目：1つ選択】

情報の探しやすさ、デザイン・レイアウト、パソコンでの見やすさ、スマートフォンでの見やすさ、操作性で「良い」と「やや良い」の合計が、それぞれ 53.5%、65.9%、70.3%、55.2%、63.1%だった。

| 選択項目 (N=411) | 良い | やや良い | やや悪い | 悪い | 計 (回答総数) |
|----------------|-------------|--------------|--------------|-------------|---------------|
| ①情報の探しやすさ | 40 9.7% | 180 43.8% | 140 34.1% | 51 12.4% | 411 100.0% |
| ②デザイン・レイアウト | 44 10.7% | 227 55.2% | 112 27.3% | 28 6.8% | 411 100.0% |
| ③パソコンでの見やすさ | 51 12.4% | 238 57.9% | 95 23.1% | 27 6.6% | 411 100.0% |
| ④スマートフォンでの見やすさ | 39 9.5% | 188 45.7% | 138 33.6% | 46 11.2% | 411 100.0% |
| ⑤操作性 | 36 8.8% | 223 54.3% | 126 30.7% | 26 6.3% | 411 100.0% |

①～⑤以外で良いと思ったところや悪いと思ったところ 【自由記述】

【主な回答】

- タイムリーな情報が、早くわかる。知りたいことをすぐに探することができる。
- 十分活用しているので、満足感ある。
- 検索機能があるので便利
- 他の区の情報も見ることができるのが良い。
- 日々最新化を頑張っているように思う。
- コロナの時によく見ていたがとても見やすかった。
- 文字が見やすいフォントである。
- 字が大きすぎる。画面を動かして特別に見てほしい項目を前面に出すのではなく、項目を普通に並べてほしい。
- 詳細情報が PDF にリンクされていることが大半で、追加アクションが必要で手間がかかる。直接情報を同一画面で開示が良い。
- 調べたいものを調べると堂々巡りするときがある。
- 探しているものにたどり着くまで時間がかかる。はじめのジャンルを選ぶところでどこから入るか迷う。
- スマホでしか見ないが、サイズが合っていないのか見づらい。
- リンク先がなくなっていることが多々ある。
- たまに小さな字に困る。
- 項目ごとにページを開くが色見が一辺倒で、私には見にくいと感じた。
- デザインが堅く、どのページも情報がみつけにくい。
- アイコンは大きくて良いが、どのアイコンがどの情報のどのページにたどり着くのがイメージしにくい。
- トップページはシンプルで分かり易い形に変わったのに、それ以降(リンク先)が変わっていないため、実際の情報は見にくい。最近、記事が「PDF の URL」でなく「HTML の本文」形式が増えてきたため、より読みやすくなった。
- テーマ別にカテゴリーされればより見やすいと思う。
- シンプルな構成は好感を持っている。シンプルだけに探しやすさに少し難があるように思う。
- 可もなく不可もなくの印象・フォントの変更等ブラッシュアップしているのは感じ、とても好感を持っている。しかし検索結果等は文字情報が多く見にくい部分もどうしても市政っぽいイメージが硬く損している気がする。行間やイラスト、カラー変更等も取り入れてほしい。

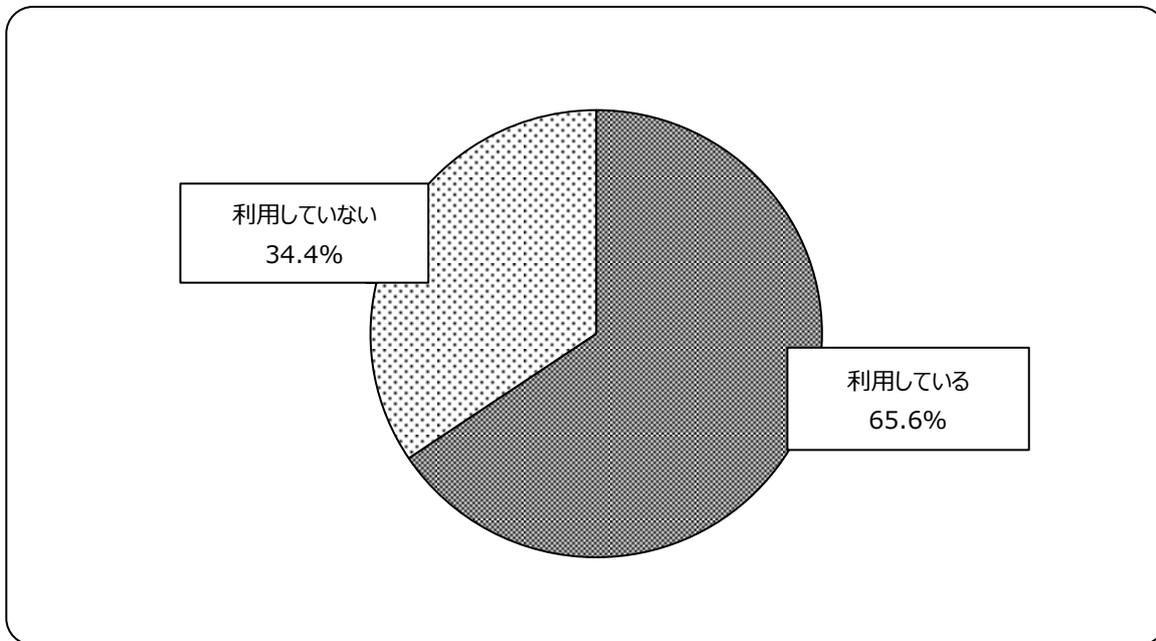
(5) 市の公式 SNS について

問 68. SNS (LINE、X (旧 Twitter) 、Facebook など) を利用していますか。

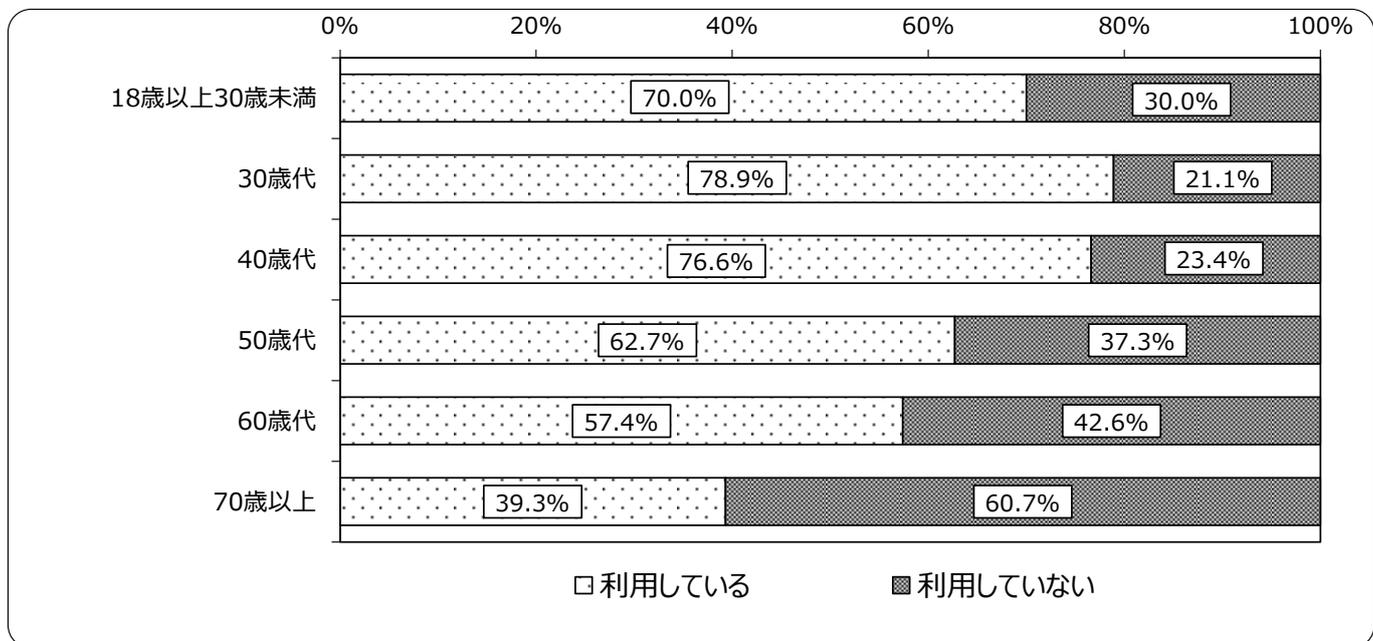
【1 つ選択】

「利用している」と回答した方の割合は 30 歳代で一番多く、70 歳以上で一番少なかった。

| | 選択項目 (N=482) | 回答数 | 構成比 |
|---|--------------|-----|--------|
| 1 | 利用している | 316 | 65.6% |
| 2 | 利用していない | 166 | 34.4% |
| | 計 (回答総数) | 482 | 100.0% |



《年齢別》



問 69. 問 68 で「1 利用している」と回答された方に伺います。

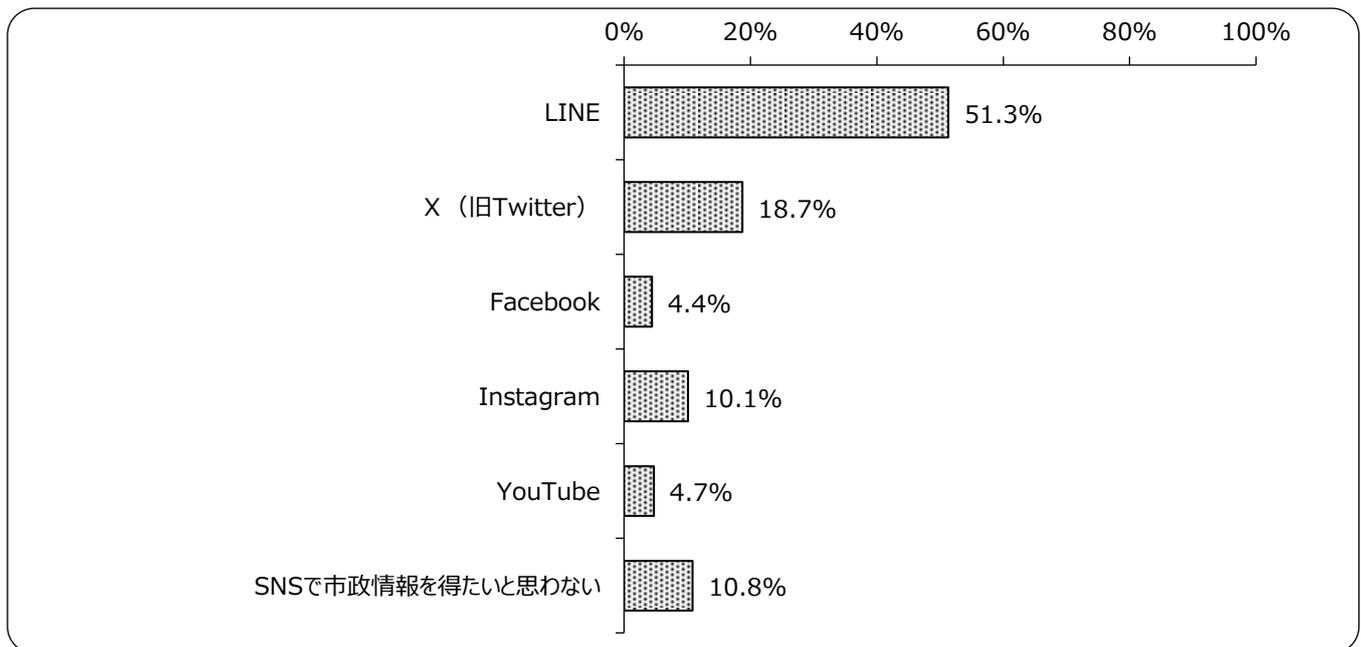
本市では、SNS で情報を発信しています。

主にどの SNS で市政情報を得たいと思いますか。

【1 つ選択】

「LINE」と回答した方は 51.3%（令和 4 年度 59.9%）と半数を占めた。

| | 選択項目 (N=316) | 回答数 | 構成比 |
|---|-------------------|-----|--------|
| 1 | LINE | 162 | 51.3% |
| 2 | X (旧Twitter) | 59 | 18.7% |
| 3 | Facebook | 14 | 4.4% |
| 4 | Instagram | 32 | 10.1% |
| 5 | YouTube | 15 | 4.7% |
| 6 | SNSで市政情報を得たいと思わない | 34 | 10.8% |
| | 計 (回答総数) | 316 | 100.0% |



問 70. 問 69 で 1～5 と回答された方に伺います。

SNS でどのような市政情報を得たいですか。

【複数選択可：いくつでも】

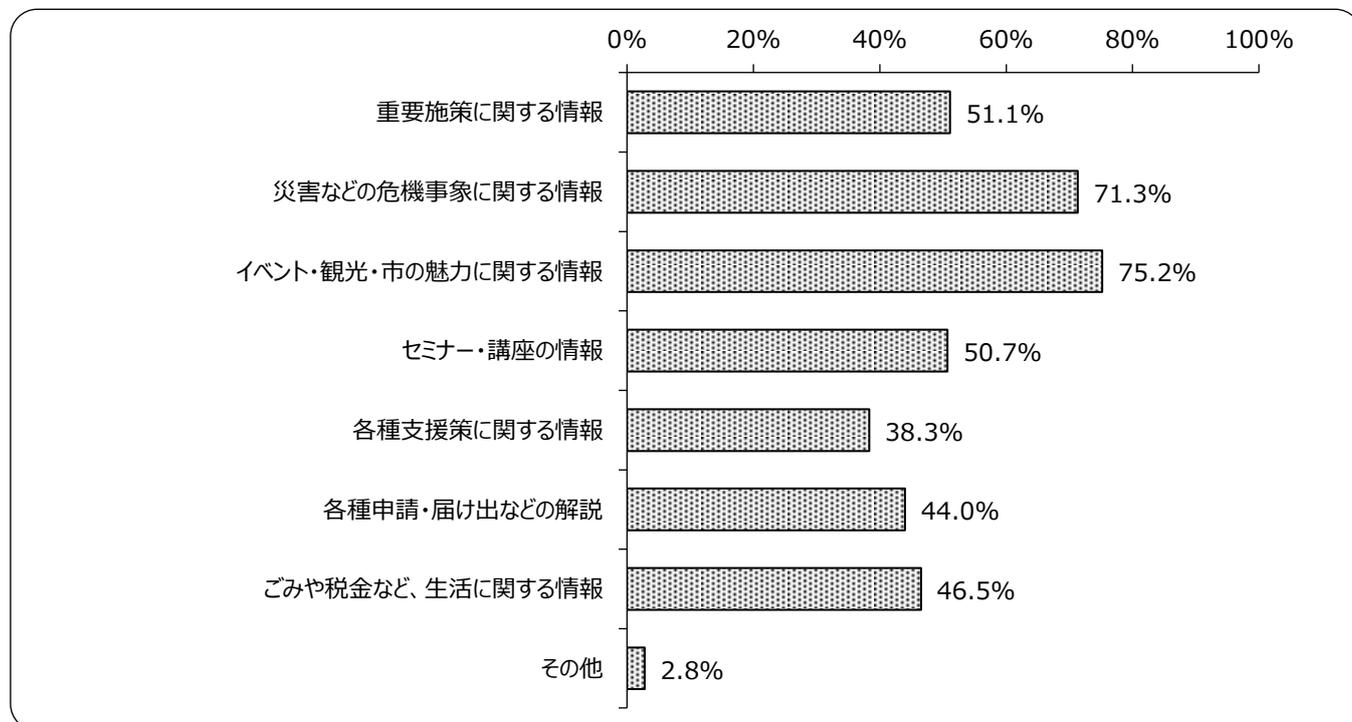
「イベント・観光・市の魅力に関する情報」と回答した方が最も多く 75.2%（令和 4 年度 63.1%）を占めた。

| | 選択項目 (N=282) | 回答数 | 回答数/N |
|---|--------------------|-----|-------|
| 1 | 重要施策に関する情報 | 144 | 51.1% |
| 2 | 災害などの危機事象に関する情報 | 201 | 71.3% |
| 3 | イベント・観光・市の魅力に関する情報 | 212 | 75.2% |
| 4 | セミナー・講座の情報 | 143 | 50.7% |
| 5 | 各種支援策に関する情報 | 108 | 38.3% |
| 6 | 各種申請・届け出などの解説 | 124 | 44.0% |
| 7 | ごみや税金など、生活に関する情報 | 131 | 46.5% |
| 8 | その他 | 8 | 2.8% |

[8 その他]

【すべての回答】

- 市内交通の渋滞や鉄道の運休等の情報発信
- 堺市のご当地グルメ
- 年金制度
- 移動図書館の情報
- 窓口の混雑状況
- 予め自分の欲しい情報のみ選択出来る機能
- 住んでいる区でのイベントの情報
- 堺市で働くひと、堺市の会社、子どもが入れる食事処、子どもの施設・イベント



問 71. 堺市 LINE 公式アカウントは令和 4 年 5 月に、「新型コロナワクチン接種」、「子育て・教育」、「健康・スポーツ」、「福祉・介護」、「暮らし」、「観光・文化」から欲しい情報を選んで受信できるようリニューアルを実施しました。リニューアル後の堺市 LINE 公式アカウントについて、どのように感じますか。 【各項目：1 つ選択】

情報の発信頻度、欲しい情報の選択肢の両方で「ちょうど良い」の回答が最も多く、それぞれ 77.3%、70.9%であった。

| 選択項目 (N=482) | 非常に多い | 多い | ちょうど良い | 少ない | 非常に少ない | 計 (回答総数) |
|--------------|-----------|------------|--------------|-------------|------------|---------------|
| ①情報の発信頻度 | 6 2.1% | 17 6.0% | 218 77.3% | 32 11.3% | 9 3.2% | 482 100.0% |
| ②欲しい情報の選択肢 | 5 1.8% | 7 2.5% | 200 70.9% | 59 20.9% | 11 3.9% | 482 100.0% |

①～②以外でご意見 【自由記述】

【主な回答】

- コロナについては十分利用したし、情報も確認できて助かった。
- LINE だと、過去発信された情報が見やすいので重宝している。
- LINE での情報発信よく利用する。コロナの予防接種、公園整備等、他にも利用できる情報があれば、見たい。見やすい画面をお願いしたい。
- 新型コロナワクチン接種予約は便利だった。
- コロナワクチンなどの情報を得るために追加したが、このリニューアルにより自分の知りたいタイミングで必要な情報にアクセスしやすくなった。
- 分類はちょうど良い。じっくり見る事項はパソコンで、身近なこと、さっと参照したい事項は LINE で、といったすみ分けをしても良いと思う。
- LINE での情報提供は分かりやすく検索もしやすい。
- 知りたいことはホームページで検索するので、LINE はあまり重視していない。
- 相互やり取りができていない。受付口は用意されているが、リアクションが無くて、続けて利用したいと思えない。
- 情報収集は自分からしたいので、LINE からの通知は煩わしいので使用していない。
- 具体性をもっと欲しい。
- 通知される画面で画像が多く、1 画面での情報表示が少なくなっている気がする。まとめて発信するのではなく、1 行単位でもいいので、都度発信しても良いと感じている。
- 子育てについて、保育園の情報などもっと欲しい。
- リニューアルしたのを知らない。
- LINE は若者ユーザーが特に多いので、そうした大人向けの情報だけでなく、若者や子供が見ても堺市や堺市のイベント等に関心が持てるような楽しい情報、分かりやすい情報なども掲載すべき
- LINE 等の情報発信は緊急情報のみで良いのではと思う。
- コロナの時は大いに活用しましたが、平時に戻った現在は情報確認の頻度が減っている。
- SNS を使っているが、そんなに使い方に詳しくはないので、やはりホームページを見やすくする方が重要と思う。
- 詳細な選択設定が可能になれば良いと思う。
- 区役所の時間外に LINE でどの窓口に聞けばいいかの相談や簡単な質問ができるとうい。

令和5年度 第1回 市政モニターアンケート報告書

1. 消費生活について
2. 文化芸術について
3. 歯や口（口腔）の健康について
4. 本市のこころの健康に関する活動について
（自殺対策、依存症対策）
5. 広報活動について

発行月 令和6年3月

編集・発行 堺市 市長公室 広報戦略部 市政情報課

〒590-0078 堺市堺区南瓦町3番1号

TEL 072-228-7475

FAX 072-228-7444

URL <https://www.city.sakai.lg.jp/>

配架資料番号 1 - C3 - 23 - 0255